

令和4年度
久留米市介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
報告書
(資料編)

令和5年3月

久留米市

目 次

I	回答者の属性	1
1	調査票の記入者	1
2	対象者の所在	1
3	性別・年齢	1
4	認定状況	2
5	居住地	2
II	生活機能評価等に関する分析	4
1	生活機能	4
2	手段的日常生活動作	25
3	社会参加	31
III	調査結果	34
問1	あなたのご家族や生活状況について	34
問2	からだを動かすことについて	40
問3	食べることについて	45
問4	健康について	50
問5	毎日の生活について	55
問6	地域での活動について	66
問7	たすけあいについて	72
問8	認知症にかかる相談窓口の把握について	80
問9	地域包括支援センターについて	81
問10	行政からのお知らせ等の入手について	82
問11	セーフコミュニティの取り組みについて	83
問11-1	転倒予防について	83
問11-2	入浴の注意について	86
問11-3	高齢者の虐待防止について	87
問11-4	防災について	89

I 回答者の属性

1 調査票の記入者

	全体	本人	家族	その他	無回答
全体	3,407	2,402	214	12	779
	100.0	70.5	6.3	0.4	22.9
要支援1	482	324	59	4	95
	100.0	67.2	12.2	0.8	19.7
要支援2	382	227	48	—	107
	100.0	59.4	12.6	—	28.0
一般高齢者	2,215	1,699	77	4	435
	100.0	76.7	3.5	0.2	19.6
無回答	328	152	30	4	142
	100.0	46.3	9.1	1.2	43.3

2 対象者の所在

	全体	入院中	施設入所中	転居	死亡	その他	無回答
全体	3,407	32	15	—	1	66	3,293
	100.0	0.9	0.4	—	0.0	1.9	96.7
要支援1	482	5	5	—	—	21	451
	100.0	1.0	1.0	—	—	4.4	93.6
要支援2	382	5	4	—	—	17	356
	100.0	1.3	1.0	—	—	4.5	93.2
一般高齢者	2,215	4	3	—	—	19	2,189
	100.0	0.2	0.1	—	—	0.9	98.8
無回答	328	18	3	—	1	9	297
	100.0	5.5	0.9	—	0.3	2.7	90.5

3 性別・年齢

		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
全体		3,407	537	740	630	642	526	254	78
		100.0	15.8	21.7	18.5	18.8	15.4	7.5	2.3
性別	男性	1,222	260	332	230	199	146	53	2
		100.0	21.3	27.2	18.8	16.3	11.9	4.3	0.2
	女性	2,047	274	396	392	426	364	190	5
		100.0	13.4	19.3	19.1	20.8	17.8	9.3	0.2
無回答	138	3	12	8	17	16	11	71	
	100.0	2.2	8.7	5.8	12.3	11.6	8.0	51.4	

4 認定状況

		全体	要支援1	要支援2	介護認定は 受けていない	無回答
全体		3,407	482	382	2,215	328
		100.0	14.1	11.2	65.0	9.6
性別	男性	1,222	107	93	927	95
		100.0	8.8	7.6	75.9	7.8
	女性	2,047	369	274	1,259	145
		100.0	18.0	13.4	61.5	7.1
	無回答	138	6	15	29	88
		100.0	4.3	10.9	21.0	63.8

5 居住地

		全体	日常生活圏域											無回答
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	
全体		3,407	296	366	303	277	211	318	354	242	354	333	259	94
		100.0	8.7	10.7	8.9	8.1	6.2	9.3	10.4	7.1	10.4	9.8	7.6	2.8
性別	男性	1,222	111	141	103	100	74	123	128	84	129	122	98	9
		100.0	9.1	11.5	8.4	8.2	6.1	10.1	10.5	6.9	10.6	10.0	8.0	0.7
	女性	2,047	181	215	193	175	131	188	218	150	219	205	154	18
		100.0	8.8	10.5	9.4	8.5	6.4	9.2	10.6	7.3	10.7	10.0	7.5	0.9
	無回答	138	4	10	7	2	6	7	8	8	6	6	7	67
		100.0	2.9	7.2	5.1	1.4	4.3	5.1	5.8	5.8	4.3	4.3	5.1	48.6

圏域	小学校区									高齢化率
A	西国分	東国分								
B	荘島	日吉	篠山	南薫	長門石					
C	南	津福								
D	京町	鳥飼	金丸							
E	御井	合川								
F	上津	高良内	青峰							
G	小森野	宮ノ陣	北野	弓削	大城	金島				
H	船越	水分	柴刈	川会	竹野	水縄	田主丸			
I	城島	下田	青木	江上	浮島	犬塚	三瀨	西牟田		
J	荒木	安武	大善寺							
K	山川	山本	草野	善導寺	大橋					

※調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

II 生活機能評価等に関する分析

1 生活機能

(1) 運動器

調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器の機能低下者と判定しました。

【判定設問】

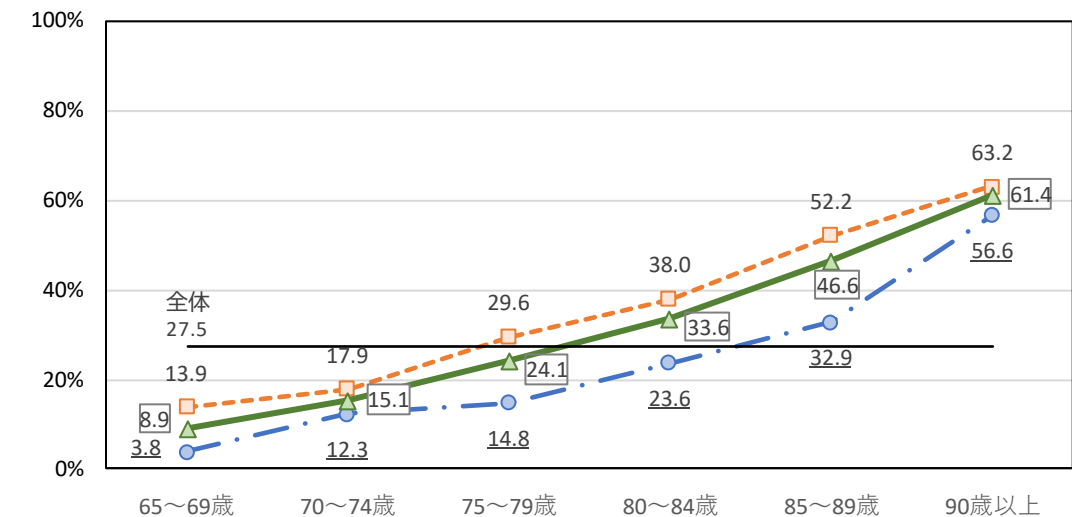
問番号	設問	該当する選択肢
問2 (1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問2 (3)	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問11-1 (1)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問11-1 (2)	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

運動器の評価結果をみると、回答者全体のうち27.5%が運動器の機能低下者となっています。

性別・年齢階級別でみると、女性では、すべての年代で男性に比べ運動器の機能低下者の割合が高く、90歳以上では63.2%と85～89歳に比べ11.0ポイント上昇しています。一方、男性では各年代で合計を下回っています。

【性別・年齢別】



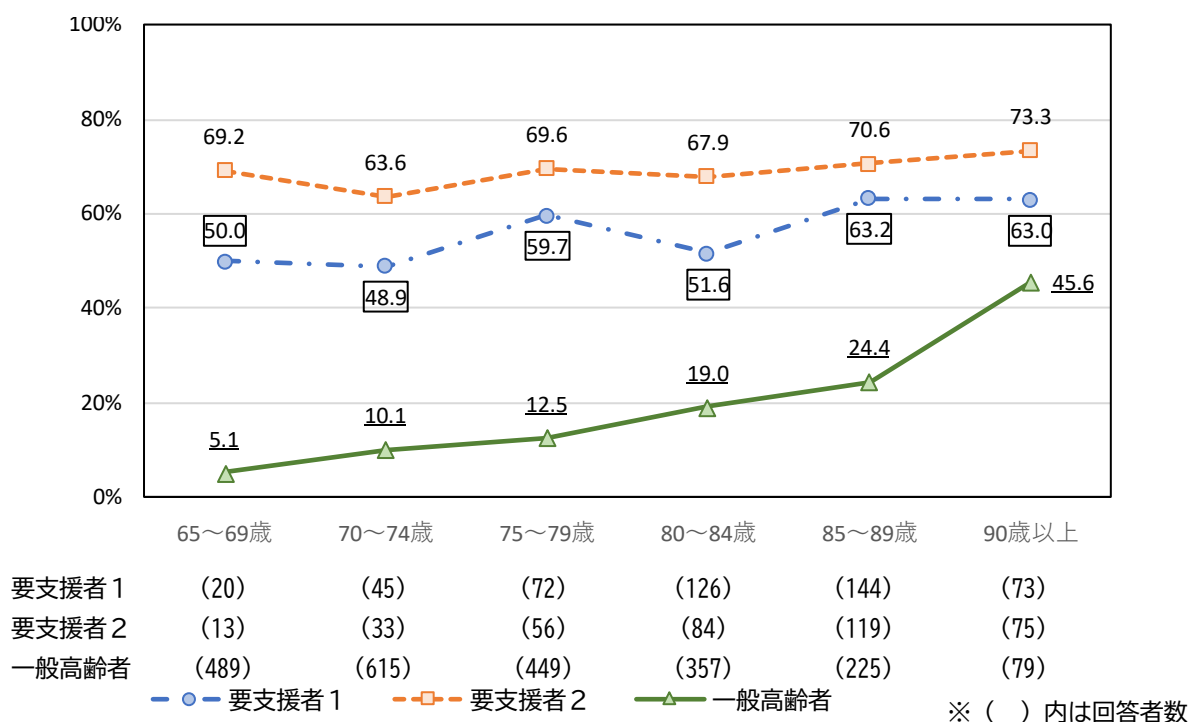
男性	(260)	(332)	(230)	(199)	(146)	(53)
女性	(274)	(396)	(392)	(426)	(364)	(190)

—●— 男性 —□— 女性 —▲— 合計

※ () 内は回答者数

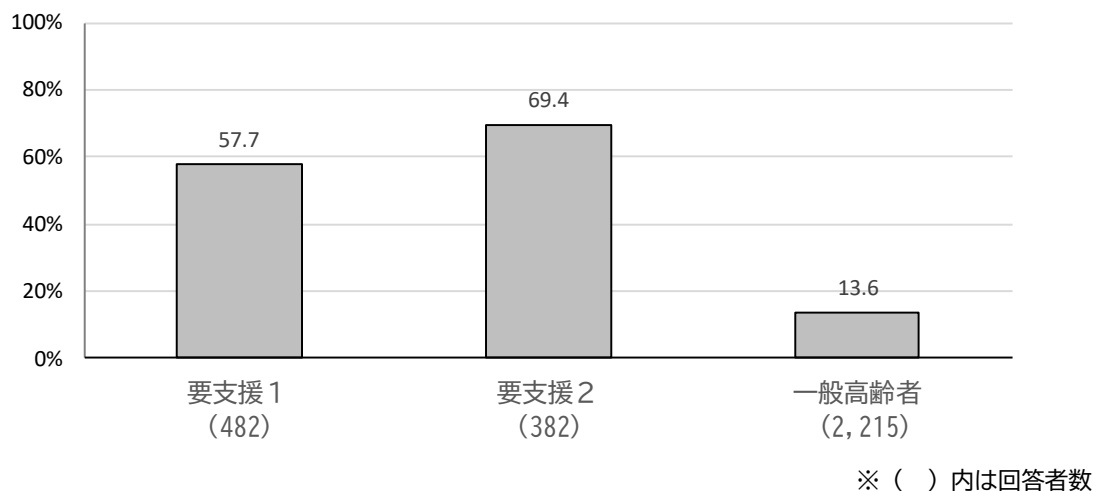
認定・年齢階級別でみると、要支援2では85～89歳以上の年齢層で7割を超えています。

【要支援認定・年齢別】



認定別でみると、要支援2が69.4%と最も高くなっています。

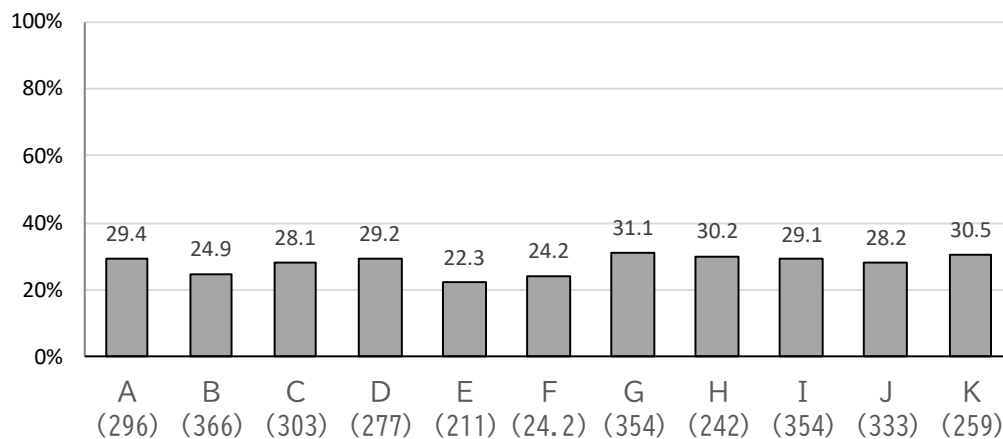
【要支援認定別】



圏域別で見ると、A圏域、C圏域、D圏域、G圏域、H圏域、I圏域、J圏域、K圏域でリスクの高い人の割合が全体（27.5%）を超えています。

また、最も高い圏域はG圏域で31.1%、最も低い圏域はE圏域で22.3%となっており、8.8ポイントの差となっています

【日常生活圏域別】



※（ ）内は回答者数

(2) 閉じこもり

調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりリスクの高い人と判定しました。

【判定設問】

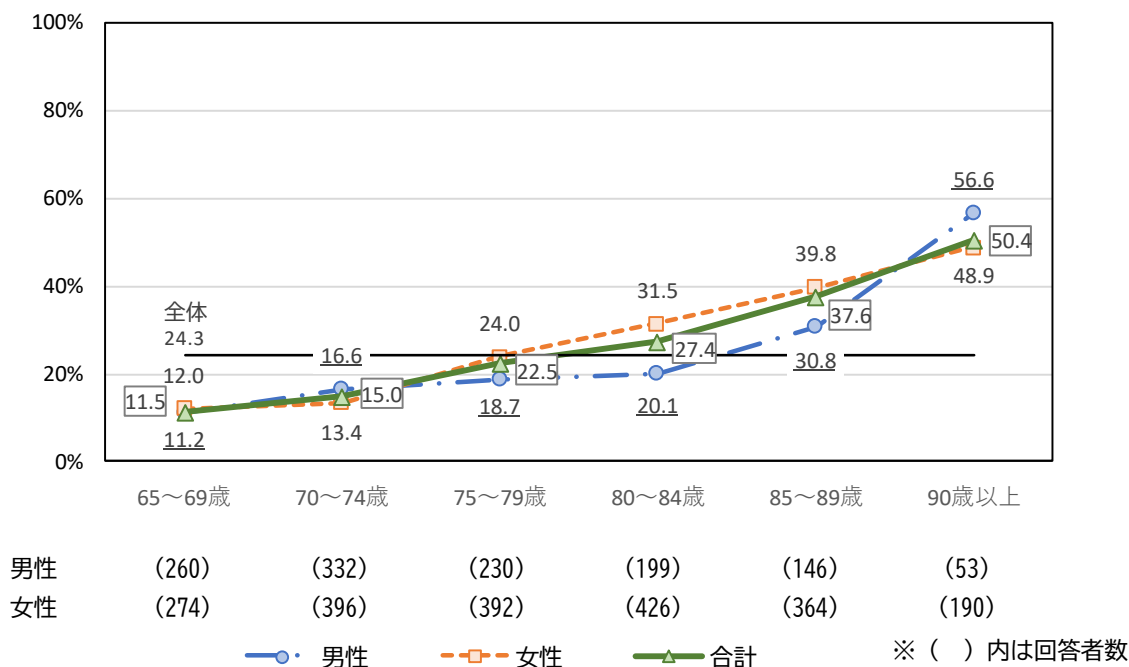
問番号	設問	該当する選択肢
問2 (4)	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

閉じこもりの判定結果をみると、回答者全体のうち 24.3%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

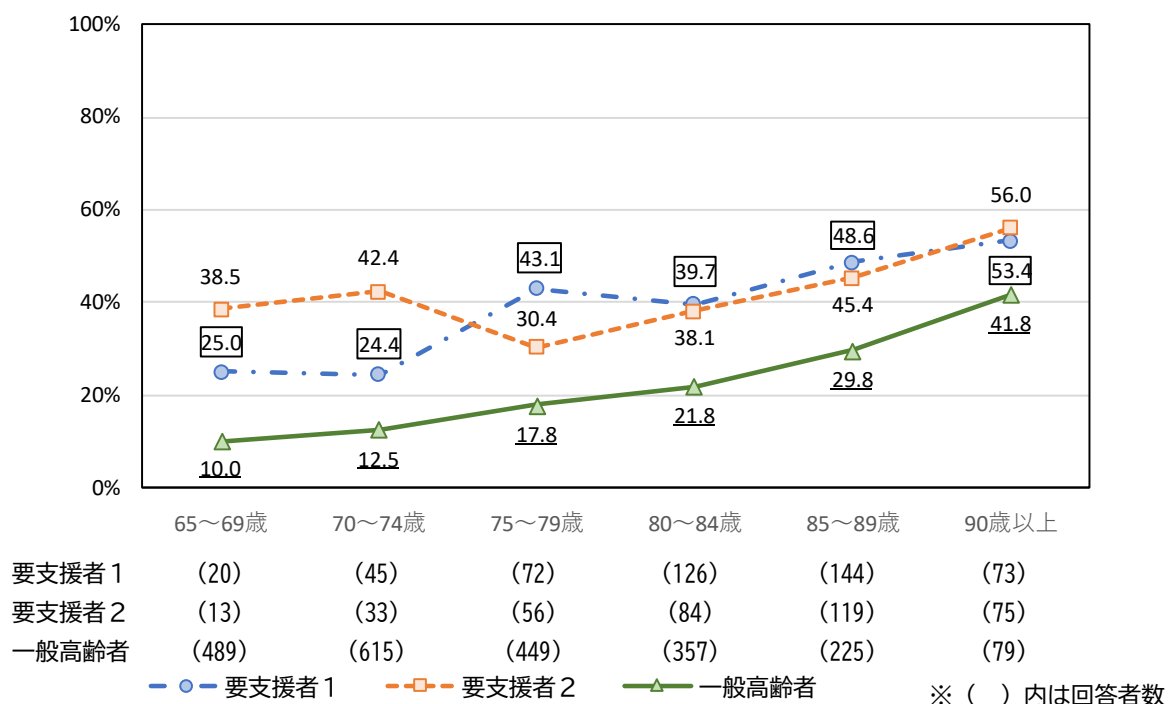
性別・年齢階級別でみると、男女いずれも、加齢とともに割合が高くなる傾向にあり、男性では85～89歳から割合が大きくなっています。

【性別・年齢別】



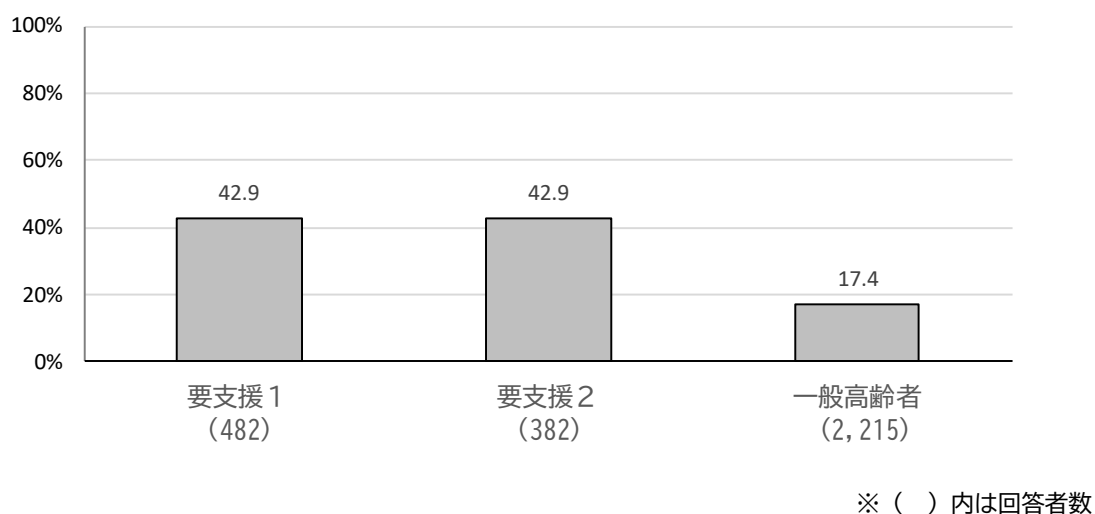
認定・年齢階級別でみると、要支援1、要支援2では90歳以上の年齢層で5割を超えています。

【要支援認定・年齢別】



認定別でみると、要支援1、要支援2が42.9%と高くなっています。

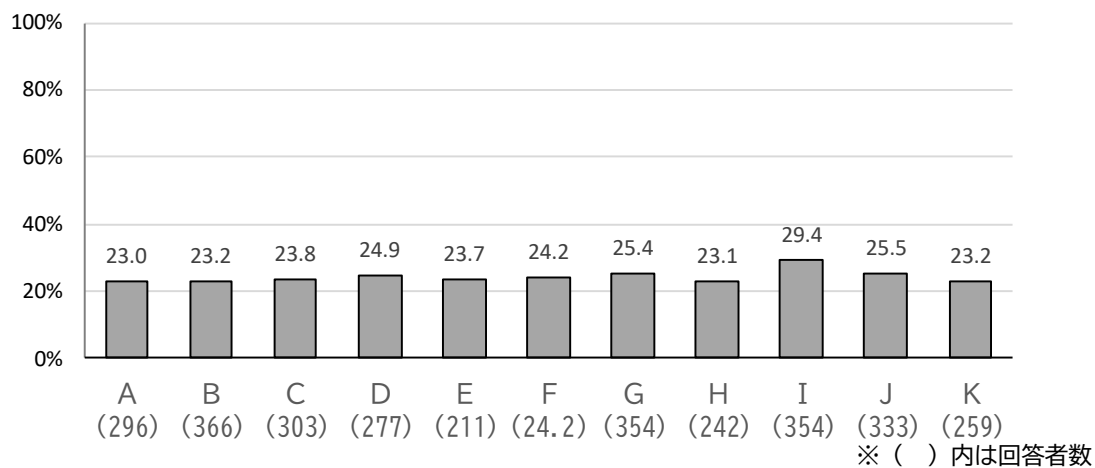
【要支援認定別】



圏域別で見ると、D圏域、G圏域、I圏域、J圏域でリスク該当者の割合が全体（24.3%）を超えています。

また、最も高い圏域はI圏域で29.4%、最も低い圏域はA圏域で23.0%となっており、6.4ポイントの差となっています

【日常生活圏域別】



(3) 転倒

調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒リスクの高い人と判定しました。

【判定設問】

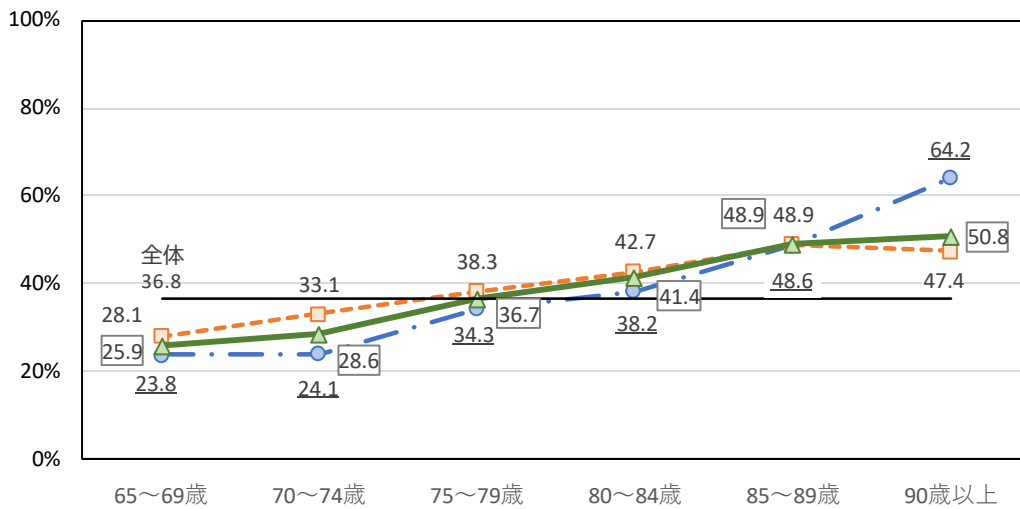
問番号	設問	該当する選択肢
問 11-1 (1)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

【リスク該当状況】

転倒の判定結果をみると、回答者全体のうち 36.8%が転倒のリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別でみると、90歳以上を除く年齢層で男性に比べ女性が上回っており、男性では85～89歳から割合が大きくなっています。

【性別・年齢別】



男性

(260)

(332)

(230)

(199)

(146)

(53)

女性

(274)

(396)

(392)

(426)

(364)

(190)

—○— 男性

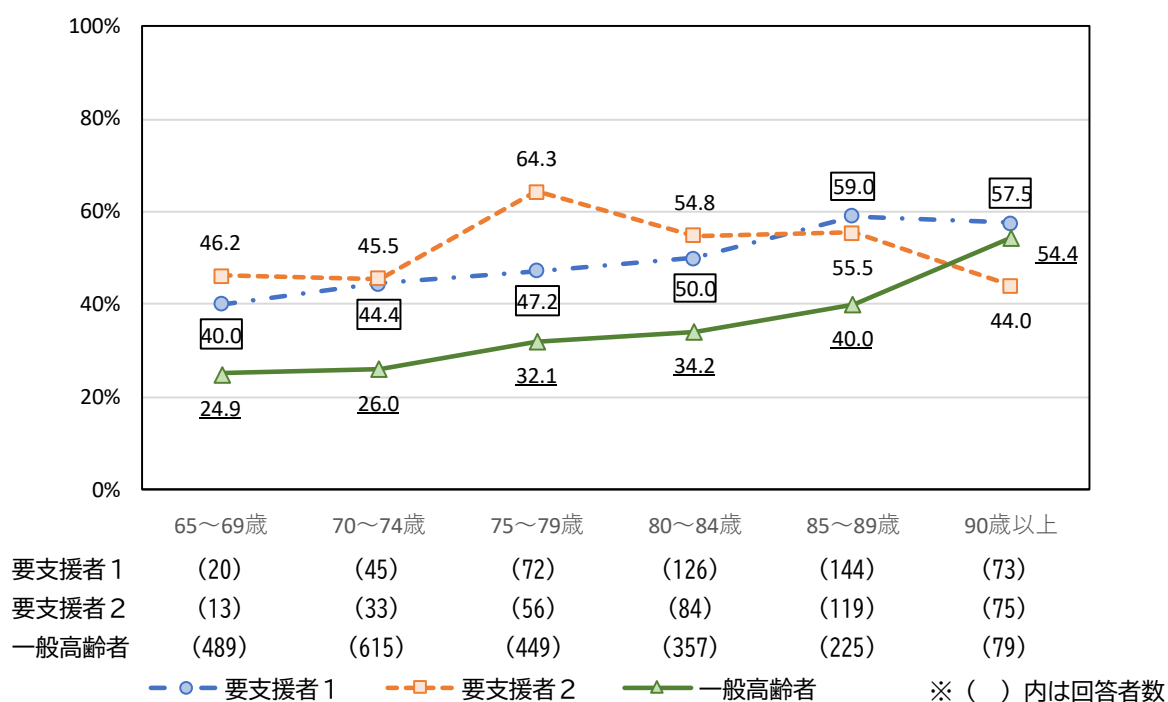
- -□- - 女性

—△— 合計

※ () 内は回答者数

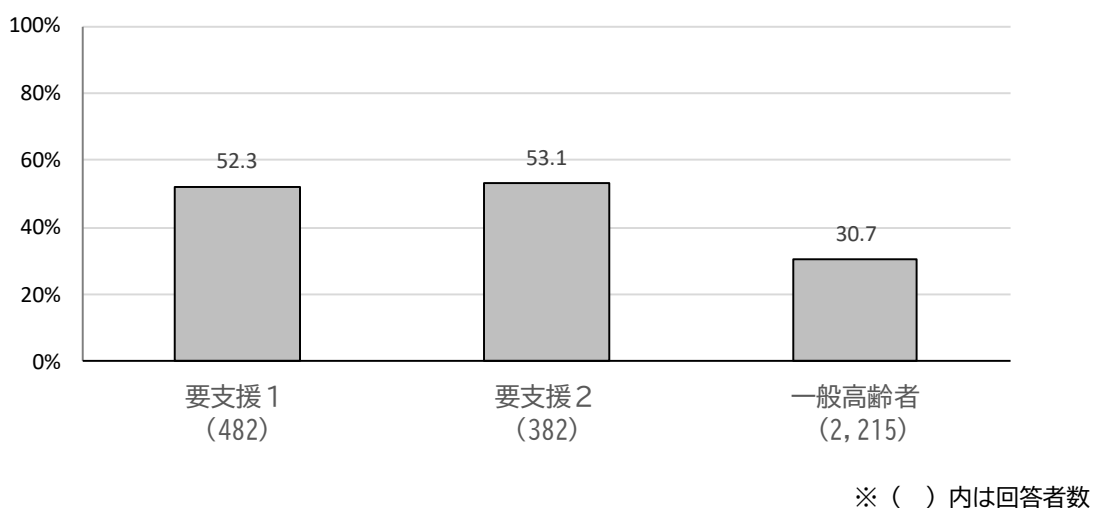
認定・年齢階級別でみると、一般高齢者では75～79歳で割合が増加しています。

【要支援認定・年齢別】



認定別でみると、要支援2が53.1%と最も高くなっています。

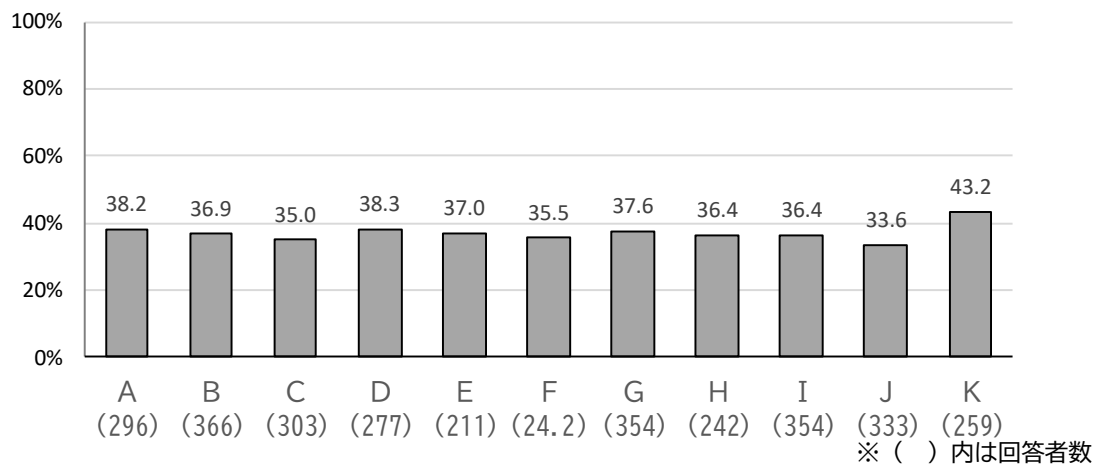
【要支援認定別】



圏域別で見ると、A圏域、B圏域、D圏域、E圏域、G圏域、K圏域でリスクの高い人の割合が全体（36.8%）を超えています。

また、最も高い圏域はK圏域で 43.2%、最も低い圏域はJ圏域で 33.6%となっており、9.6 ポイントの差となっています

【日常生活圏域別】



(4) 栄養

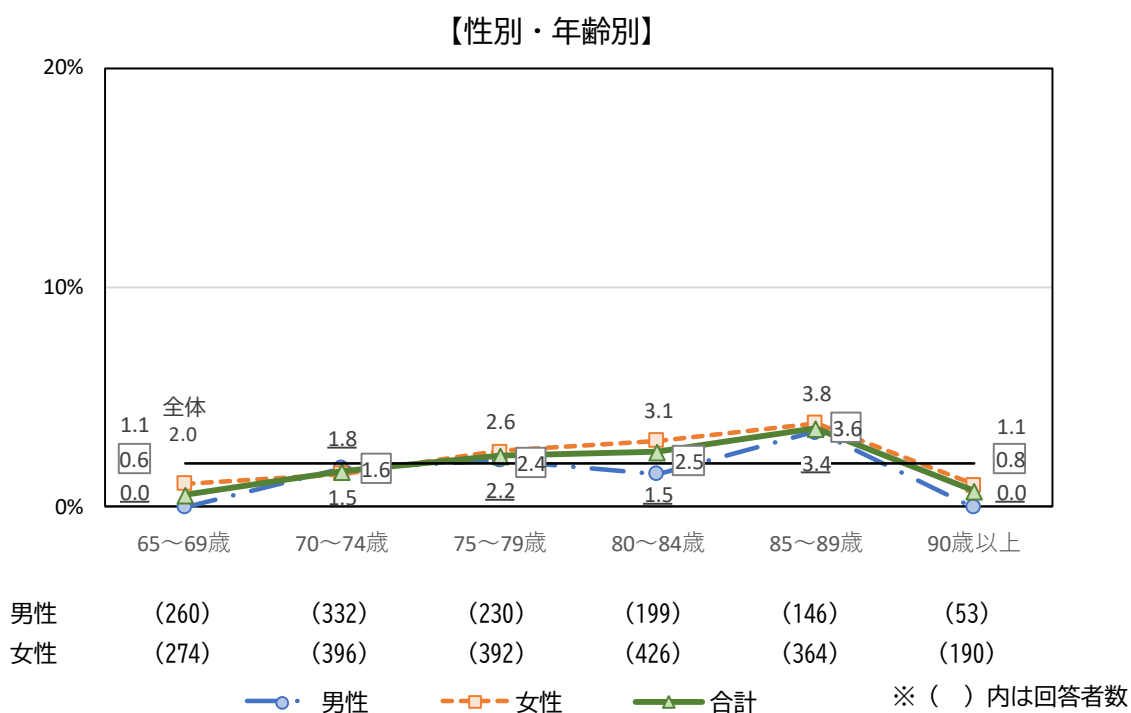
調査票の以下の設問を抽出し、2項目ともに該当する場合、低栄養のリスクが高い人と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問3(1)	身長・体重	BMI 18.5未満
問3(7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい

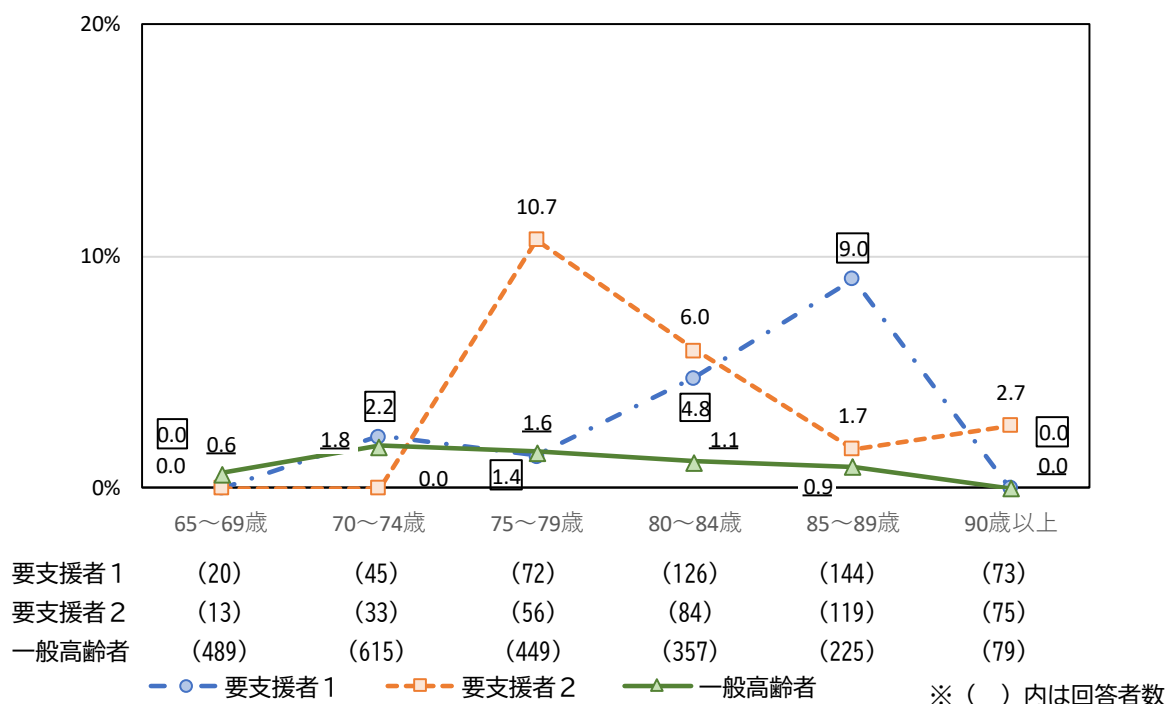
【リスク該当状況】

栄養の評価結果をみると、回答者全体のうち2.0%が低栄養のリスク該当者となっています。性別・年齢階級別でみると、男女ともに、85～89歳の割合が高くなっています。



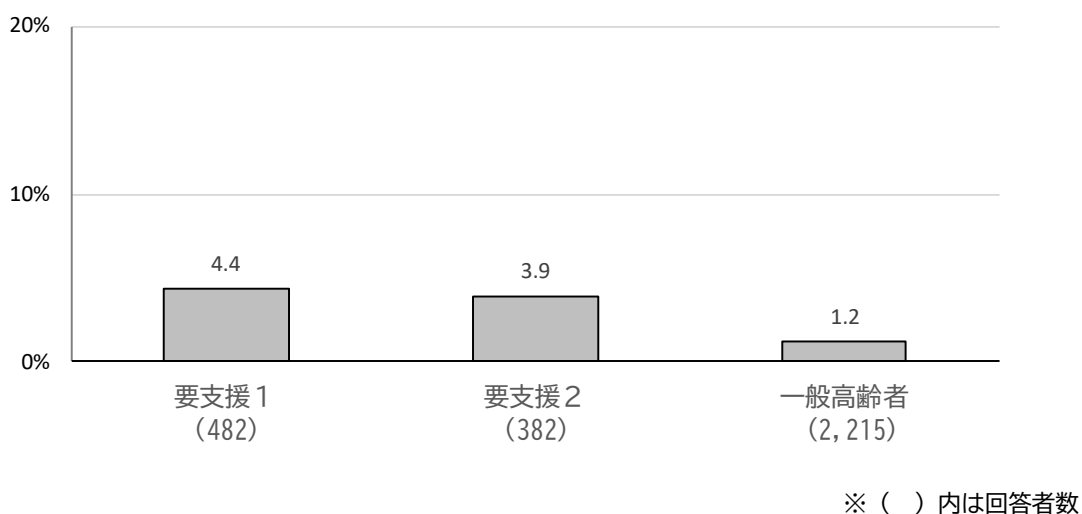
認定・年齢階級別でみると、要支援2の75～79歳で10.7%と最も高くなっています。

【要支援認定・年齢別】



認定別でみると、要支援1が4.4%と最も高くなっています。

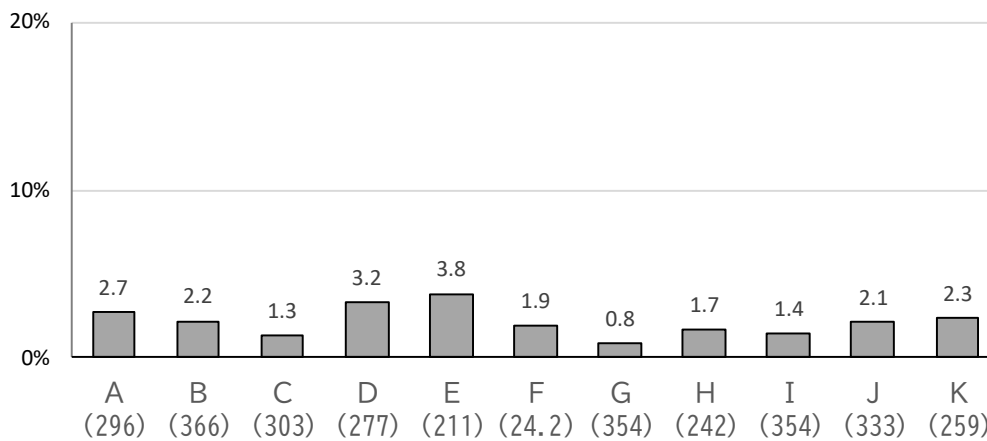
【要支援認定別】



圏域別でみると、A圏域、B圏域、D圏域、E圏域、J圏域、K圏域で低栄養リスクの高い人の割合が全体（2.0%）を超えています。

また、最も高い圏域はE圏域で3.8%、最も低い圏域はG圏域で0.8%となっており、3.0ポイントの差となっています

【日常生活圏域別】



※（ ）内は回答者数

(5) 口腔

調査票の以下の設問を抽出し、3問中2問で選択肢「1. はい」に該当する人を、口腔機能低下者と判定しました。

【判定設問】

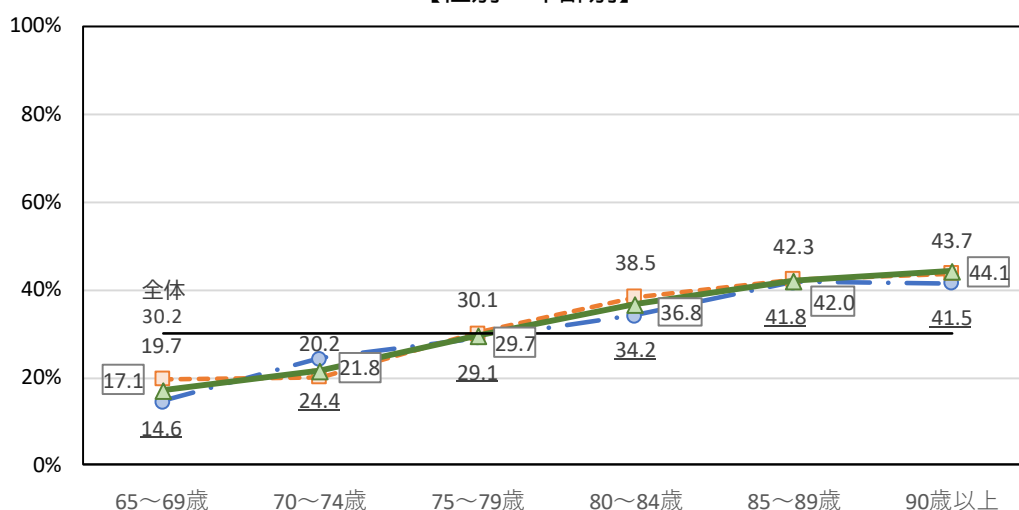
問番号	設問	該当する選択肢
問3(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問3(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問3(4)	口の渇きが気になりますか。	1. はい

【リスク該当状況】

口腔の評価結果をみると、回答者全体のうち30.2%が口腔機能低下者となっています。

性別・年齢階級別でみると、男女いずれも75～79歳以降、加齢とともに割合が高くなる傾向にあります。

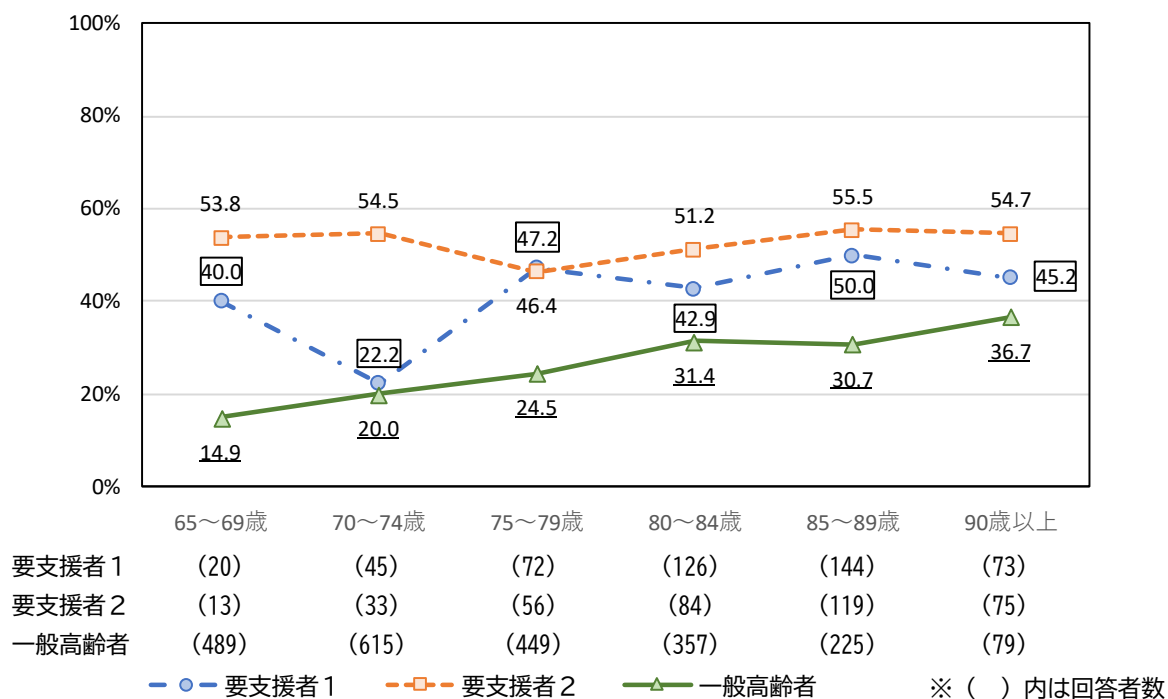
【性別・年齢別】



男性	(260)	(332)	(230)	(199)	(146)	(53)
女性	(274)	(396)	(392)	(426)	(364)	(190)
		—●— 男性	—□— 女性	—△— 合計	※ () 内は回答者数	

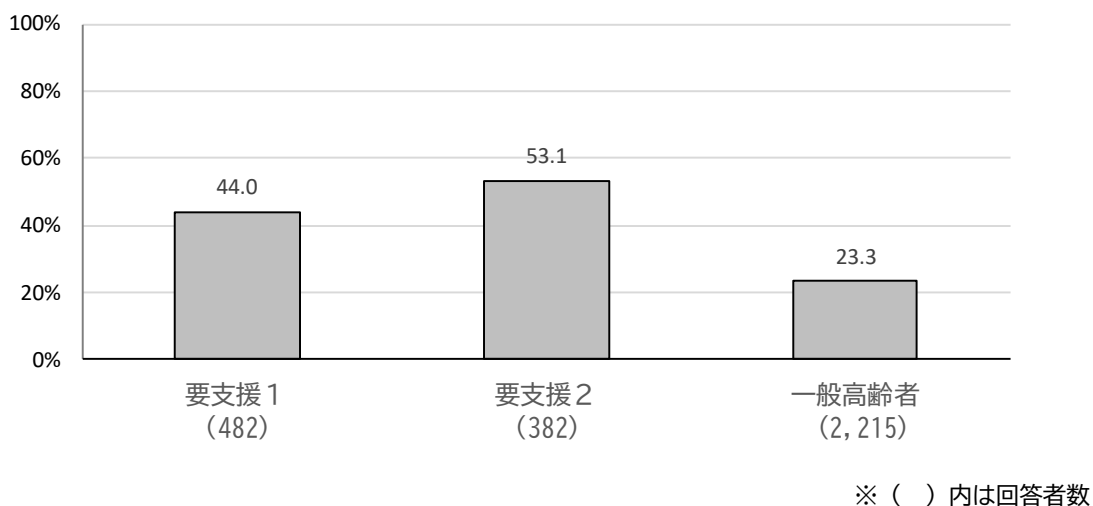
認定・年齢階級別でみると、一般高齢者では80～84歳以上で割合が増加しています。

【要支援認定・年齢別】



認定別でみると、要支援2が53.1%と最も高くなっています。

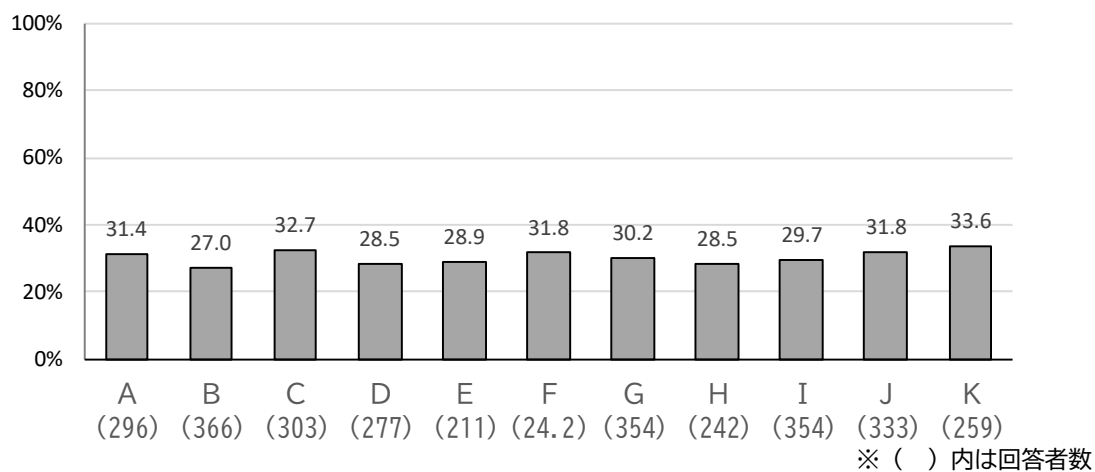
【要支援認定別】



圏域別で見ると、A圏域、C圏域、F圏域、G圏域、J圏域、K圏域で口腔機能低下者の割合が全体（30.2%）を超えています。

また、最も高い圏域はK圏域で 33.6%、最も低い圏域はB圏域で 27.0%となっており、6.6 ポイントの差となっています

【日常生活圏域別】



(6) 認知

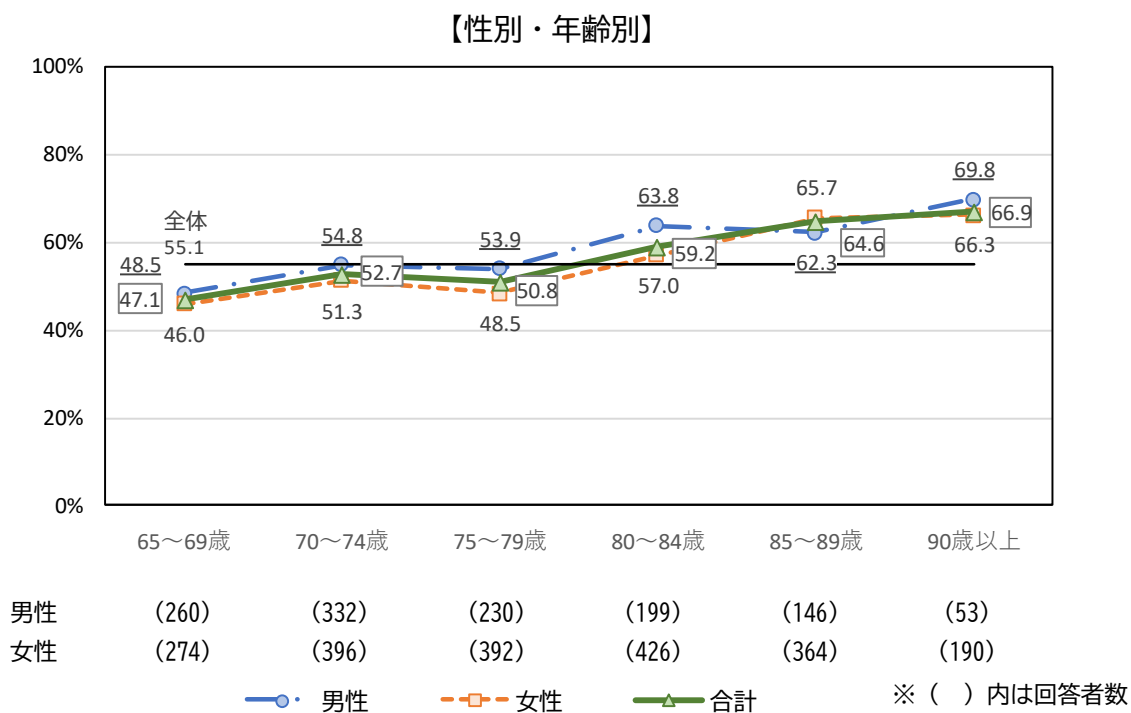
調査票の以下の設問を抽出し、1項目以上で「1. はい」を選択した人を、認知機能低下者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問5(1)	物忘れが多いと感じますか。	1. はい
問5(2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。	2. いいえ
問5(3)	今日が何月何日かわからない時がありますか。	1. はい

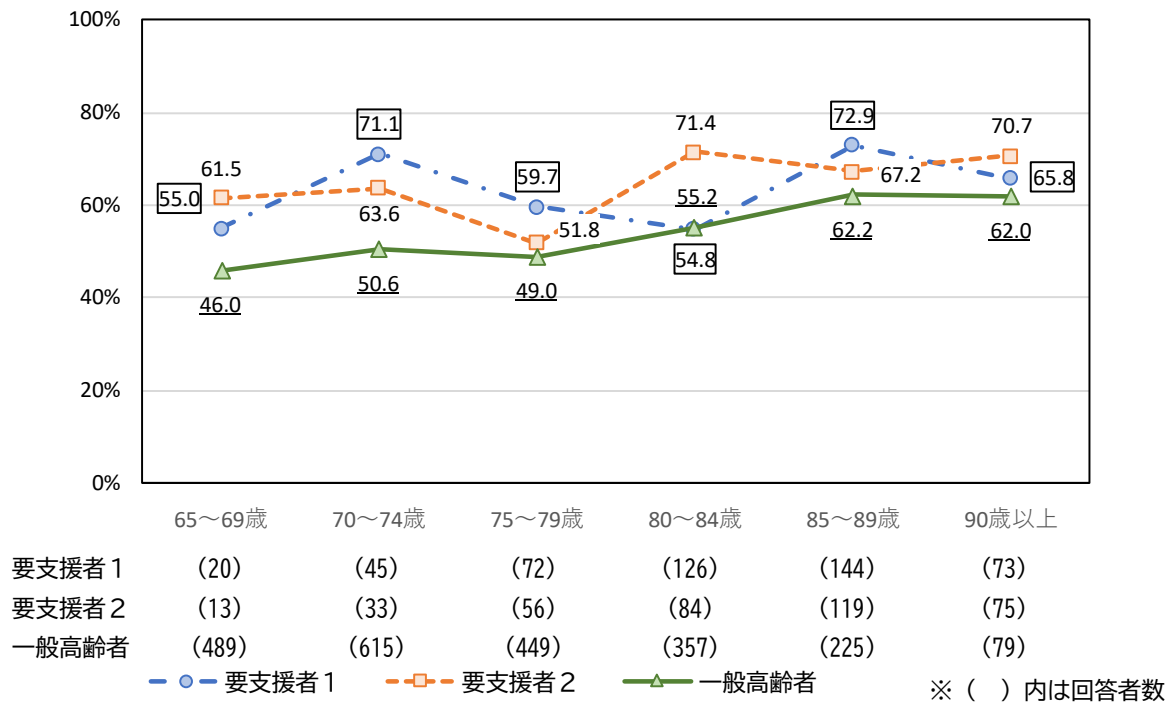
【リスク該当状況】

認知機能の評価結果をみると、回答者全体のうち55.1%が認知機能低下者となっています。性別・年齢階級別でみると、女性は80～84歳以降、加齢とともに割合が高くなる傾向にあります。



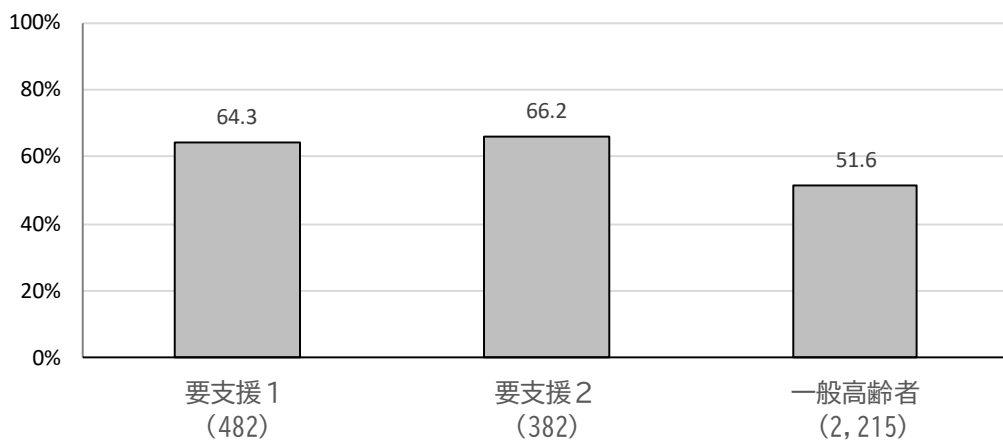
認定・年齢階級別でみると、要支援1、要支援2ではいずれの年代でも50.0%以上を占めており、一般高齢者では、高い年齢層ほど割合が高くなる傾向にあり、85～89歳の時点で、割合が大きく増加しています。

【要支援認定・年齢別】



認定別でみると、要支援2が66.2%と最も高くなっています。

【要支援認定別】

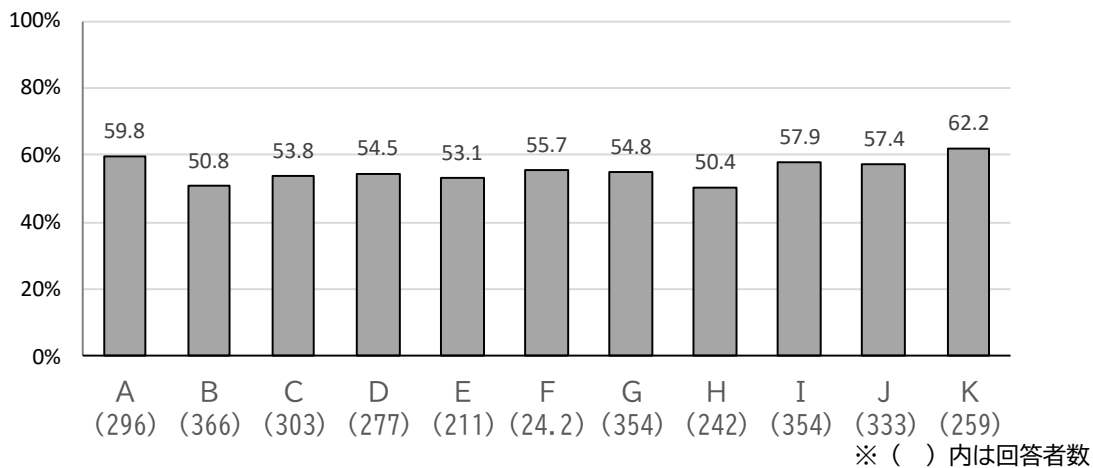


※ () 内は回答者数

圏域別でみると、A圏域、F圏域、I圏域、J圏域、K圏域で認知機能低下者の割合が全体(55.1%)を超えています。

また、最も高い圏域はK圏域で62.2%、最も低い圏域はH圏域で50.4%となっており、11.8ポイントの差となっています

【日常生活圏域別】



(7) うつ

調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスクが高い人と判定しました。

【判定設問】

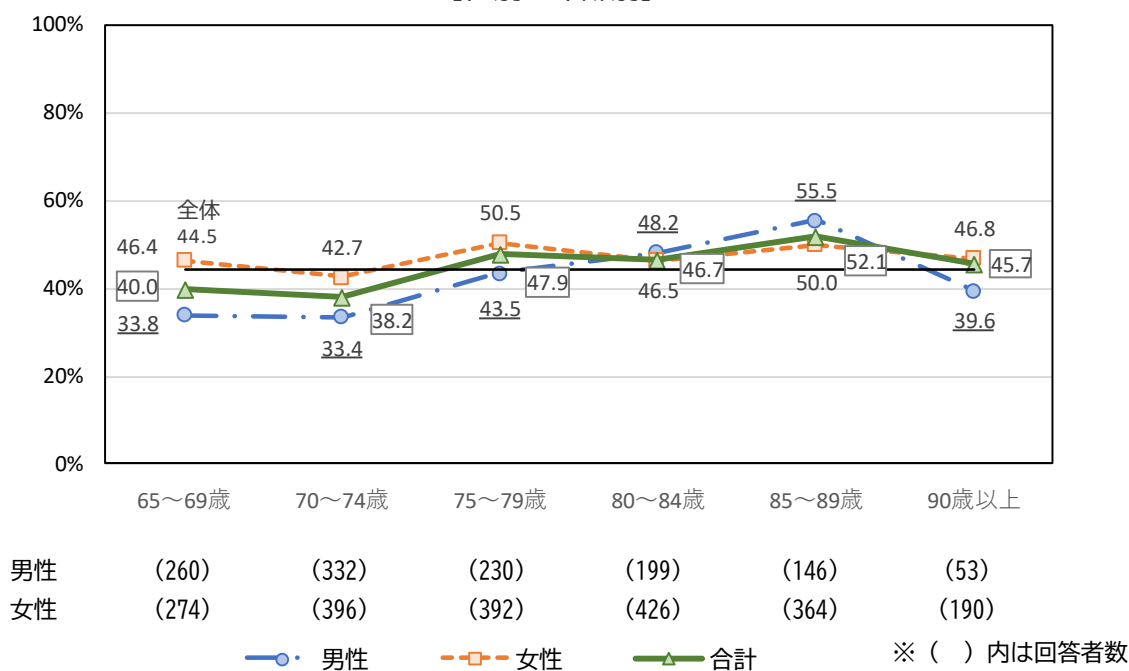
問番号	設問	該当する選択肢
問4 (3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問4 (4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

うつの評価結果をみると、回答者全体のうち44.5%がリスク該当者となっています。

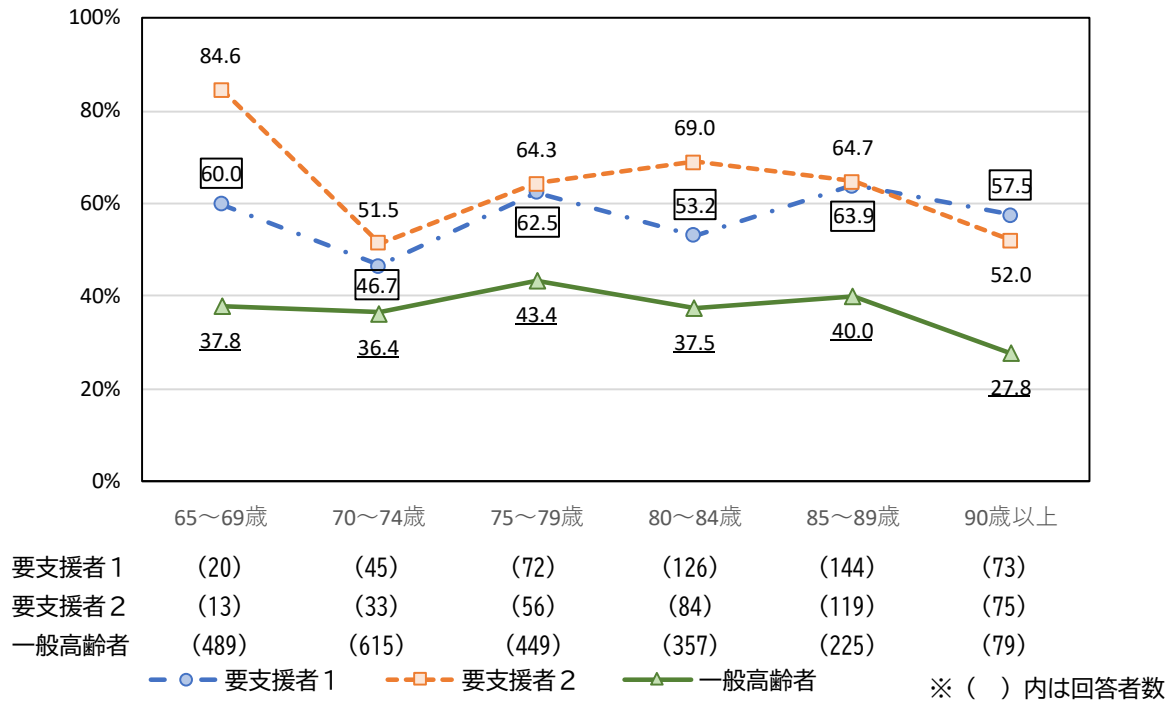
性別・年齢階級別でみると、女性は横ばい傾向ですが、男性では年齢層が高くなるとともに増加傾向にあります。

【性別・年齢別】



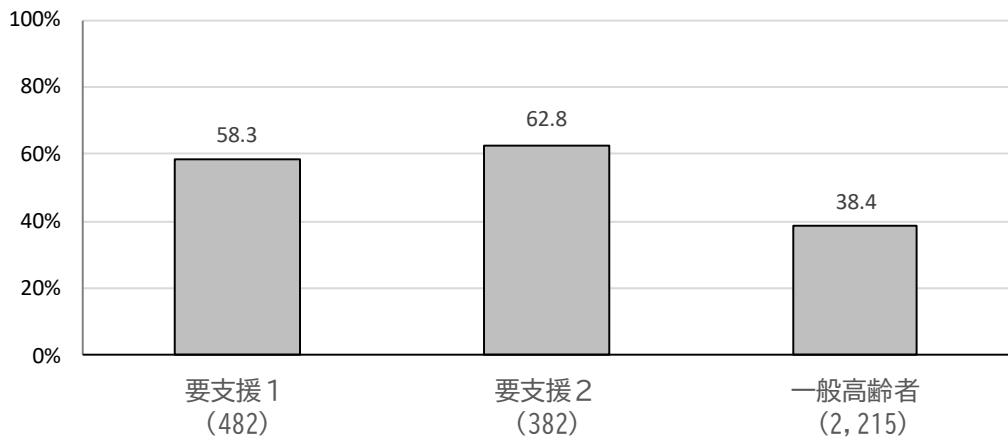
認定・年齢階級別でみると、要支援2ではいずれの年代でも 50.0%以上を占めており、一般高齢者では、90 歳以上を除き、ほぼ横ばいに近くなっています。

【要支援認定・年齢別】



認定別でみると、要支援2が 62.8%と最も高くなっています。

【要支援認定別】

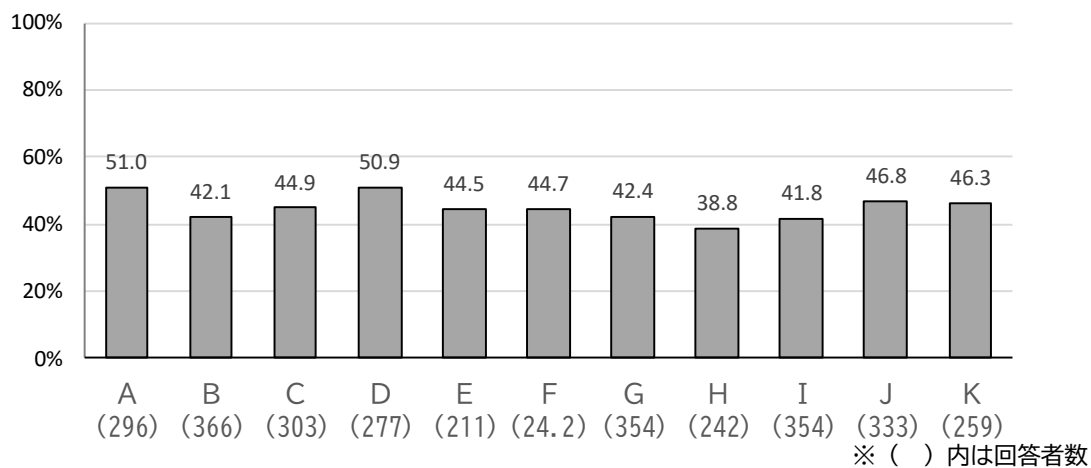


※ () 内は回答者数

圏域別で見ると、A圏域、C圏域、D圏域、E圏域、F圏域、J圏域、K圏域でうつリスク該当者の割合が全体（44.5%）を超えています。

また、最も高い圏域はA圏域で51.0%、最も低い圏域はH圏域で38.8%となっており、12.2ポイントの差となっています

【日常生活圏域別】



2 手段的日常生活動作

(1) 手段的日常生活動作（IADL）

外出の際に自分で公共交通機関を利用したり、金銭を管理したりするような、少し高度で日常生活を送る上で必要な動作を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的日常生活動作（IADL）に関する設問が5問あり、「手段的日常生活動作（IADL）」として尺度化されています。

評価は、各設問を通し、1つでも「できない」と回答した場合、手段的日常生活動作の低下者として扱います。

【判定設問】

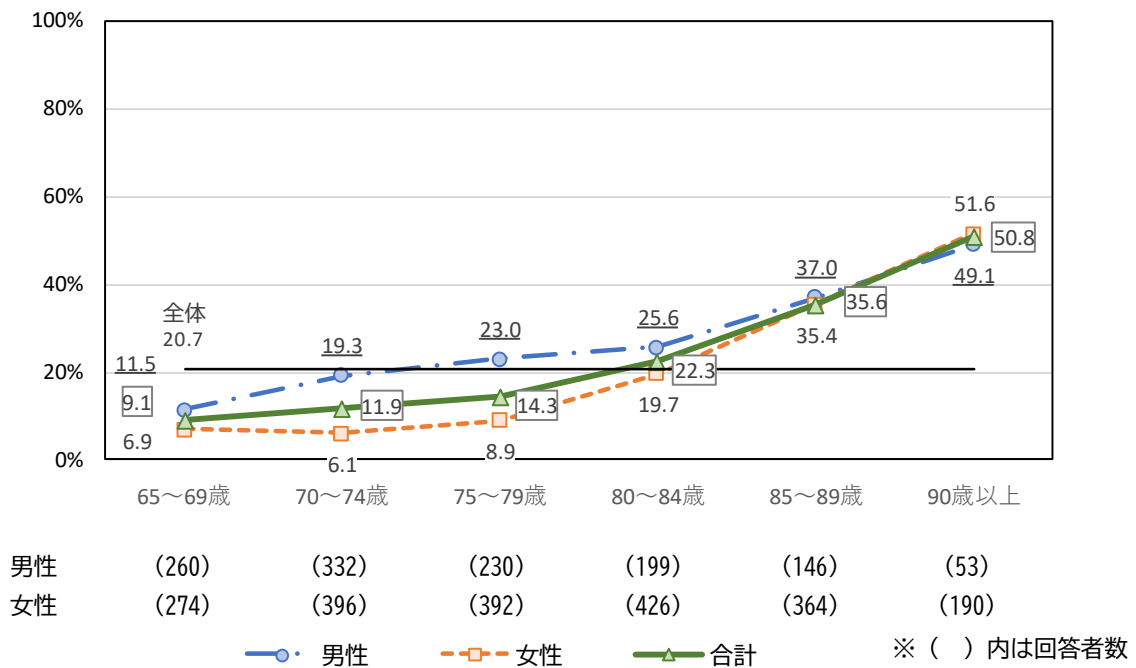
問番号	設問	該当する選択肢
問5(4)	バスや電車を使って1人で外出していますか。	3. できない
問5(5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	3. できない
問5(6)	自分で食事の用意をしていますか。	3. できない
問5(7)	自分で請求書の支払いをしていますか。	3. できない
問5(8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	3. できない

【リスク該当状況】

回答者全体のうち20.7%が手段的日常生活動作の低下者に該当します。

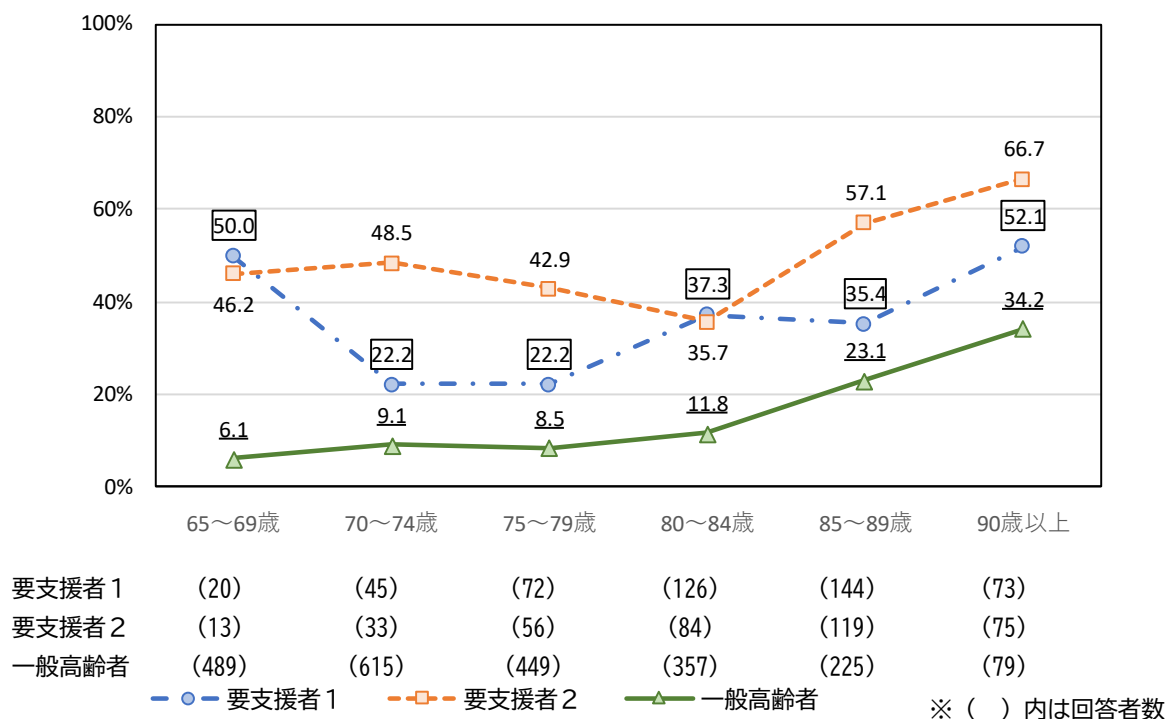
性別・年齢階級別でみると、男女いずれも加齢とともに高くなる傾向にあります。

【性別・年齢別】



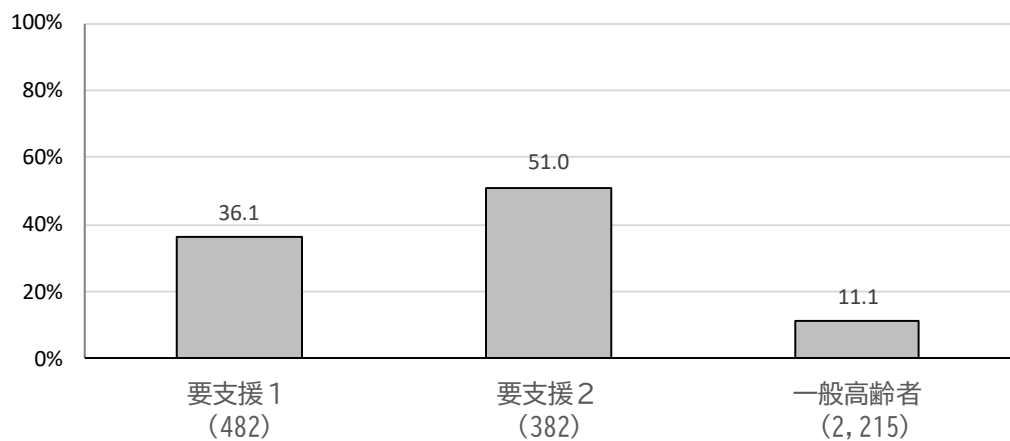
認定・年齢階級別でみると、一般高齢者では加齢とともに割合が高くなる傾向にあります。

【要支援認定・年齢別】



認定別でみると、要支援2が51.0%と最も高くなっています。

【要支援認定別】

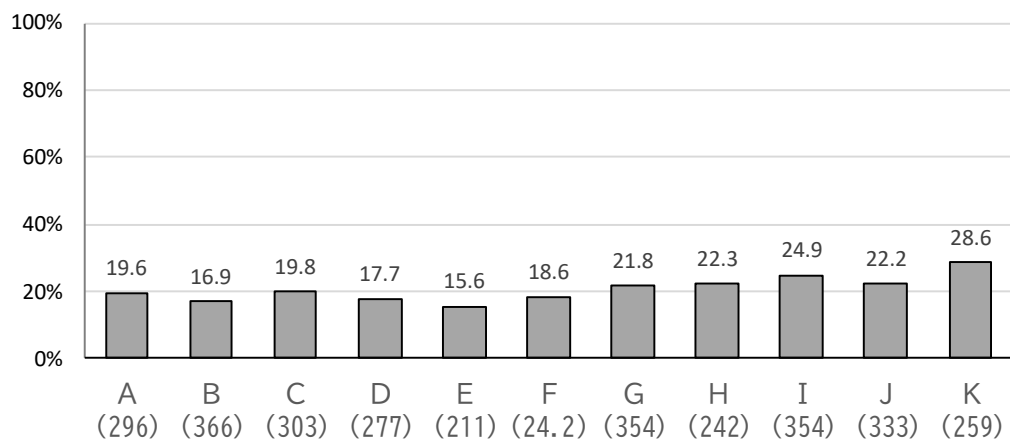


※ () 内は回答者数

圏域別でみると、G圏域、H圏域、I圏域、J圏域、K圏域で手段的日常生活動作の低下者割合が全体（20.7%）を超えています。

また、最も高い圏域はK圏域で28.6%、最も低い圏域はE圏域で15.6%となっており、13.0ポイントの差となっています

【日常生活圏域別】



※（ ）内は回答者数

(2) 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価し、3点以下を知的能動性の低下者としています。

【判定設問】

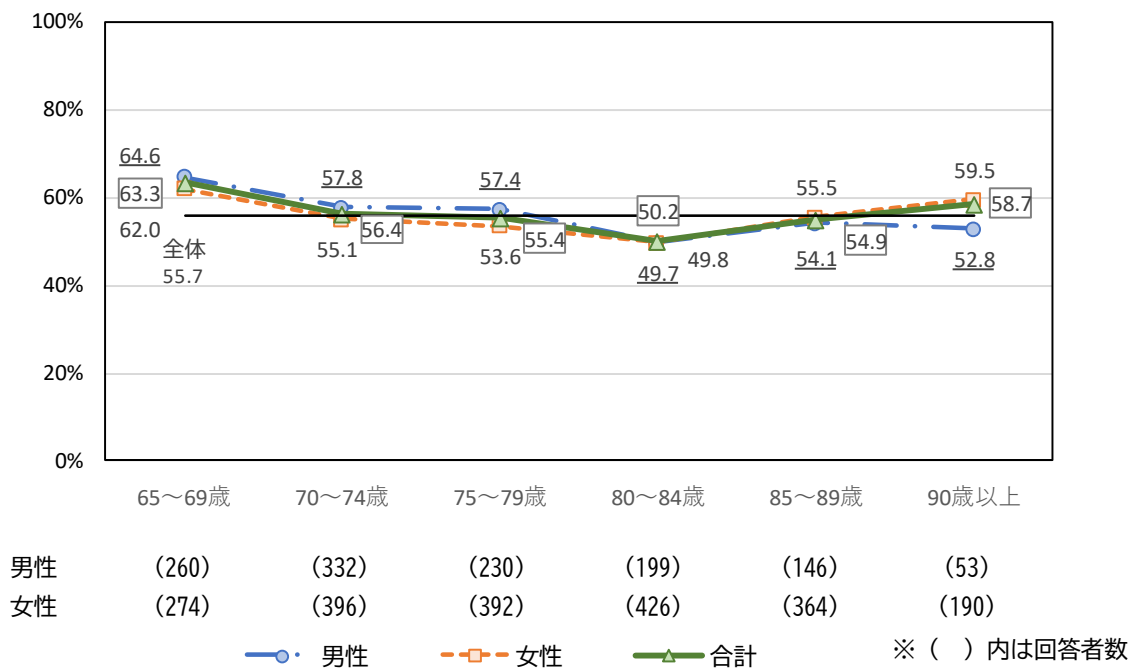
問番号	設問	該当する選択肢
問5(9)	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。	1. はい: 1点
問5(10)	新聞を読んでいますか。	1. はい: 1点
問5(11)	本や雑誌を読んでいますか。	1. はい: 1点
問5(12)	健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい: 1点

【リスク該当状況】

知的能動性の低下者は、回答者全体のうち55.7%となっています。

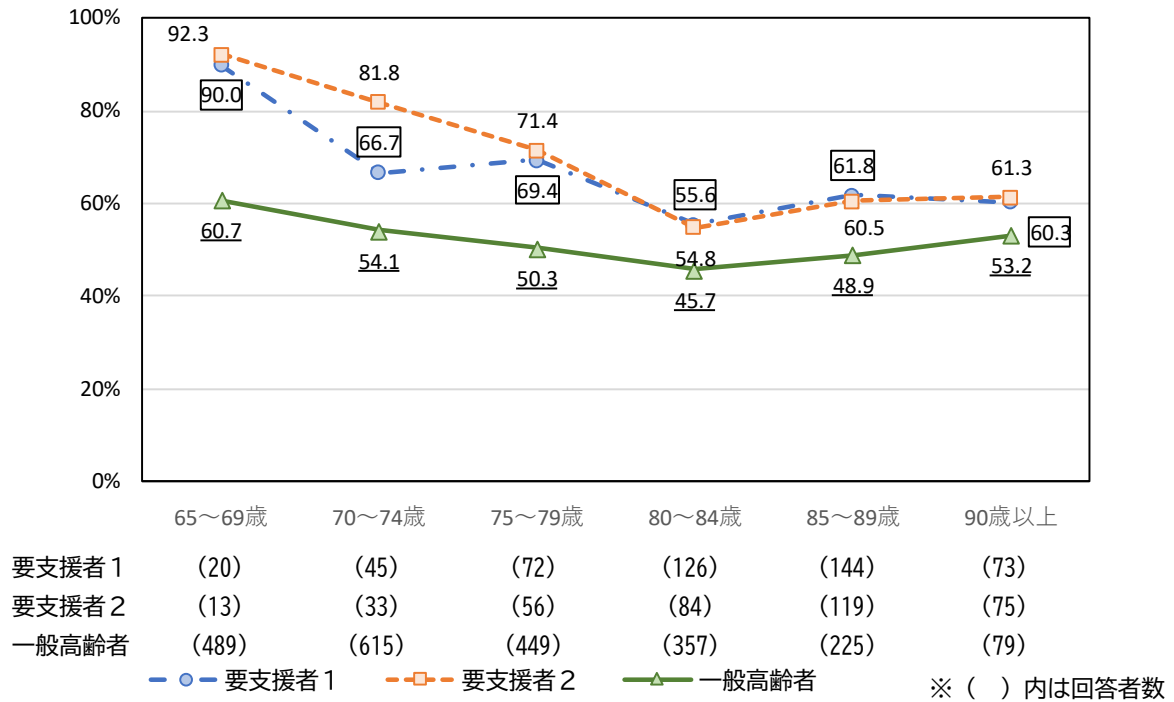
性別・年齢階級別でみると、男女ともに65~69歳が最も高く、80~84歳まで減少傾向にあります。

【性別・年齢別】



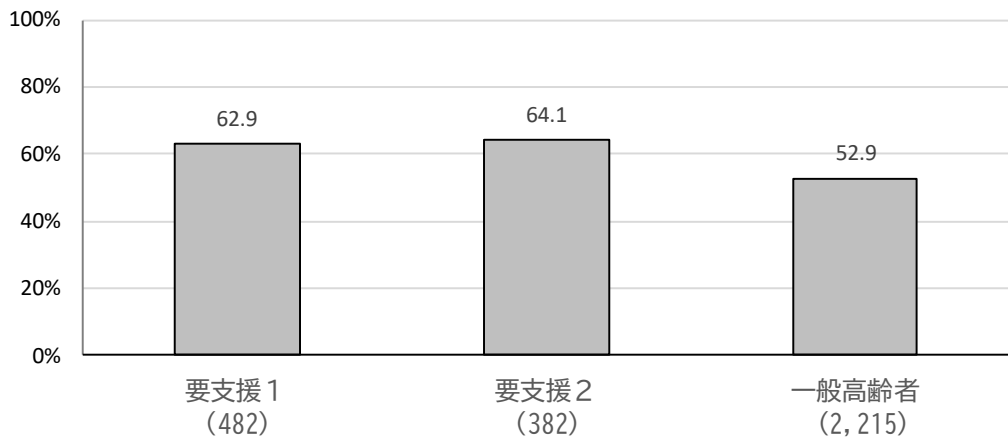
認定・年齢階級別でみると、要支援1と要支援2では、それぞれ65～69歳が最も高く、80～84歳が最も低くなっています。

【要支援認定・年齢別】



認定別でみると、要支援2が64.1%と最も高くなっています。

【要支援認定別】

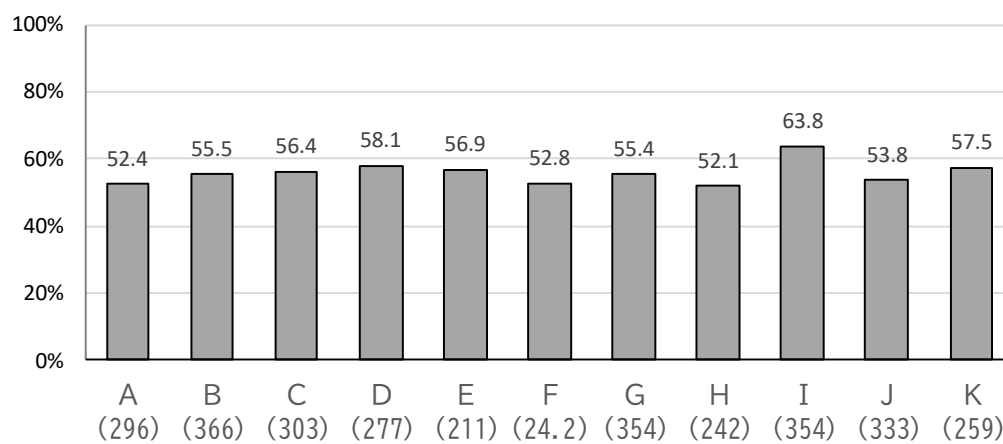


※ () 内は回答者数

圏域別でみると、C圏域、D圏域、E圏域、I圏域、K圏域で知的能動性の低下者割合が全体(55.7%)を超えています。

また、最も高い圏域はI圏域で63.8%、最も低い圏域はH圏域で52.1%となっており、11.7ポイントの差となっています

【日常生活圏域別】



※ () 内は回答者数

3 社会参加

(1) 社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価し、3点以下を社会的役割の低下者としています。

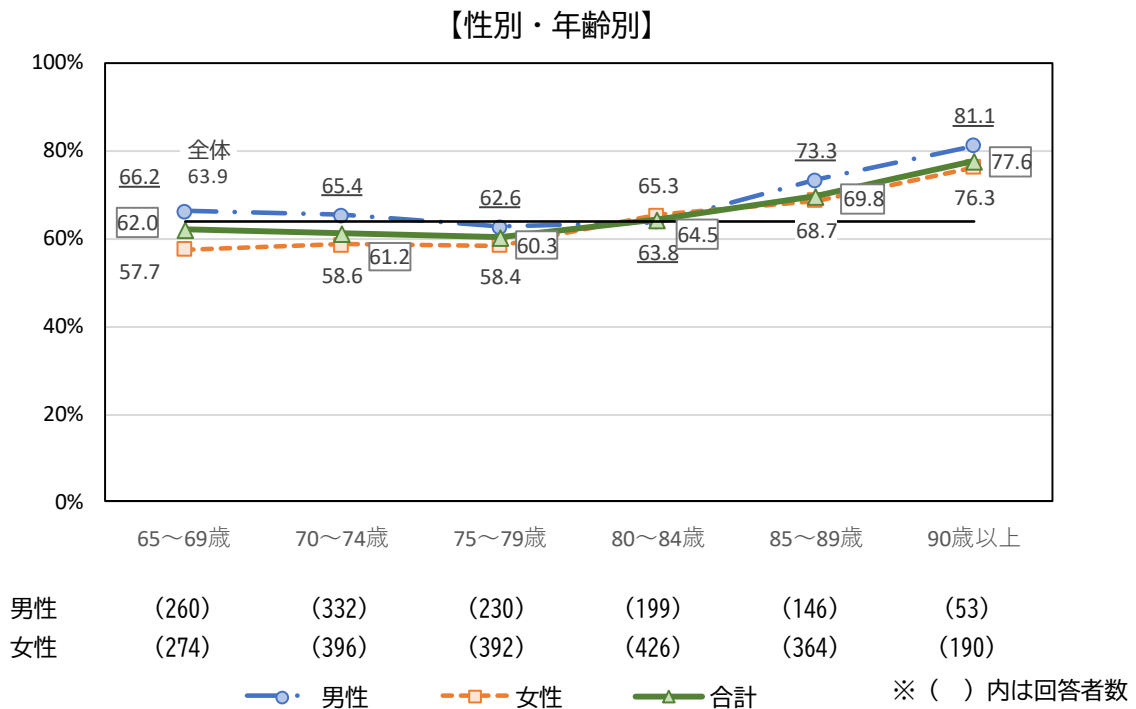
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問5 (13)	友人の家を訪ねていますか。	1. はい：1点
問5 (14)	家族や友人の相談にのっていますか。	1. はい：1点
問5 (15)	病人を見舞うことができますか。	1. はい：1点
問5 (16)	若い人に自分から話しかけることがありますか。	1. はい：1点

【リスク該当状況】

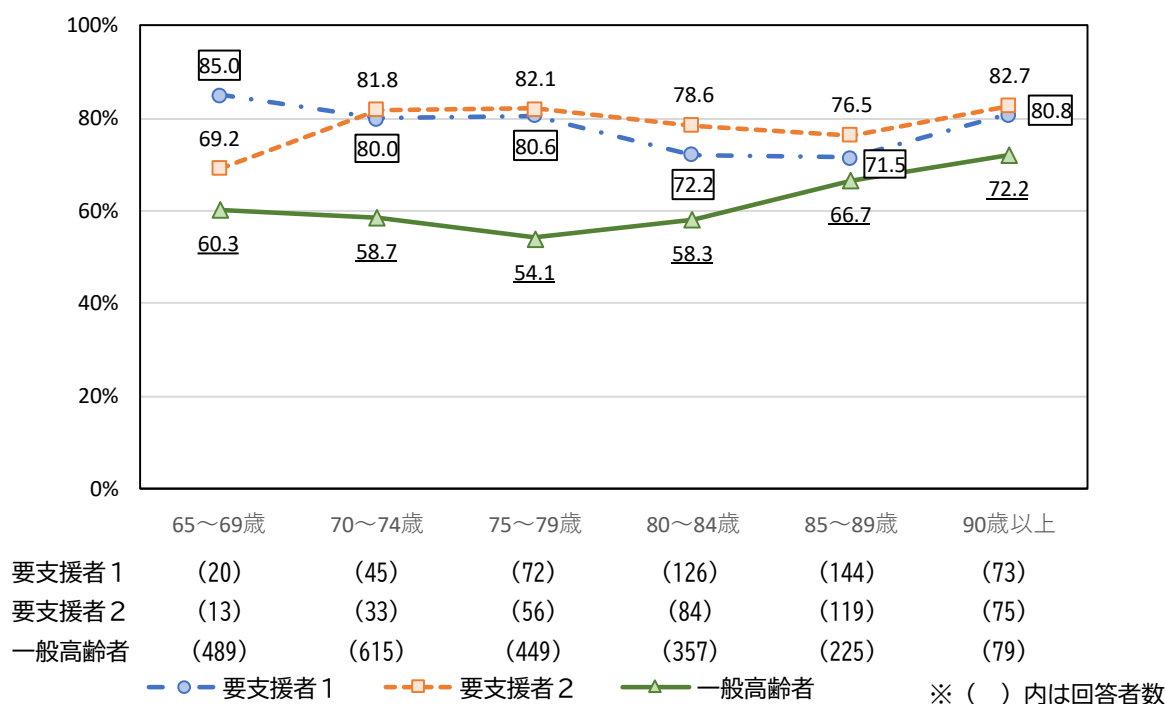
社会的役割の低下者は、回答者全体のうち 63.9%となっています。

性別・年齢階級別でみると、男女ともに 80～84 歳から増加しています。



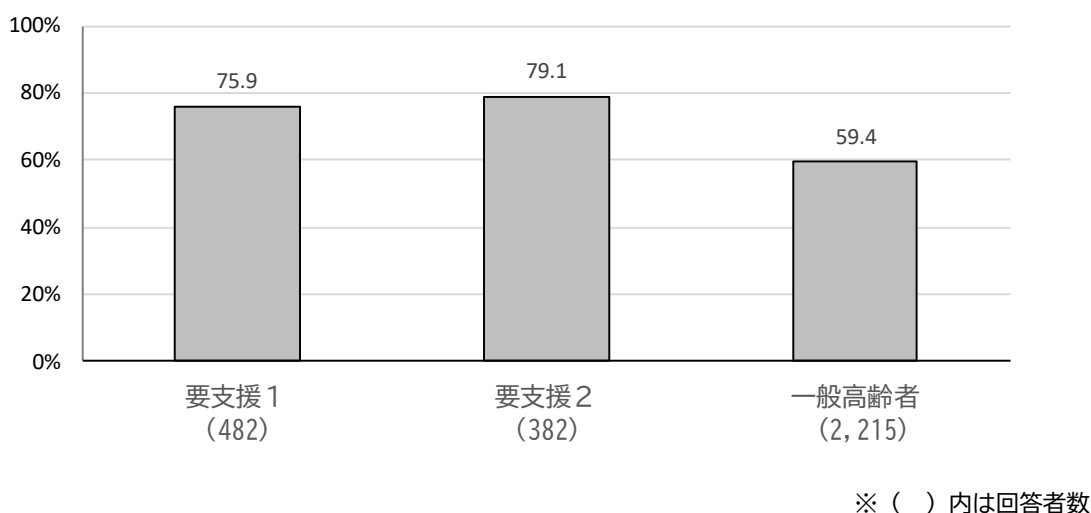
認定・年齢階級別でみると、一般高齢者では75～79歳で一旦減少し、その後加齢とともに増加しています。

【要支援認定・年齢別】



認定別でみると、要支援2が79.1%と最も高くなっています。

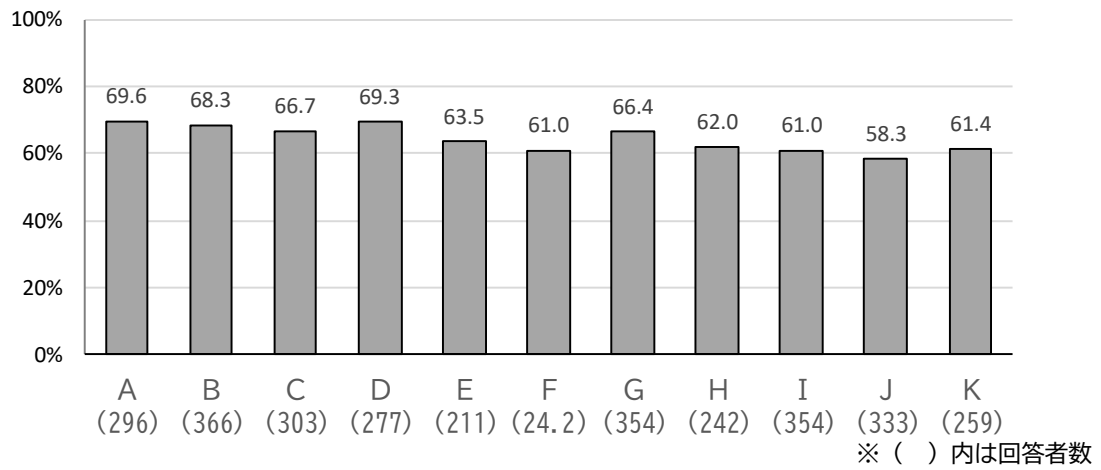
【要支援認定別】



圏域別でみると、A圏域、B圏域、C圏域、D圏域、G圏域で社会的役割の低下者割合が全体(63.9%)を超えています。

また、最も高い圏域はA圏域で69.6%、最も低い圏域はJ圏域で58.3%となっており、11.3ポイントの差となっています

【日常生活圏域別】



Ⅲ 調査結果

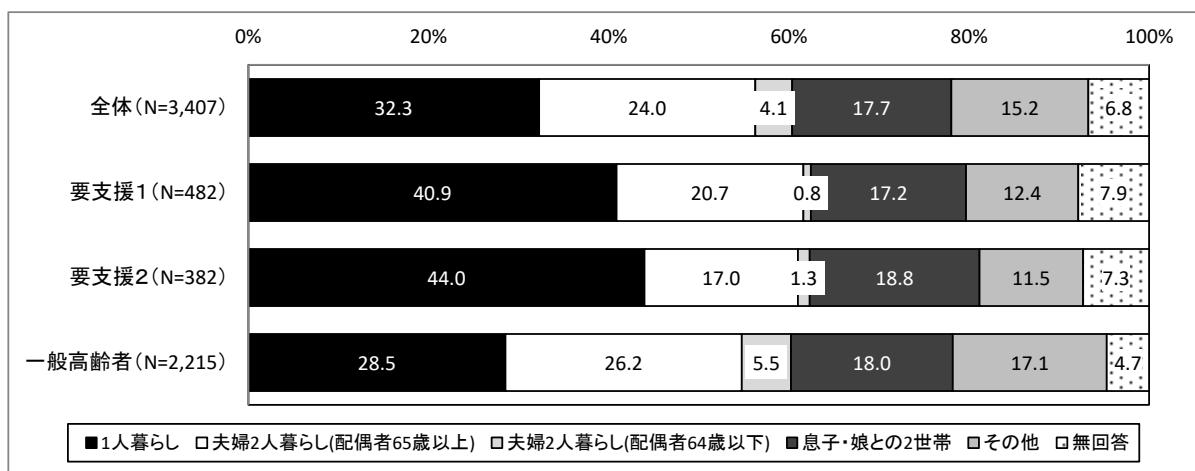
問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください (〇は1つだけ)

要支援1では、「1人暮らし」の割合が40.9%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が20.7%、「息子・娘との2世帯」が17.2%となっています。

要支援2では、「1人暮らし」の割合が44.0%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が18.8%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が17.0%となっています。

一般高齢者では、「1人暮らし」の割合が28.5%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が26.2%、「息子・娘との2世帯」が18.0%となっています。

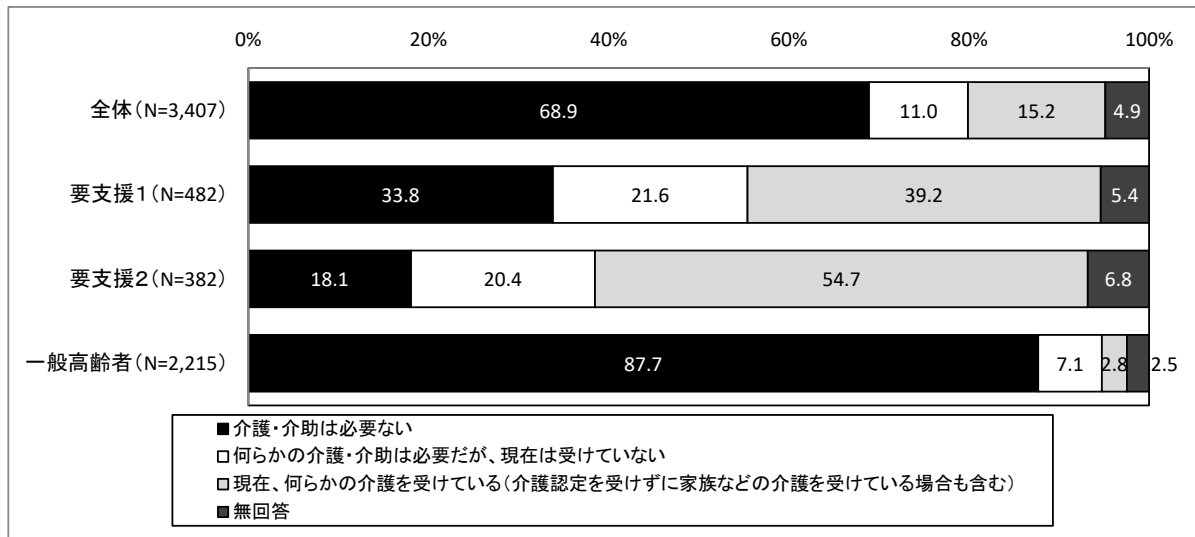


(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○は1つだけ)

要支援1では、「現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「介護・介助は必要ない」が 33.8%となっています。

要支援2では、「現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 20.4%、「介護・介助は必要ない」が 18.1%となっています。

一般高齢者では、「介護・介助は必要ない」の割合が 87.7%と最も高くなっています。



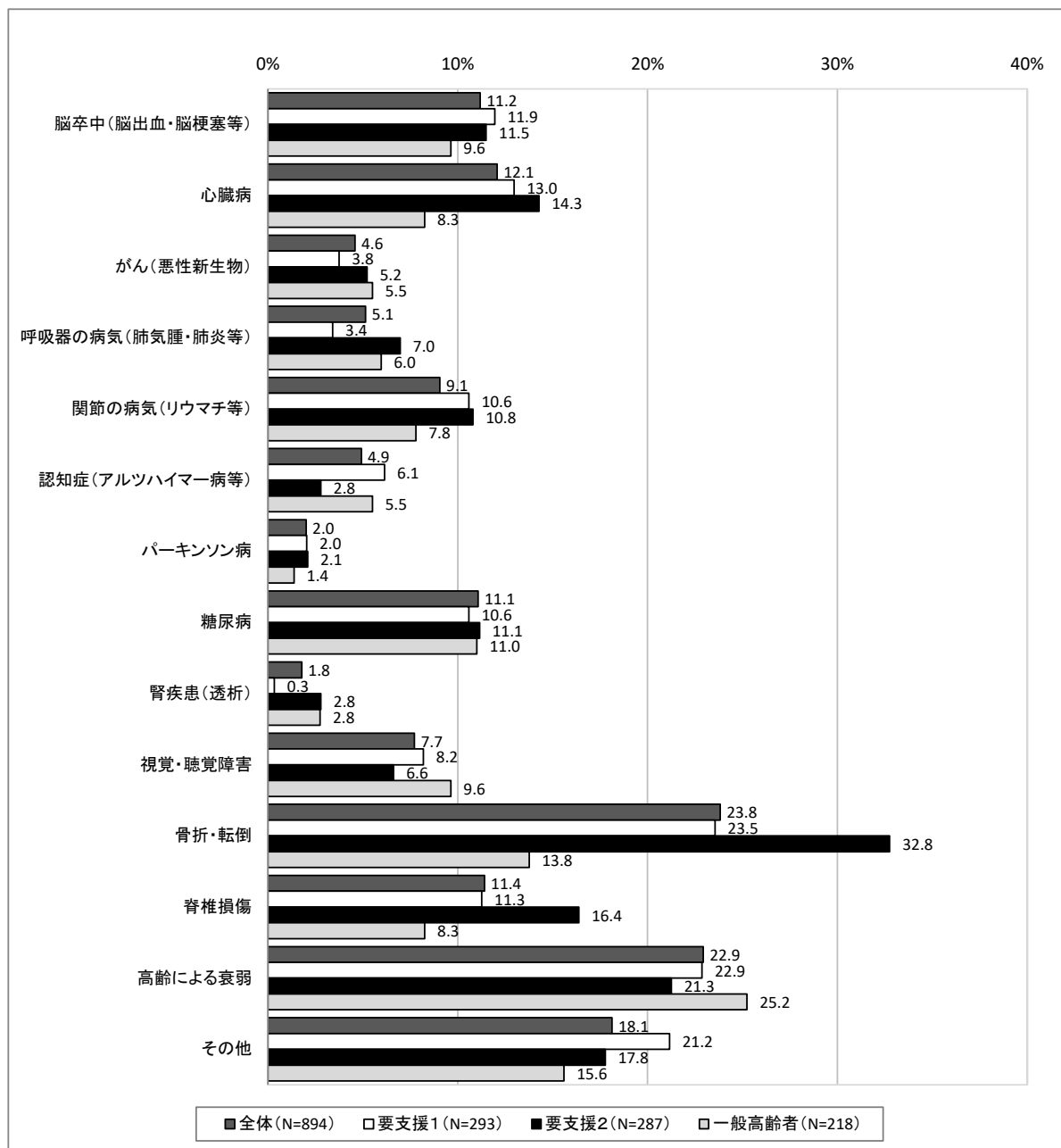
【(2) の質問で「2」もしくは「3」と回答した方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (〇はいくつでも)

要支援1では、「骨折・転倒」の割合が23.5%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」が22.9%、「その他」が21.2%となっています。

要支援2では、「骨折・転倒」の割合が32.8%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」が21.3%、「その他」が17.8%となっています。

一般高齢者では、「高齢による衰弱」の割合が25.2%と最も高くなっています。



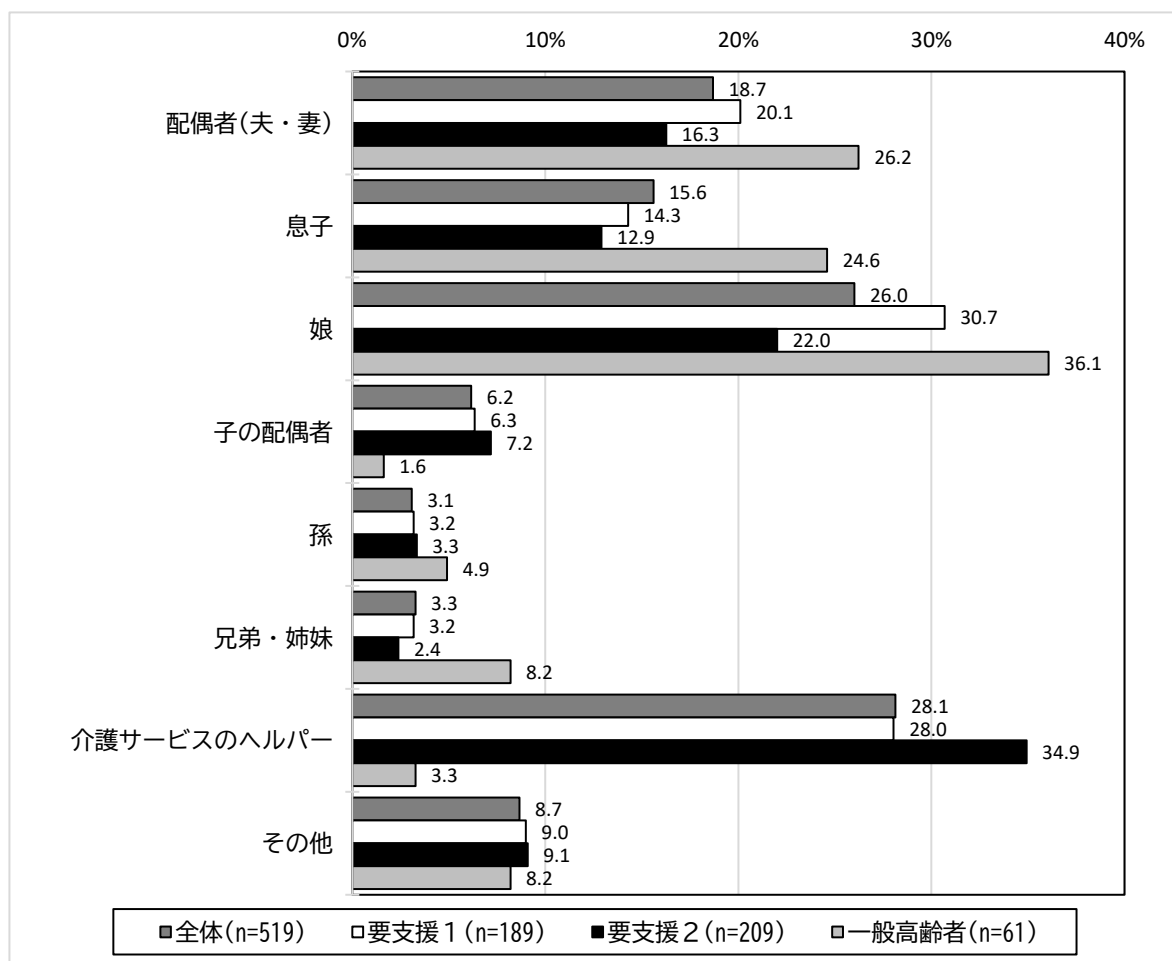
【(2) の質問で「2」もしくは「3」と回答した方のみ】

②主にどなたの介護・介助を受けていますか (〇はいくつでも)

要支援1では、「娘」の割合が30.7%と最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」が28.0%、「配偶者(夫・妻)」が20.1%となっています。

要支援2では、「介護サービスのヘルパー」の割合が34.9%と最も高く、次いで「娘」が22.0%、「配偶者(夫・妻)」が16.3%となっています。

一般高齢者では、「娘」の割合が36.1%と最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」が26.2%となっています。

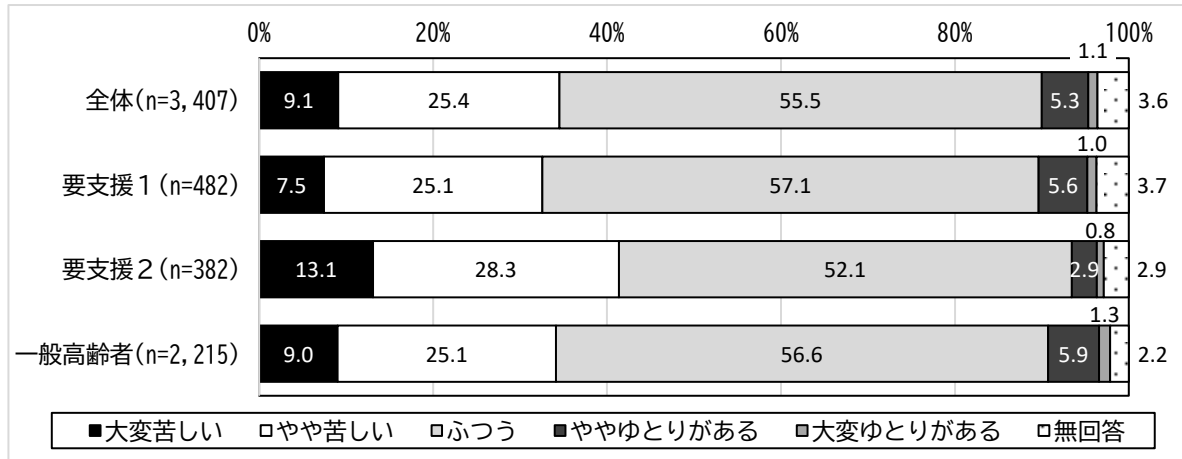


(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (○は1つだけ)

要支援1では、「ふつう」の割合が57.1%と最も高く、次いで「やや苦しい」が25.4%、「大変苦しい」が7.5%となっています。

要支援2では、「ふつう」の割合が52.1%と最も高く、次いで「やや苦しい」が28.3%となっています。

一般高齢者では、「ふつう」の割合が56.6%と最も高く、次いで「やや苦しい」が25.1%となっています。

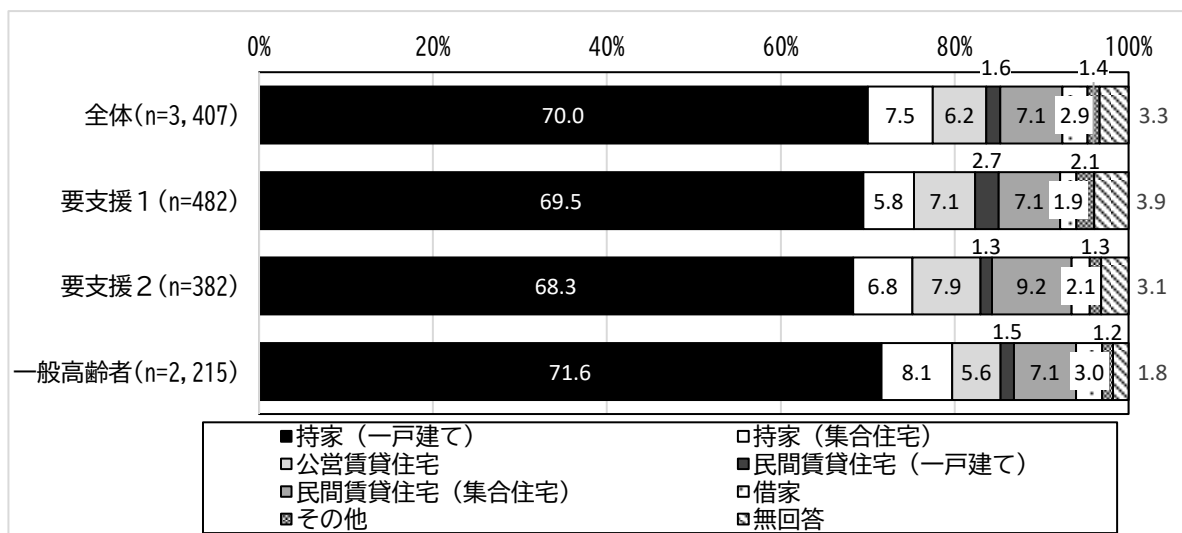


(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (○は1つだけ)

要支援1では、「持家（一戸建て）」の割合が69.5%と最も高くなっています。

要支援2では、「持家（一戸建て）」の割合が68.3%と最も高くなっています。

一般高齢者では、「持家（一戸建て）」の割合が71.6%と最も高くなっています。

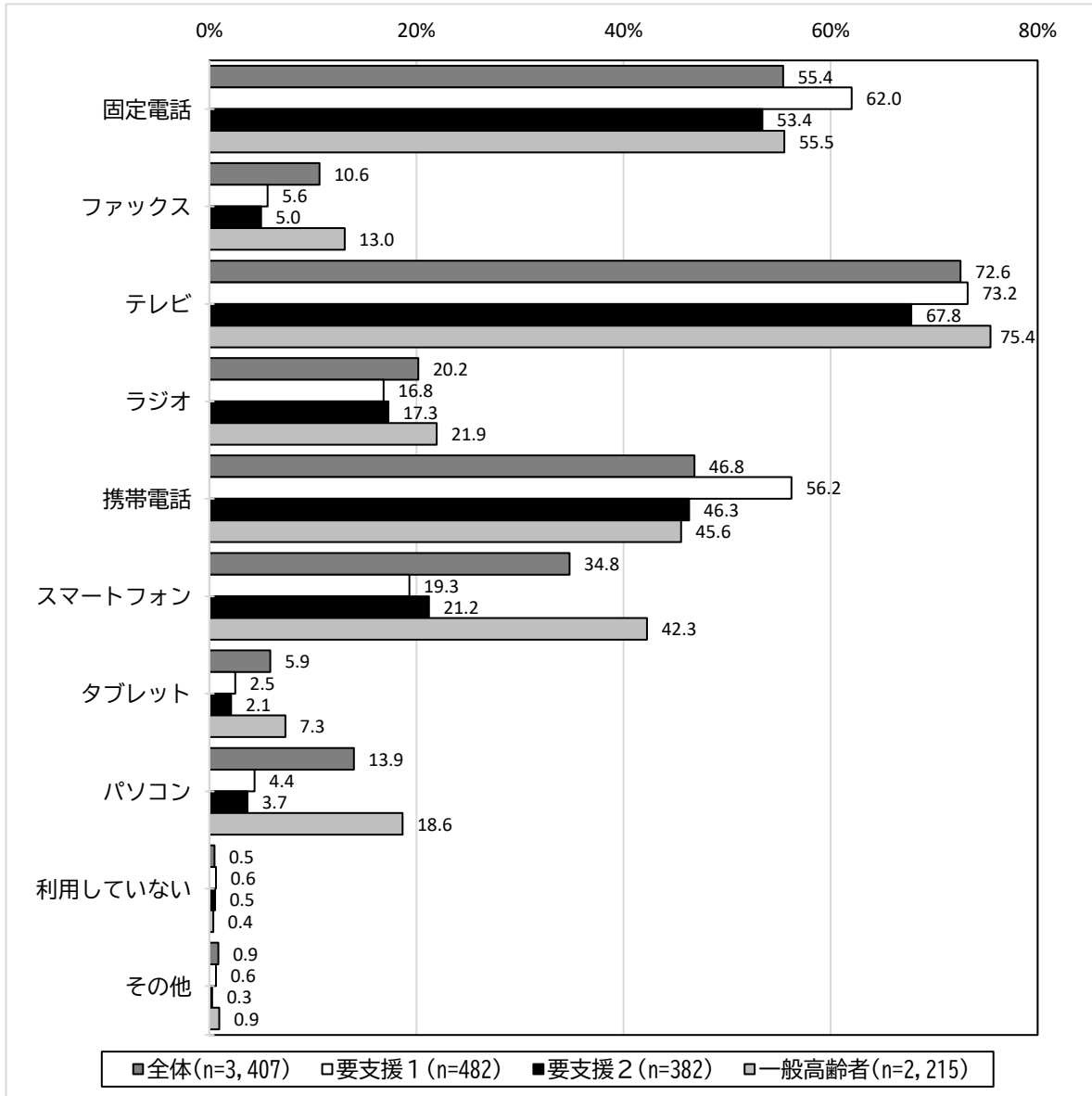


(5) 普段利用している情報通信機器を教えてください (○はいくつでも)

要支援1では、「テレビ」の割合が73.2%と最も高く、次いで「固定電話」が62.0%、「携帯電話」が56.2%となっています。

要支援2では、「テレビ」の割合が67.8%と最も高く、次いで「固定電話」が53.4%、「携帯電話」が46.3%となっています。

一般高齢者では、「テレビ」の割合が75.4%と最も高くなっています。



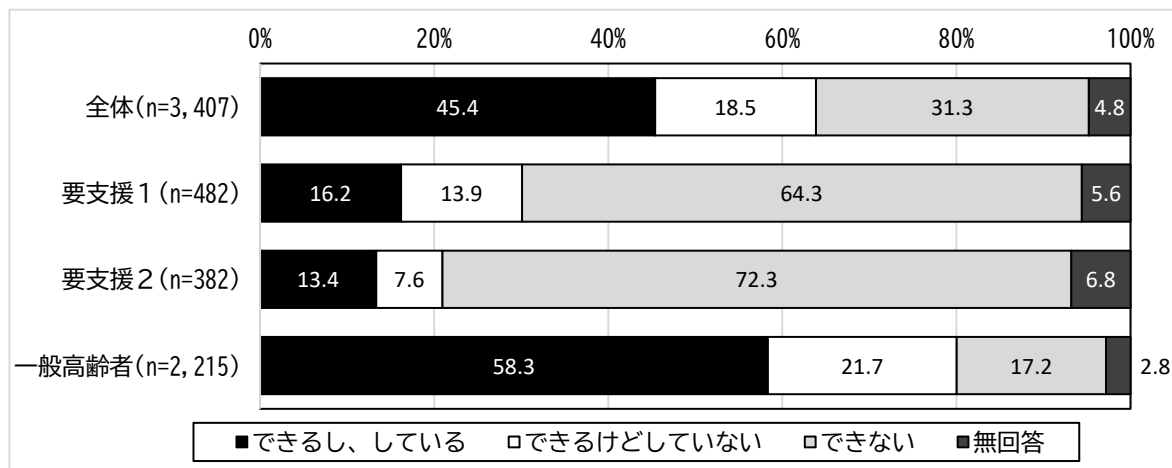
問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つだけ)

要支援1では、「できない」の割合が64.3%と最も高く、次いで「できるし、している」が16.2%、「できるけどしていない」が13.9%となっています。

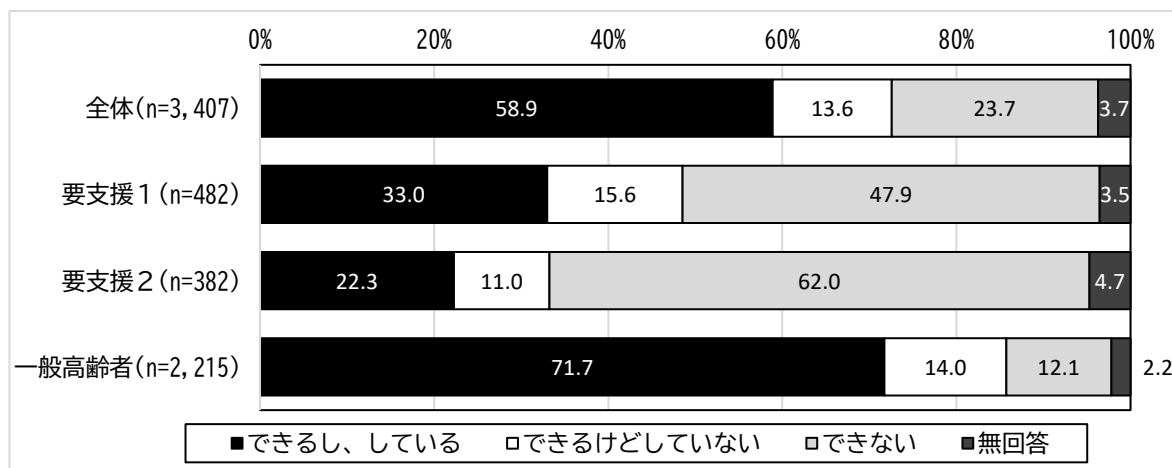
要支援2では、「できない」の割合が72.3%と最も高く、次いで「できるし、している」が13.4%となっています。

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が58.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が21.7%となっています。



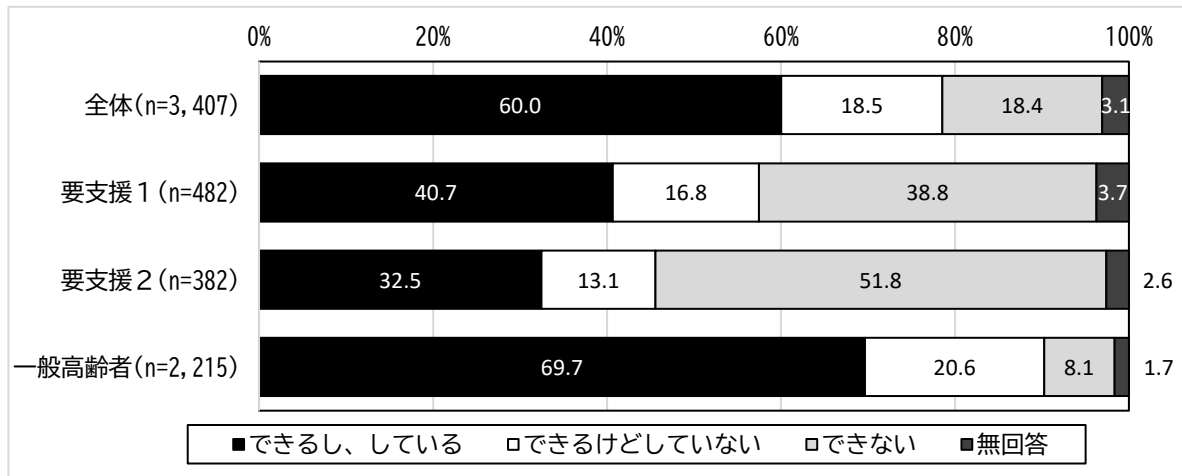
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つだけ)

「できない」の割合は、要支援1で47.9%、要支援2で62.0%、一般高齢者で12.1%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が35.8ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



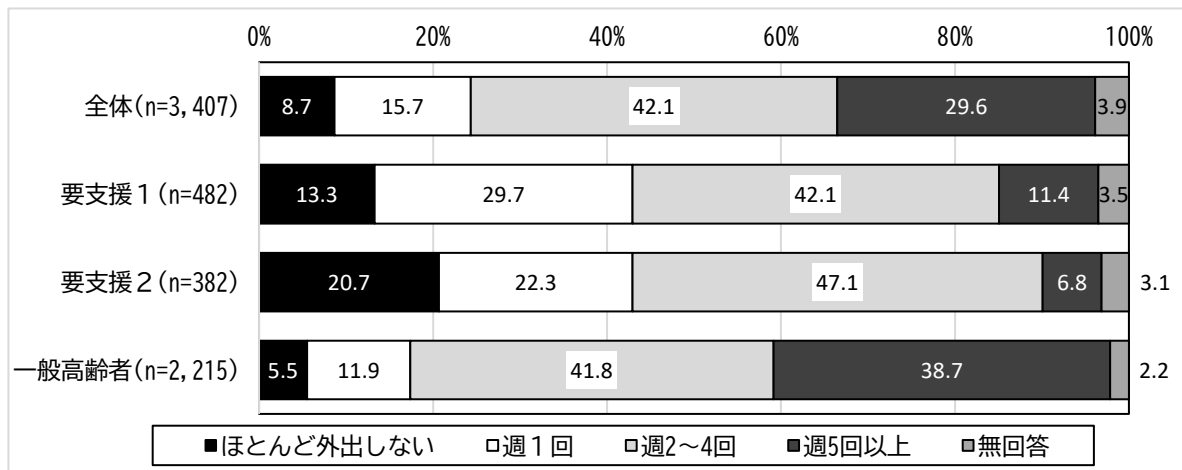
(3) 15分位続けて歩いていますか (○は1つだけ)

「できない」の割合は、要支援1で38.8%、要支援2で51.8%、一般高齢者で8.1%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が30.7ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



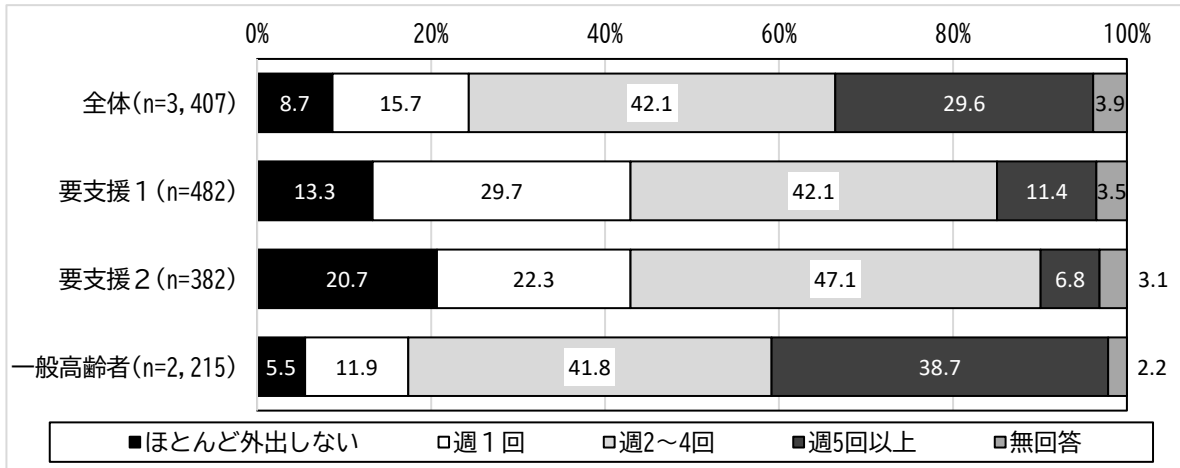
(4) 週に1回以上は外出していますか (○は1つだけ)

「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた『閉じこもりリスクのある人』の割合は、要支援1、要支援2ともに43.0%、一般高齢者で17.4%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1、2と一般高齢者の差が25.6ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



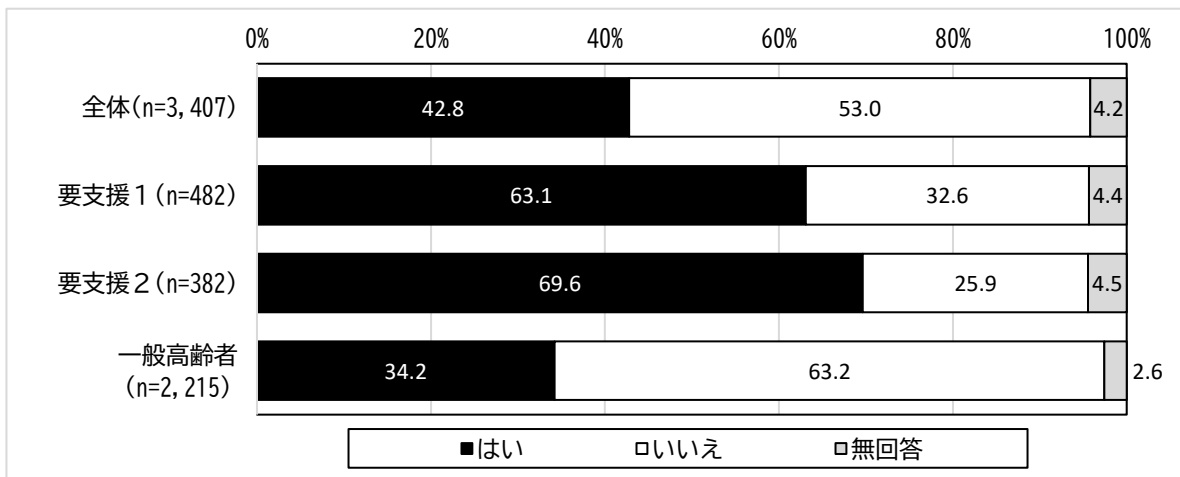
(5) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つだけ)

「とても減っている」と「減っている」を合わせた『外出の回数が減っている人』の割合は、要支援1で64.7%、要支援2で69.3%、一般高齢者で32.8%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



(6) 外出を控えていますか (○は1つだけ)

「はい」の割合は、要支援1で63.1%、要支援2で69.6%、一般高齢者で34.2%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



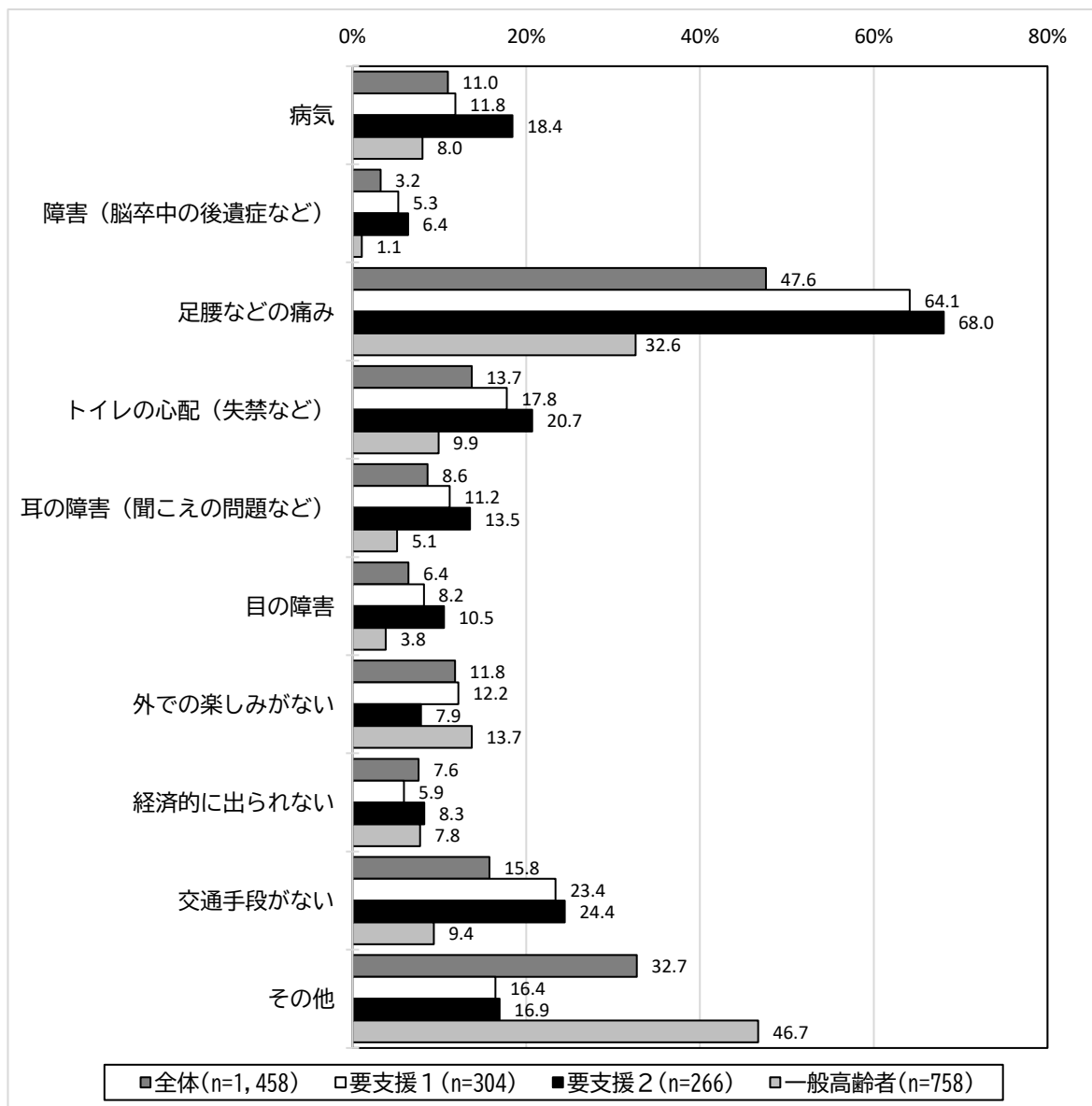
【(6) の質問で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか(○はいいくつでも)

要支援1では、「足腰などの痛み」の割合が64.1%と最も高く、次いで「交通手段がない」が23.4%、「トイレの心配(失禁など)」が17.8%となっています。

要支援2では、「足腰などの痛み」の割合が68.0%と最も高く、次いで「交通手段がない」が24.4%、「トイレの心配(失禁など)」が20.7%となっています。

一般高齢者では、「その他」の割合が46.7%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」が32.6%、「外での楽しみがない」が13.7%となっています。

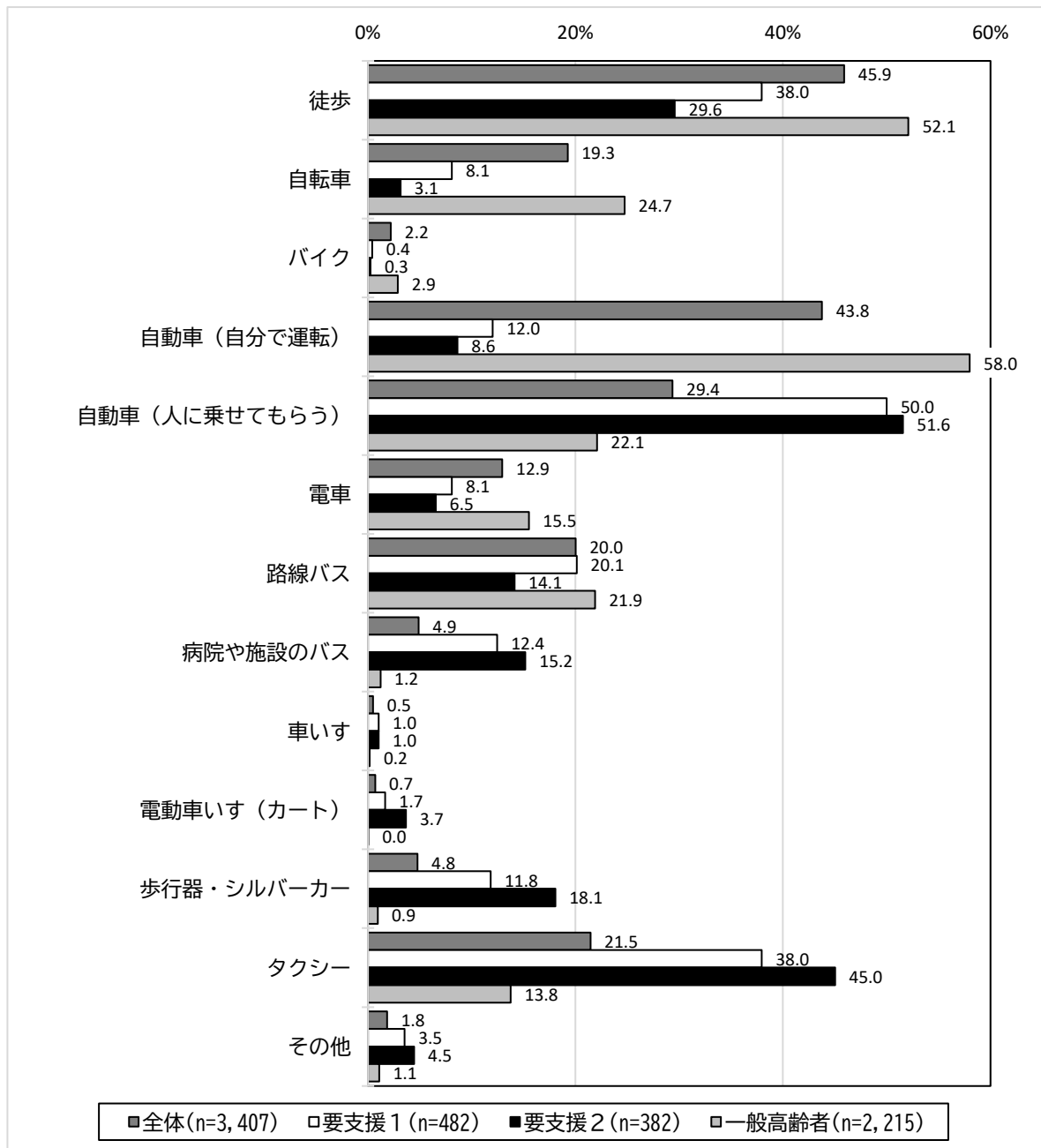


(7) 外出する際の移動手段は何ですか (〇はいくつでも)

要支援1では、「自動車 (人に乗せてもらう)」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「徒歩」「タクシー」が 38.0%、「路線バス」が 20.1%となっています。

要支援2では、「自動車 (人に乗せてもらう)」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「タクシー」が 45.0%、「徒歩」が 29.6%となっています。

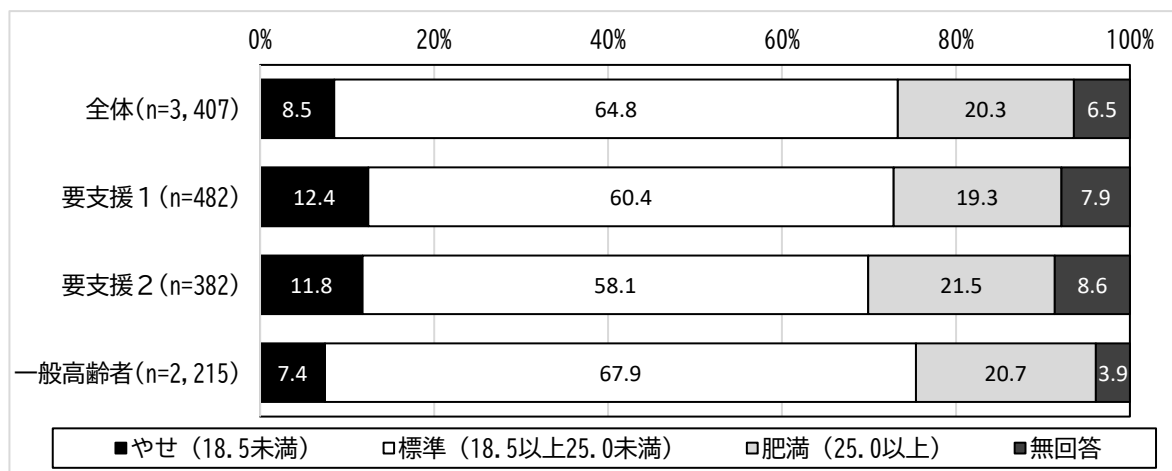
一般高齢者では、「自動車 (自分で運転)」の割合が 58.0%と最も高く、次いで「徒歩」が 52.1%、「自転車」が 24.7%となっています。



問3 食べることについて

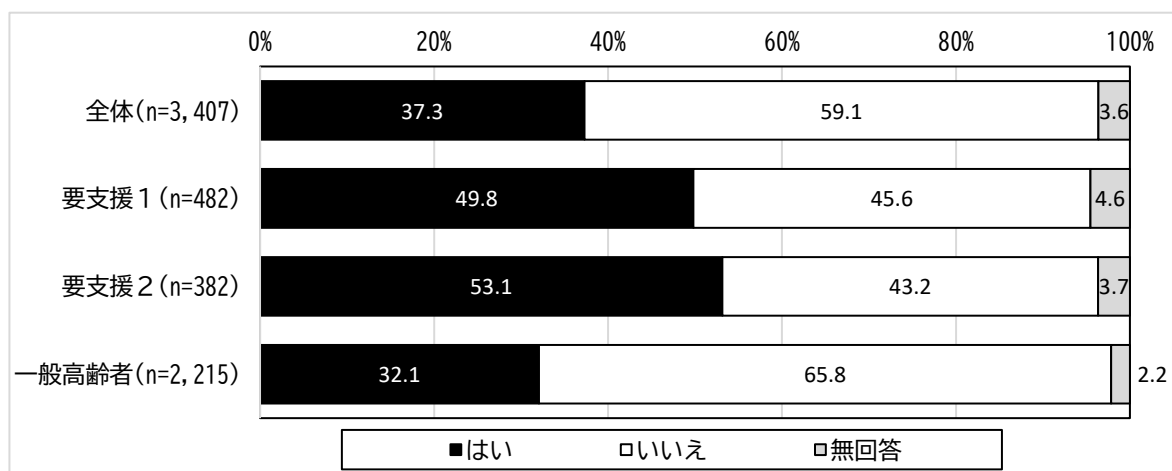
(1) 身長・体重 (BMI 別)

「やせ」の割合は、要支援1で12.4%、要支援2で11.8%、一般高齢者で7.4%となっています。



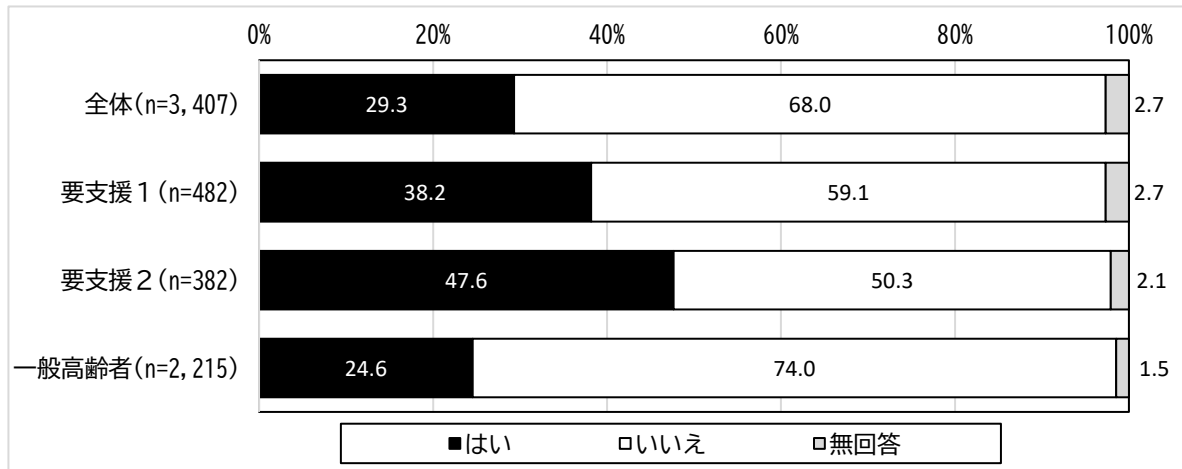
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つだけ)

「はい」の割合は、要支援1で49.8%、要支援2で53.1%、一般高齢者で32.1%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、一般高齢者と要支援1の差が17.7ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



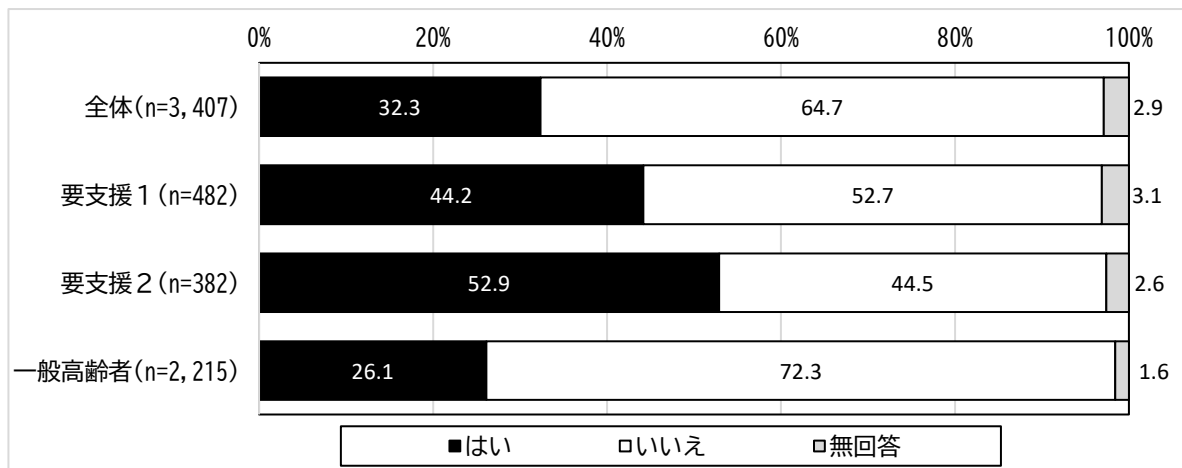
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (○は1つだけ)

「はい」の割合は、要支援1で38.2%、要支援2で47.6%、一般高齢者で24.6%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が13.6ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



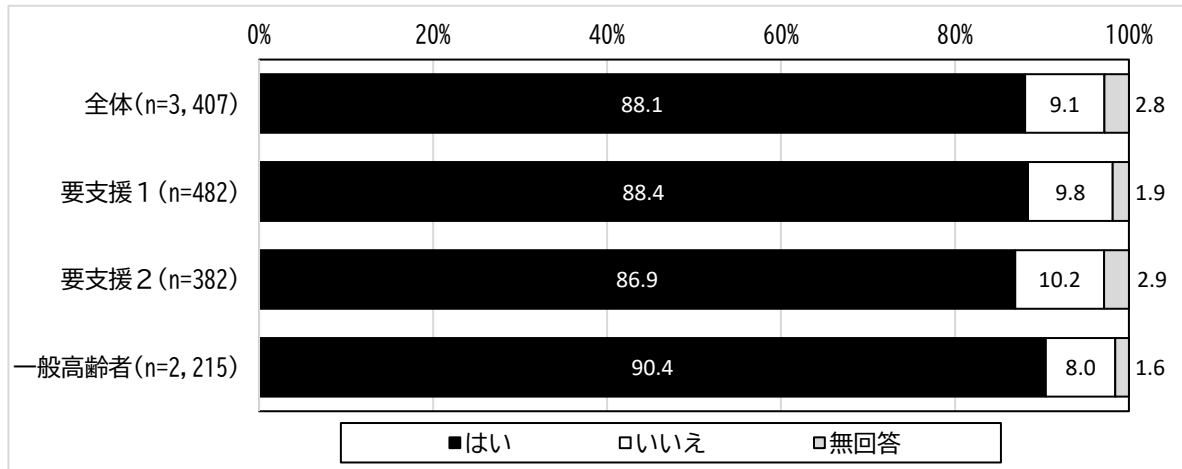
(4) 口の渇きが気になりますか (○は1つだけ)

「はい」の割合は、要支援1で44.2%、要支援2で52.9%、一般高齢者で26.1%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が18.1ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



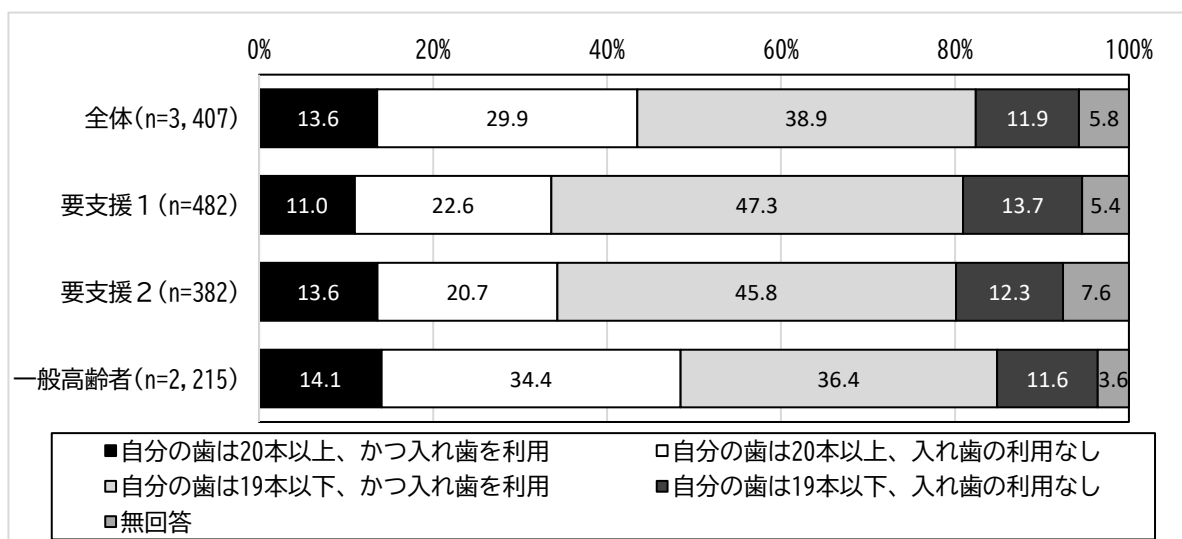
(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（○は1つだけ）

「いいえ」の割合は、要支援1で9.8%、要支援2で10.2%、一般高齢者で8.0%となっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



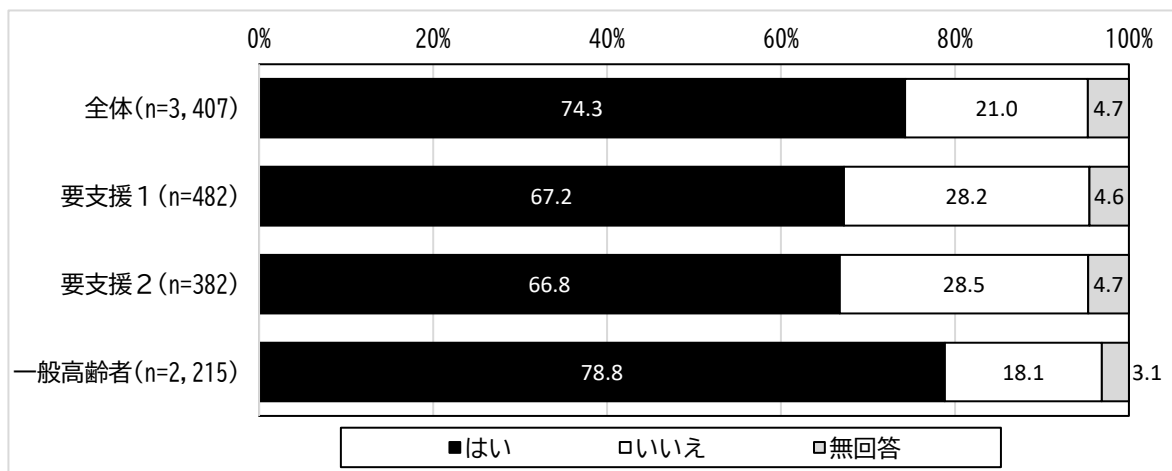
**(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（○は1つだけ）
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）**

「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」を合わせた『自分の歯は20本以上の人』の割合は、要支援1で33.6%、要支援2で34.3%、一般高齢者で48.5%となっています。また、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を合わせた『入れ歯を利用している人』の割合は、要支援1で58.3%、要支援2で59.4%、一般高齢者で50.5%となっており、要支援1と一般高齢者の差が7.8ポイントと大きくなっています。



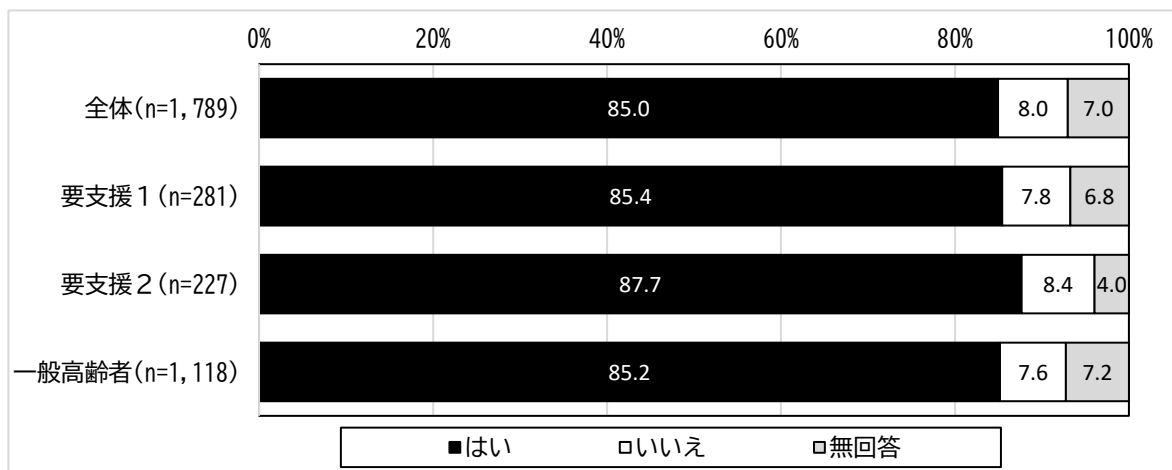
①噛み合わせは良いですか（○は1つだけ）

「いいえ」の割合は、要支援1で28.2%、要支援2で28.5%、一般高齢者で18.1%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が10.1ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



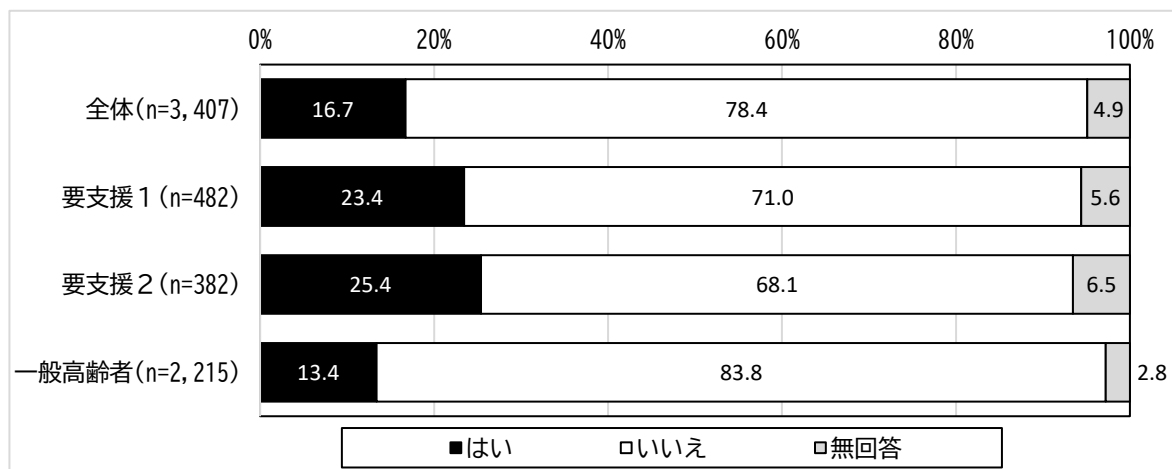
②【(6)の質問で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)
毎日入れ歯の手入れをしていますか（○は1つだけ）

「いいえ」の割合は、要支援1で7.8%、要支援2で8.4%、一般高齢者で7.6%となっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



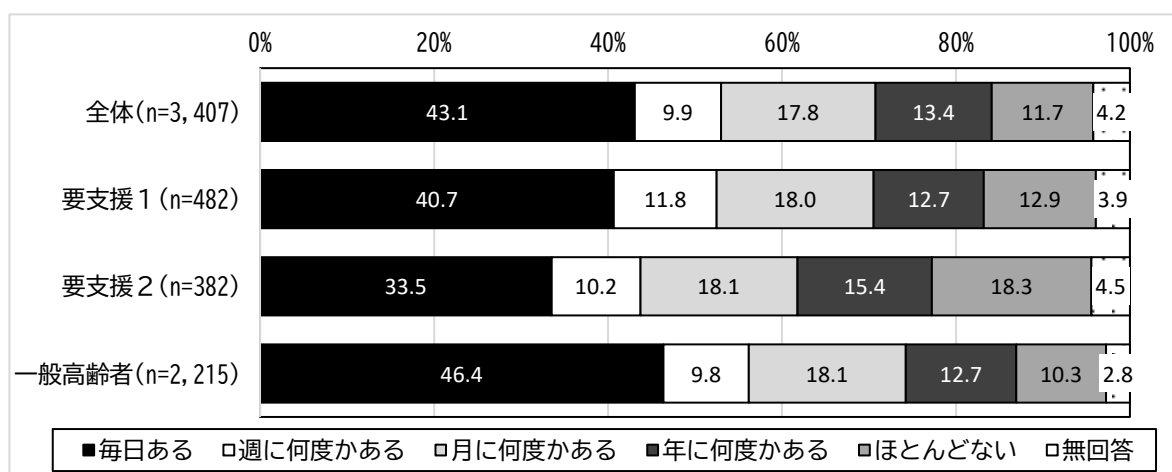
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (○は1つだけ)

「はい」の割合は、要支援1で23.4%、要支援2で25.4%、一般高齢者で13.4%となっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか (○は1つだけ)

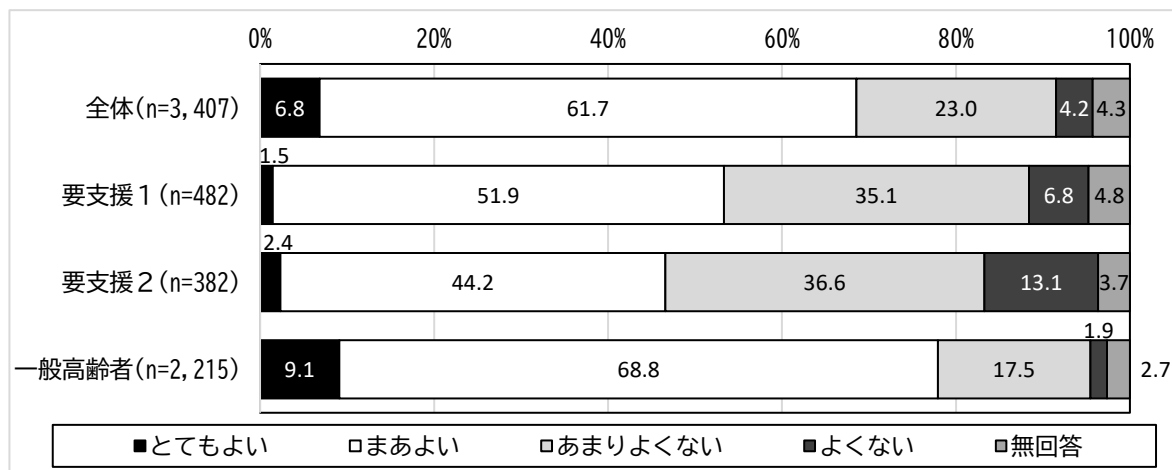
「毎日ある」の割合は、要支援1で40.7%、要支援2で33.5%、一般高齢者で46.4%となっています。また、「ほとんどない」の割合は、要支援1で12.9%、要支援2で18.3%、一般高齢者で10.3%となっています。



問4 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つだけ)

「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『健康状態がよい人』の割合は、要支援1で53.4%、要支援2で46.6%、一般高齢者で77.9%となっています。また、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『健康状態がよくない人』の割合は、要支援1で41.9%、要支援2で49.7%、一般高齢者で19.4%となっています。

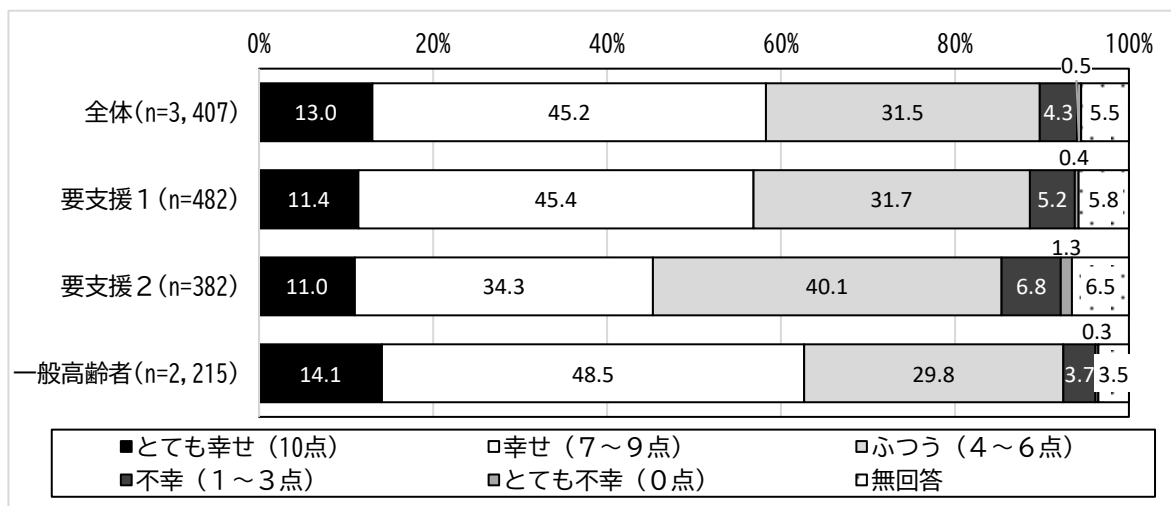


(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (〇は1つだけ)

要支援1では、「幸せ (7～9点)」の割合が45.4%と最も高く、次いで「ふつう (4～6点)」が31.7%、「とても幸せ (10点)」が11.4%となっています。

要支援2では、「ふつう (4～6点)」の割合が40.1%と最も高く、次いで「幸せ (7～9点)」が34.3%、「とても幸せ (10点)」が11.0%となっています。

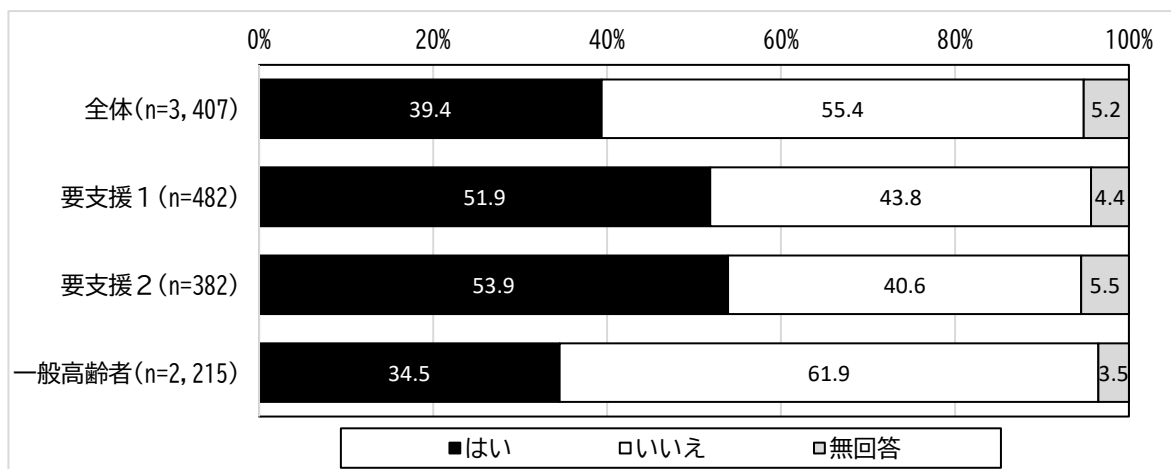
一般高齢者では、「幸せ (7～9点)」の割合が48.5%と最も高く、次いで「普通 (4～6点)」が29.8%、「とても幸せ (10点)」が14.1%となっています。



※点数が「10点」に近いほど【幸せ】、「0点」に近いほど【不幸せ】となっています。

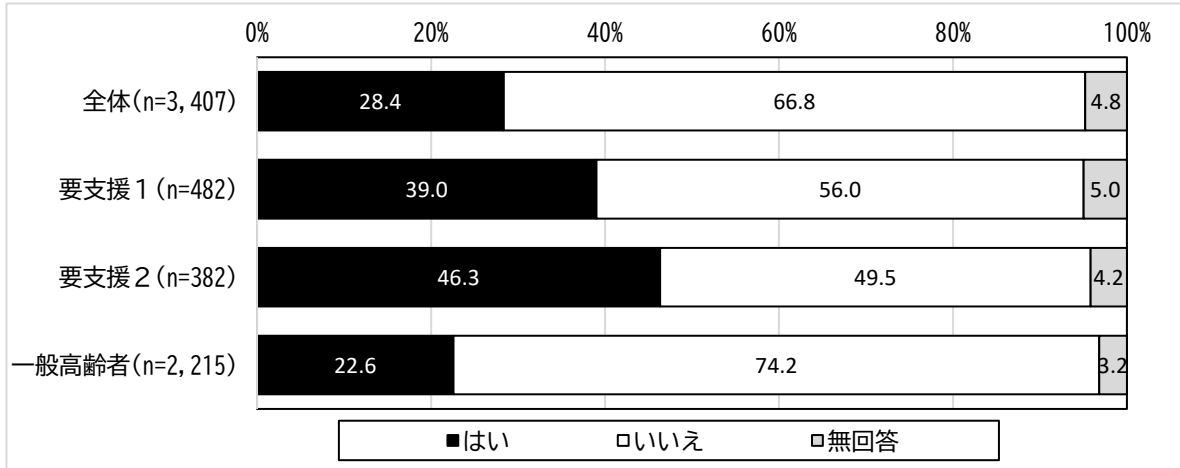
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (〇は1つだけ)

「はい」の割合は、要支援1で51.9%、要支援2で53.9%、一般高齢者で34.5%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が17.4ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



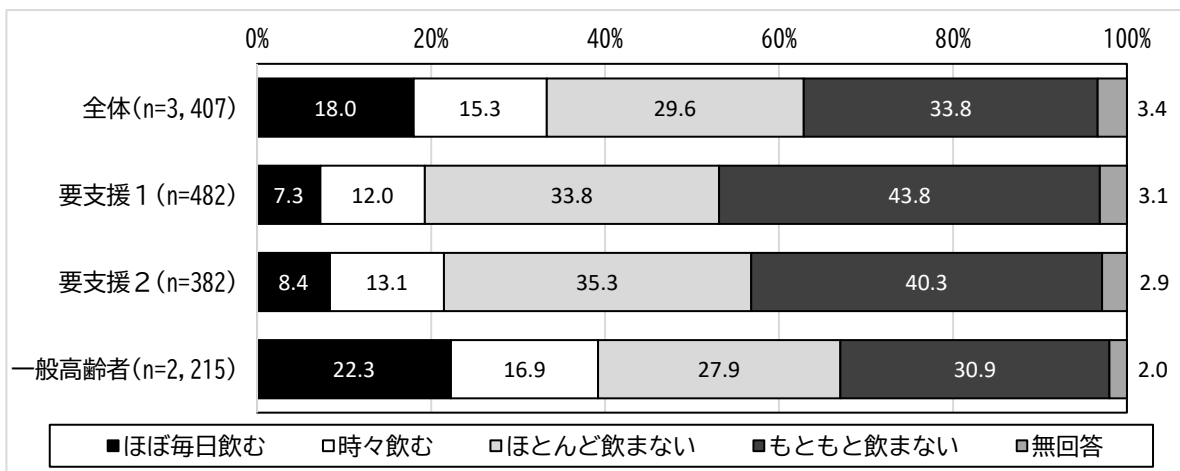
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つだけ)

「はい」の割合は、要支援1で39.0%、要支援2で46.3%、一般高齢者で22.6%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が16.4ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



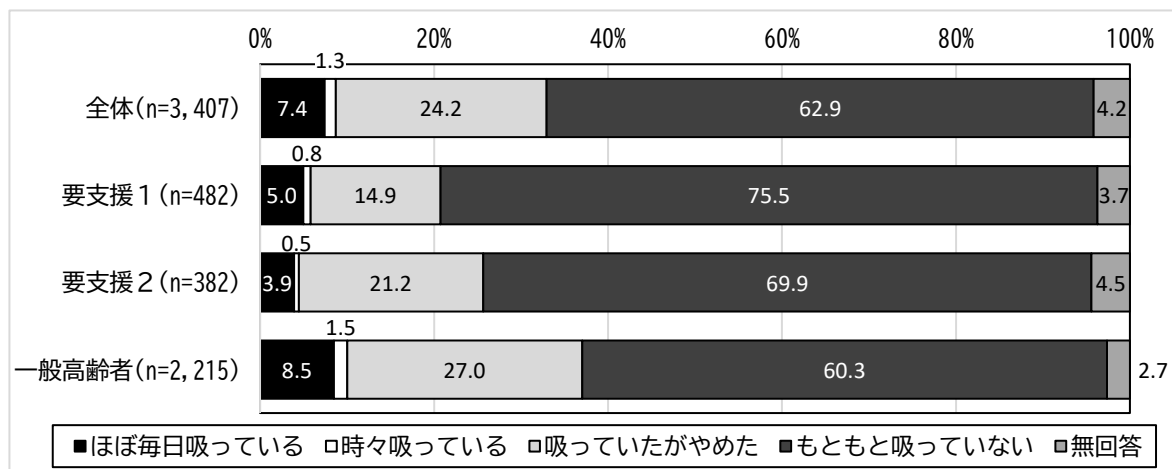
(5) お酒は飲みますか (○は1つだけ)

「ほぼ毎日飲む」の割合は、要支援1で7.3%、要支援2で8.4%、一般高齢者で22.3%となっており、要支援1と一般高齢者の差が15.0ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



(6) タバコは吸っていますか (○は1つだけ)

「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている人』の割合は、要支援1で5.8%、要支援2で4.4%、一般高齢者で10.0%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が低くなっています。

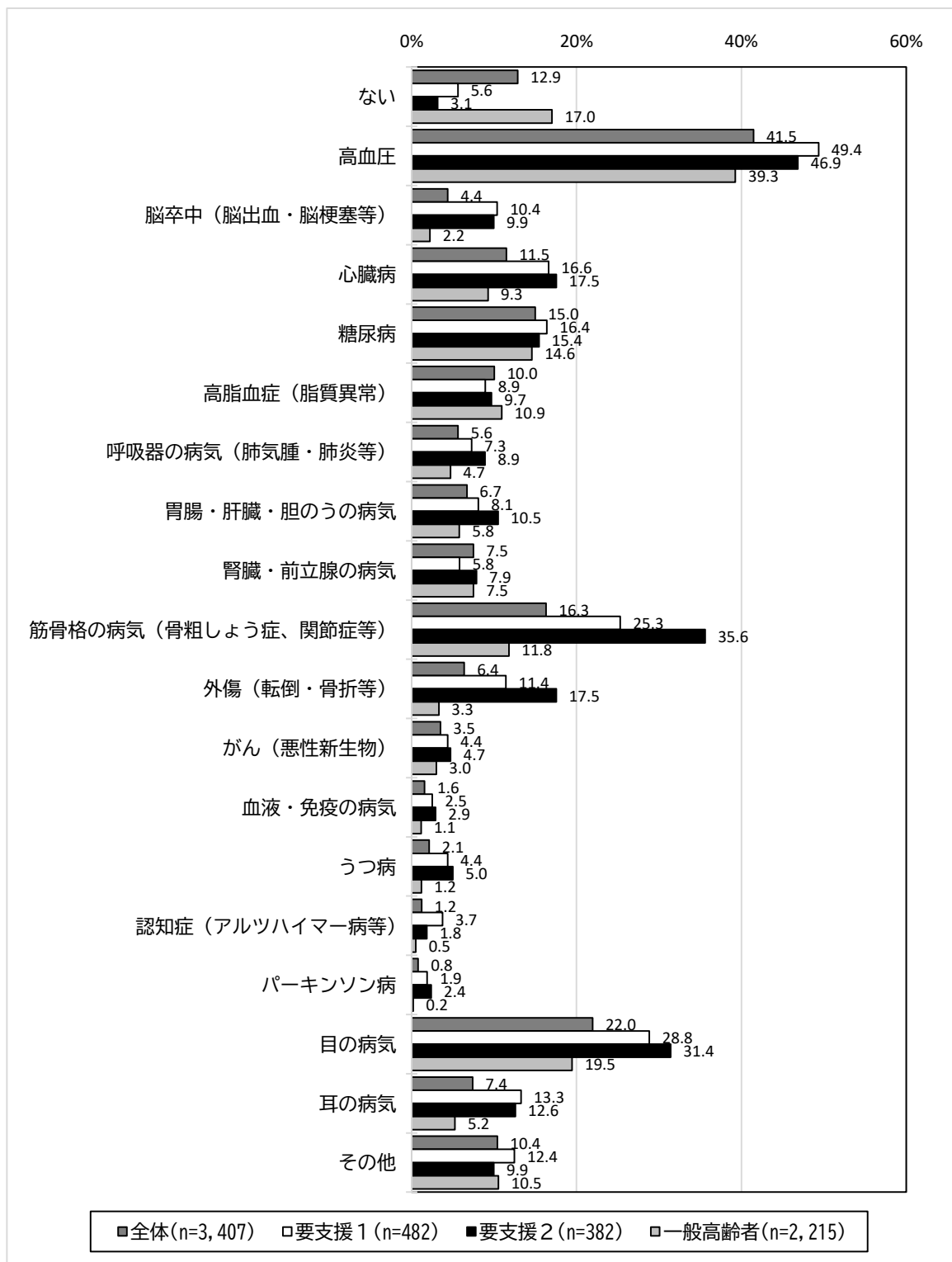


(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

要支援1では、「高血圧」の割合が49.4%と最も高く、次いで「目の病気」が28.8%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」の割合が25.3%となっています。

要支援2では、「高血圧」の割合が46.9%と最も高く、次いで「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が35.6%、「目の病気」が31.4%となっています。

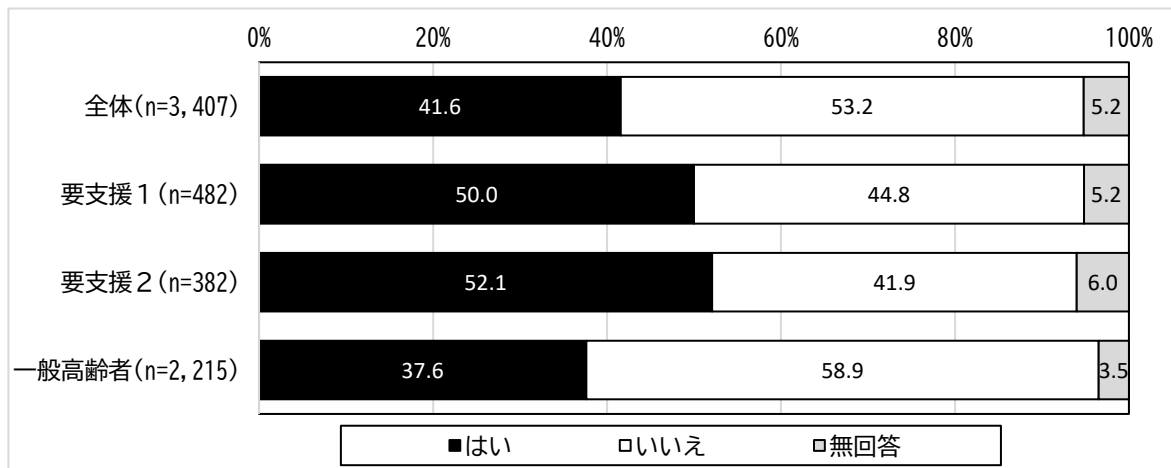
一般高齢者では、「高血圧」の割合が39.3%と最も高く、次いで「目の病気」が19.5%、「ない」が17.0%となっています。



問5 毎日の生活について

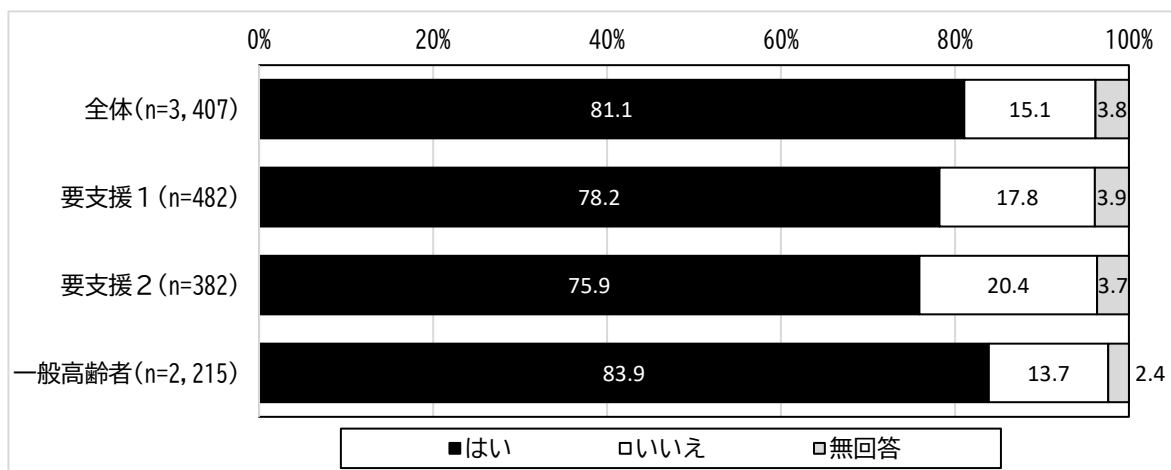
(1) 物忘れが多いと感じますか (○は1つだけ)

「はい」の割合は、要支援1で50.0%、要支援2で52.1%、一般高齢者で37.6%となっており、要支援1と一般高齢者の差が12.4ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



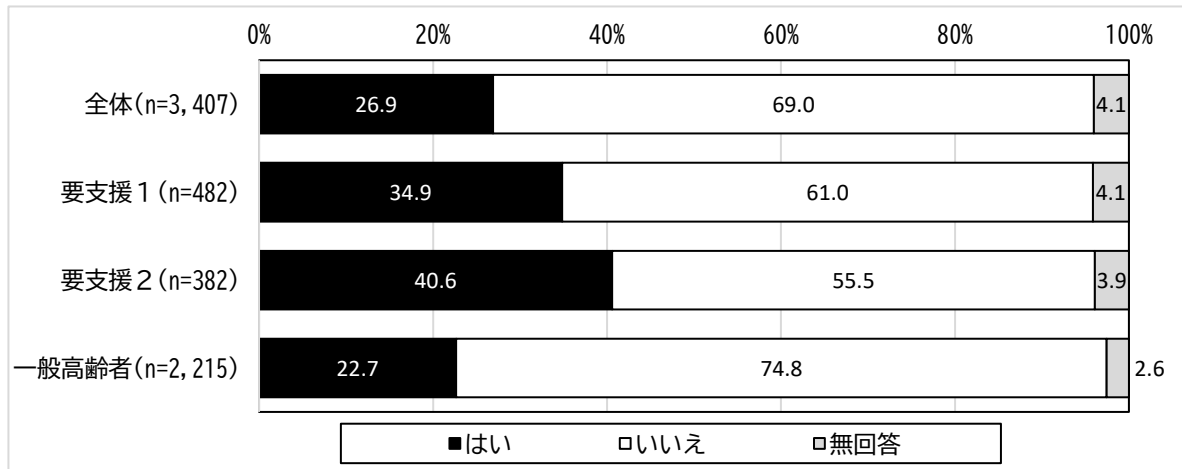
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○は1つだけ)

「いいえ」の割合は、要支援1で17.8%、要支援2で20.4%、一般高齢者で13.7%となっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



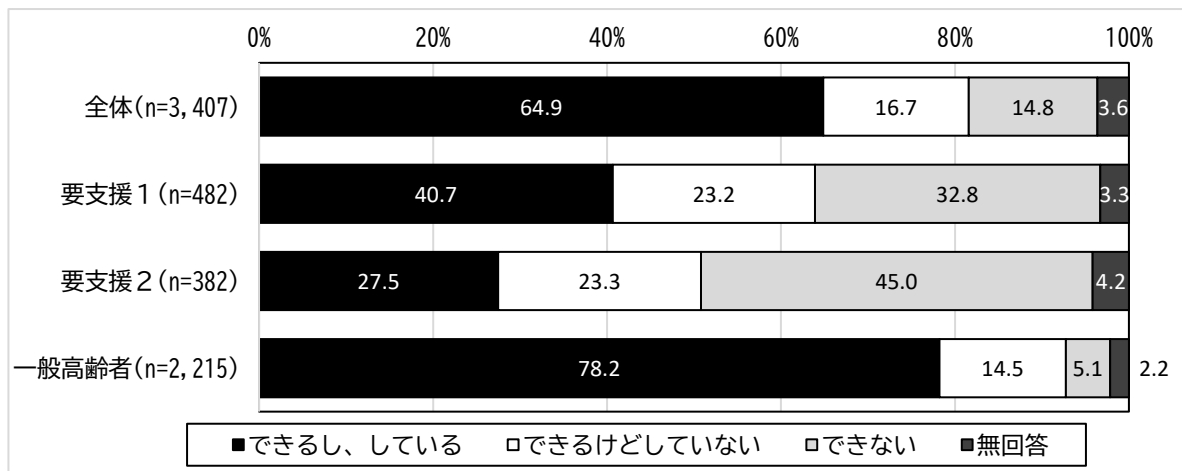
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○は1つだけ)

「はい」の割合は、要支援1で34.9%、要支援2で40.6%、一般高齢者で22.7%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が12.2ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



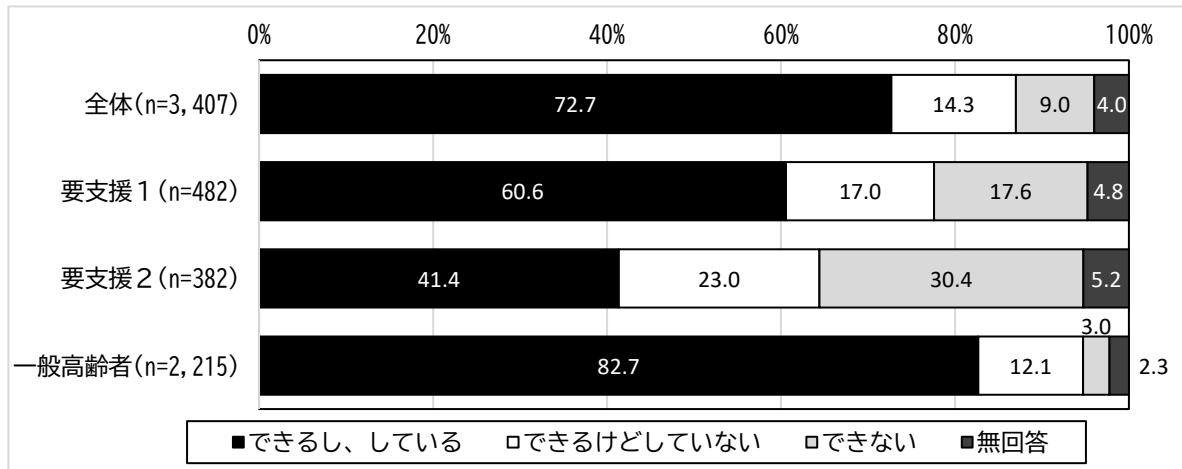
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○は1つだけ)

「できない」の割合は、要支援1で32.8%、要支援2で45.0%、一般高齢者で5.1%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が27.7ポイントで、要支援1と要支援2の差に比べ大きくなっています。



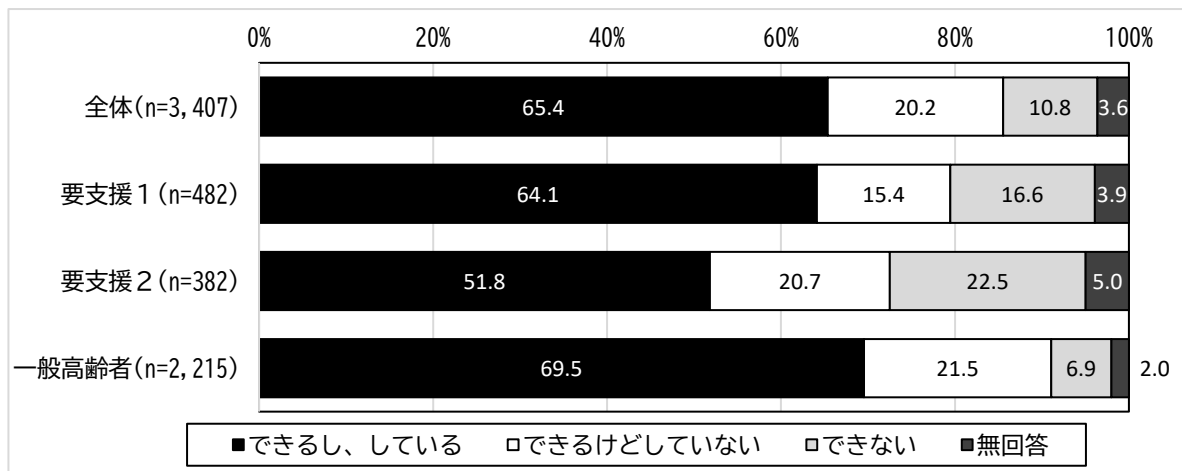
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は1つだけ)

「できない」の割合は、要支援1で17.6%、要支援2で30.4%、一般高齢者で3.0%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が14.6ポイントで、要支援1と要支援2の差に比べ大きくなっています。



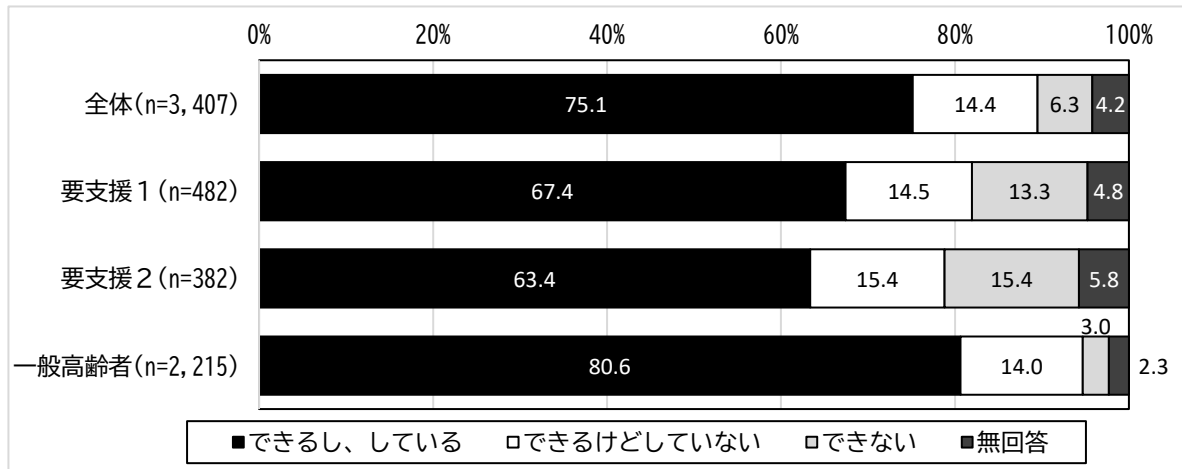
(6) 自分で食事の用意をしていますか (○は1つだけ)

「できない」の割合は、要支援1で16.6%、要支援2で22.5%、一般高齢者で6.9%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が9.7ポイントで、要支援1と要支援2の差に比べ大きくなっています。



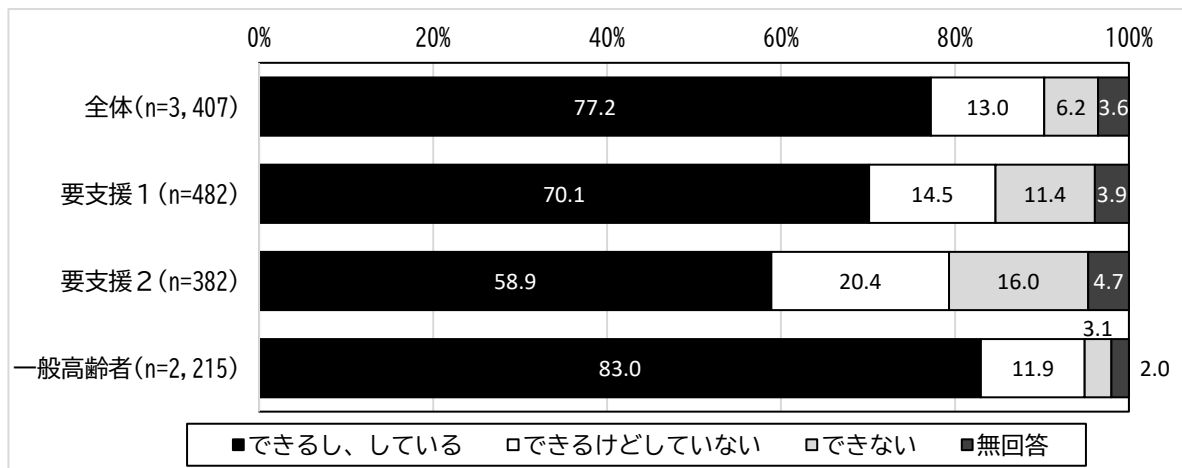
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか (○は1つだけ)

「できない」の割合は、要支援1で13.3%、要支援2で15.4%、一般高齢者で3.0%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が10.3ポイントで、要支援1と要支援2の差に比べ大きくなっています。



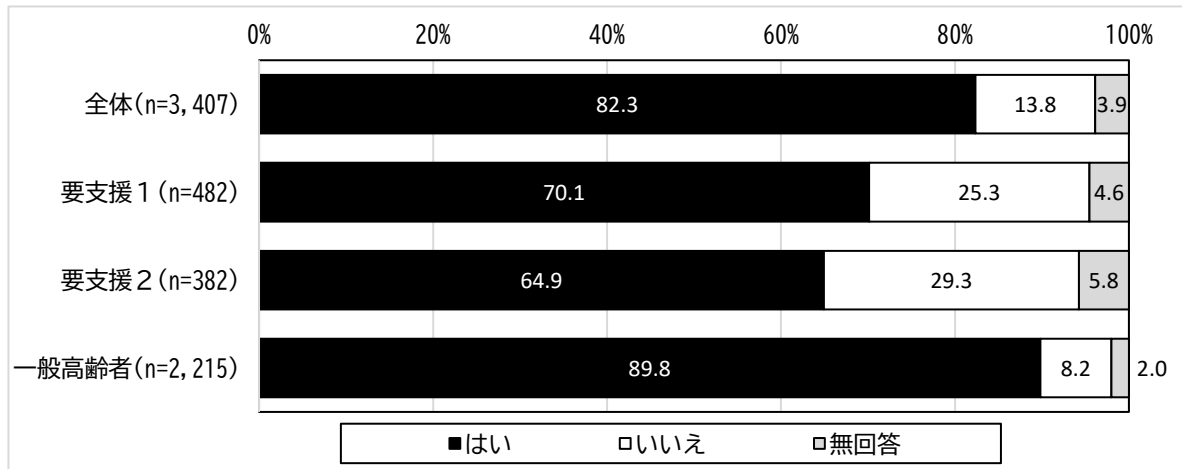
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つだけ)

「できない」の割合は、要支援1で11.4%、要支援2で16.0%、一般高齢者で3.1%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が8.3ポイントで、要支援1と要支援2の差に比べ大きくなっています。



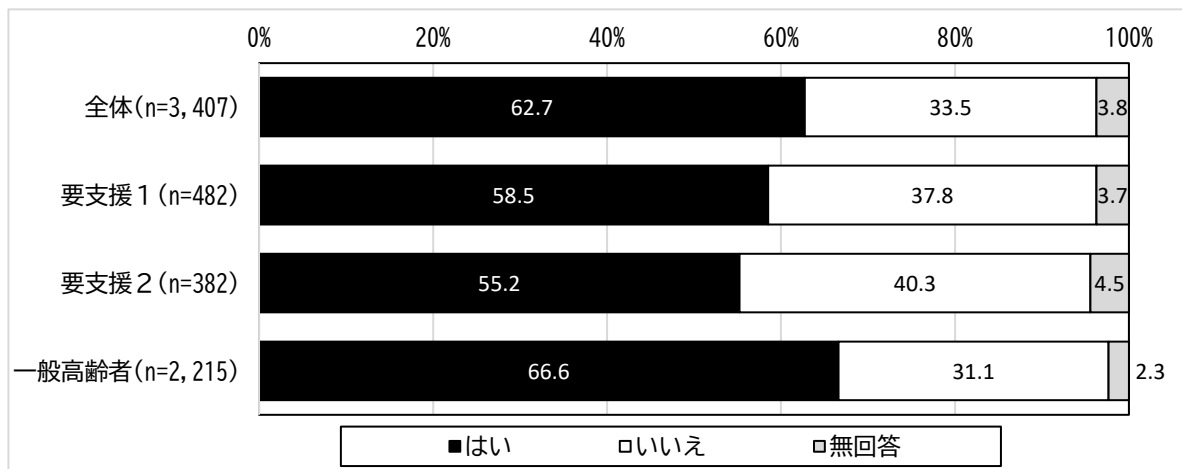
(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（○は1つだけ）

「いいえ」の割合は、要支援1で 25.3%、要支援2で 29.3%、一般高齢者で 8.2%となっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が 17.1 ポイントで、要支援1と要支援2の差に比べ大きくなっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



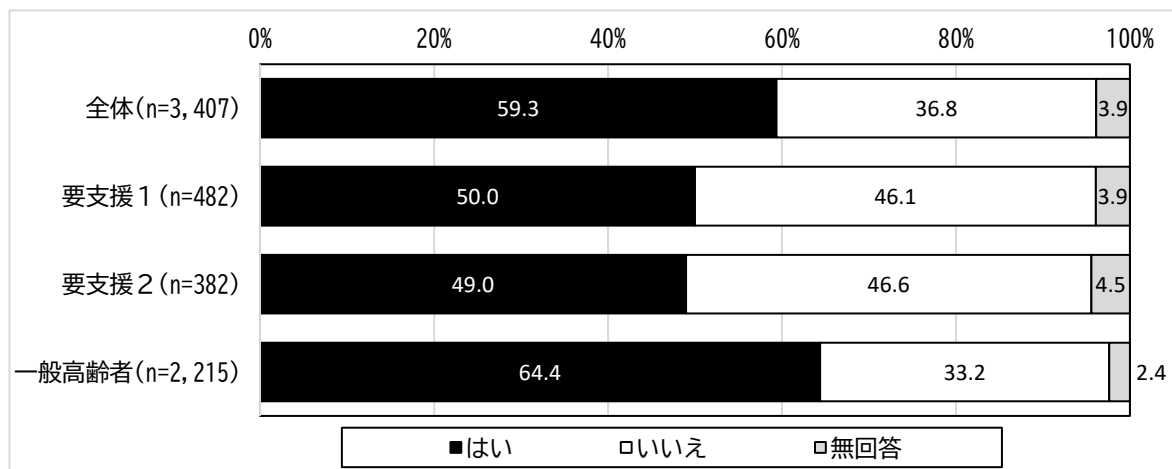
(10) 新聞を読んでいますか（○は1つだけ）

「いいえ」の割合は、要支援1で 37.8%、要支援2で 40.3%、一般高齢者で 31.1%となっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



(11) 本や雑誌を読んでいますか (○は1つだけ)

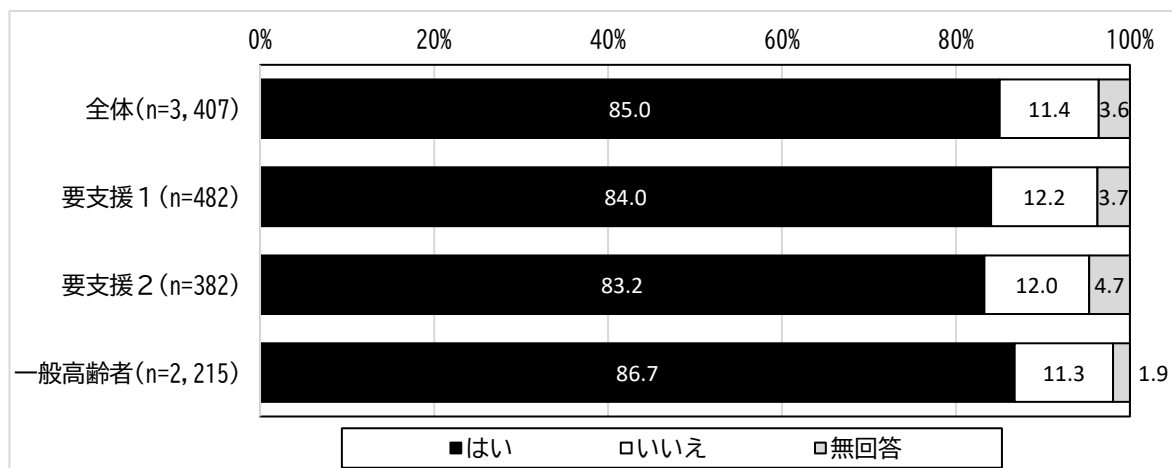
「いいえ」の割合は、要支援1で46.1%、要支援2で46.6%、一般高齢者で33.2%となっており、要支援1と一般高齢者の差が12.9ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか (○は1つだけ)

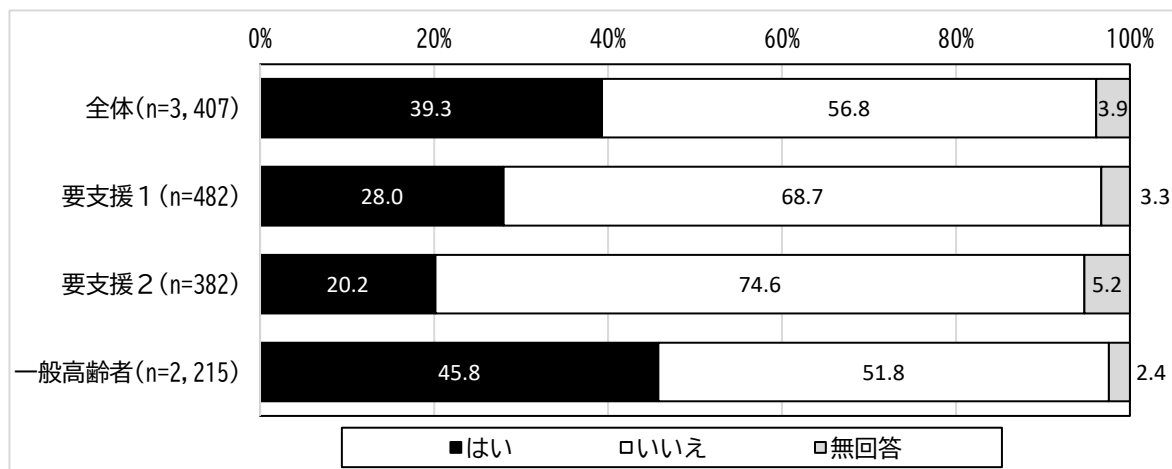
「いいえ」の割合は、要支援1で12.2%、要支援2で12.0%、一般高齢者で11.3%となっています。

身体状態別にみると、特に大きな差はみられません。



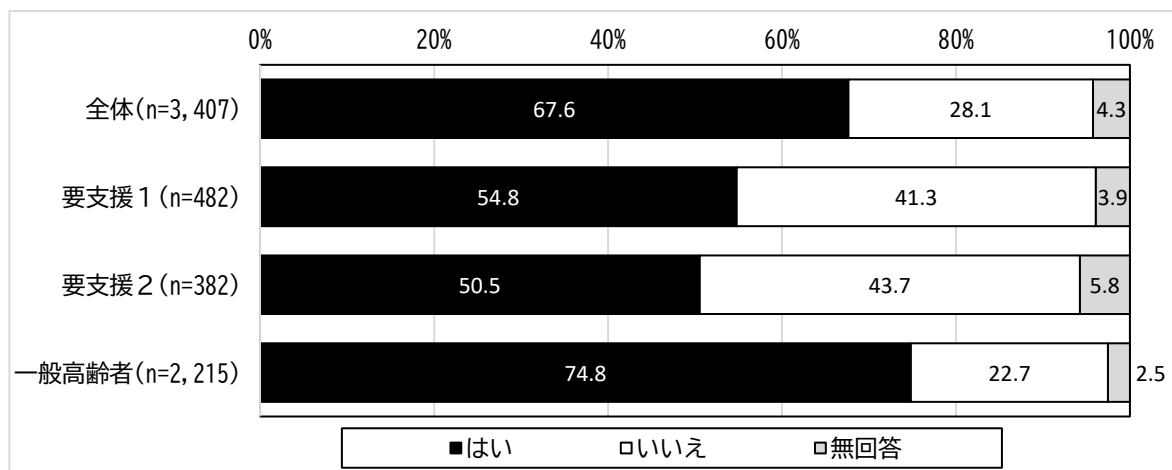
(13) 友人の家を訪ねていますか (○は1つだけ)

「いいえ」の割合は、要支援1で68.7%、要支援2で74.6%、一般高齢者で51.8%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が16.9ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



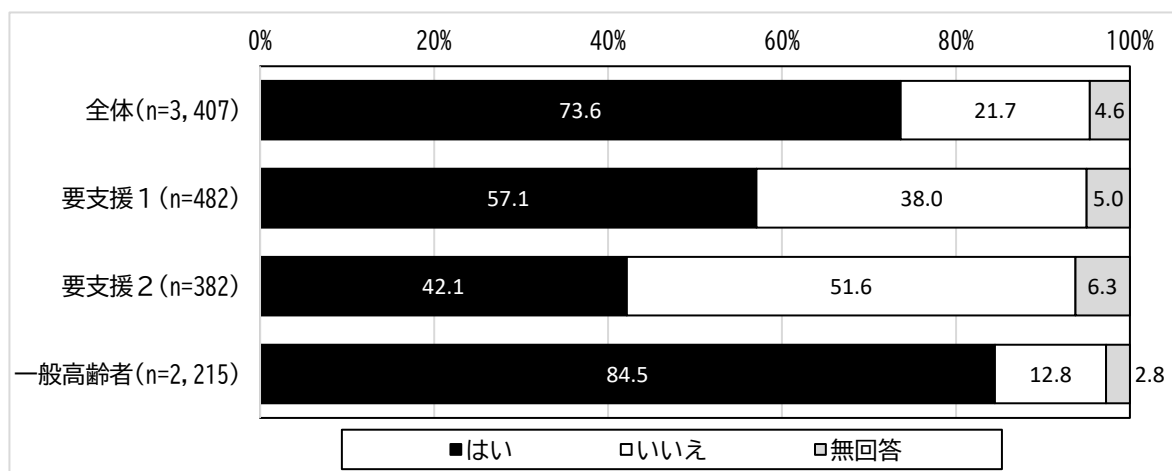
(14) 家族や友人の相談にのっていますか (○は1つだけ)

「いいえ」の割合は、要支援1で41.3%、要支援2で43.7%、一般高齢者で22.7%となっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっており、特に、要支援1と一般高齢者の差が18.6ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



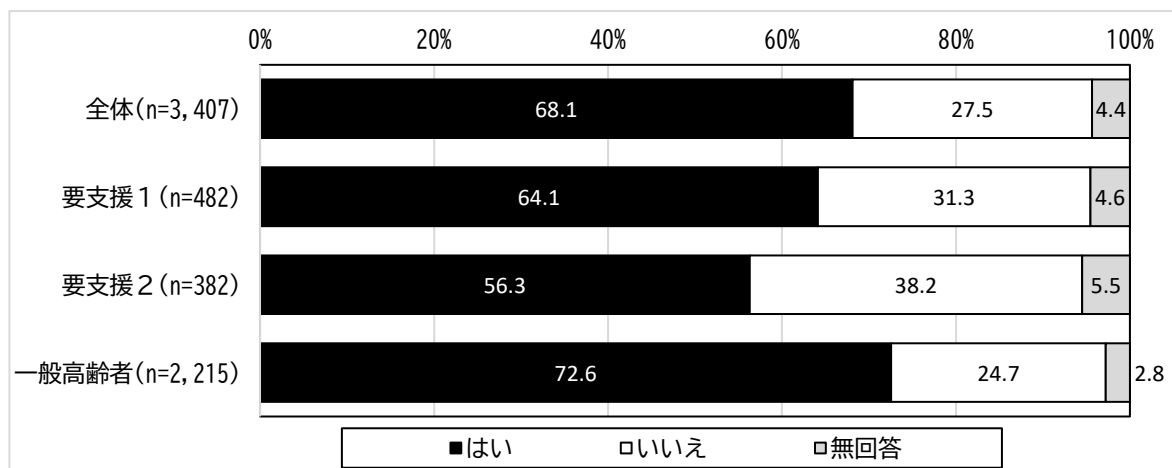
(15) 病人を見舞うことができますか (○は1つだけ)

「いいえ」の割合は、要支援1で38.0%、要支援2で51.6%、一般高齢者で12.8%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が25.2ポイントで、要支援1と要支援2の差に比べ大きくなっています。



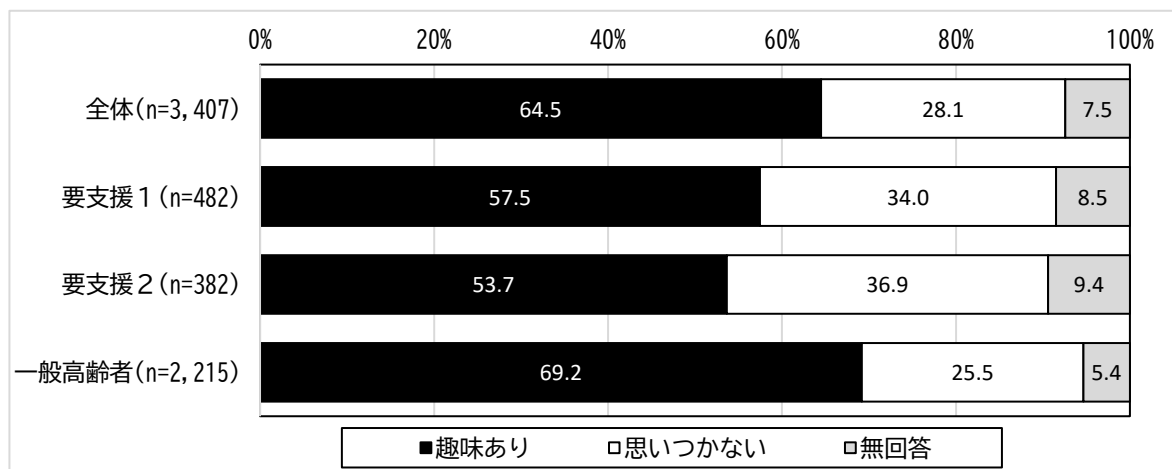
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか (○は1つだけ)

「いいえ」の割合は、要支援1で31.3%、要支援2で38.2%、一般高齢者で24.7%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と要支援2の差が6.9ポイントで、要支援1と一般高齢者の差に比べ大きくなっています。



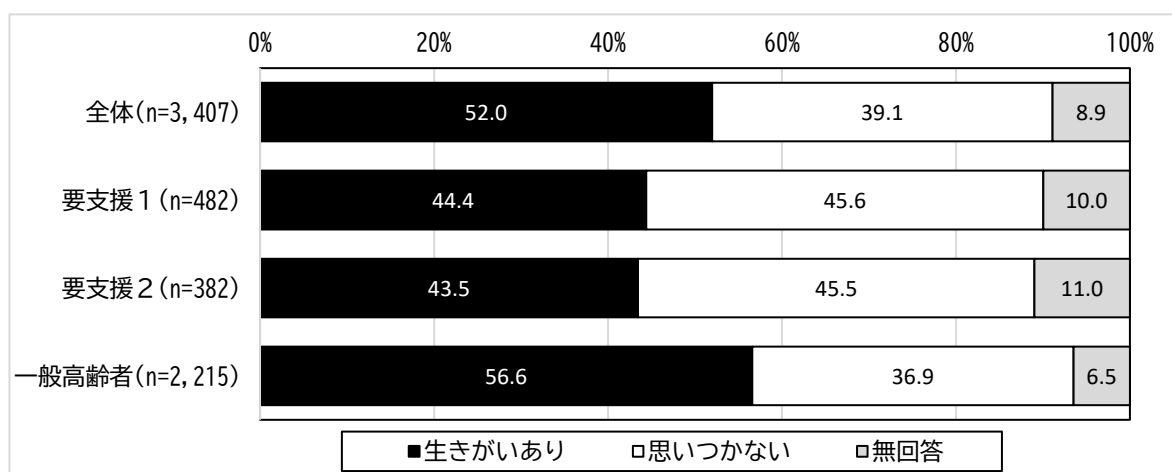
(17) 趣味はありますか (○は1つだけ)

「趣味あり」の割合は、要支援1で57.5%、要支援2で53.7%、一般高齢者で69.2%となっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が低くなっています。



(18) 生きがいがありますか (○は1つだけ)

「生きがいあり」の割合は、要支援1で44.4%、要支援2で43.5%、一般高齢者で56.6%となっています。また、要支援1と一般高齢者の差が12.2ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。

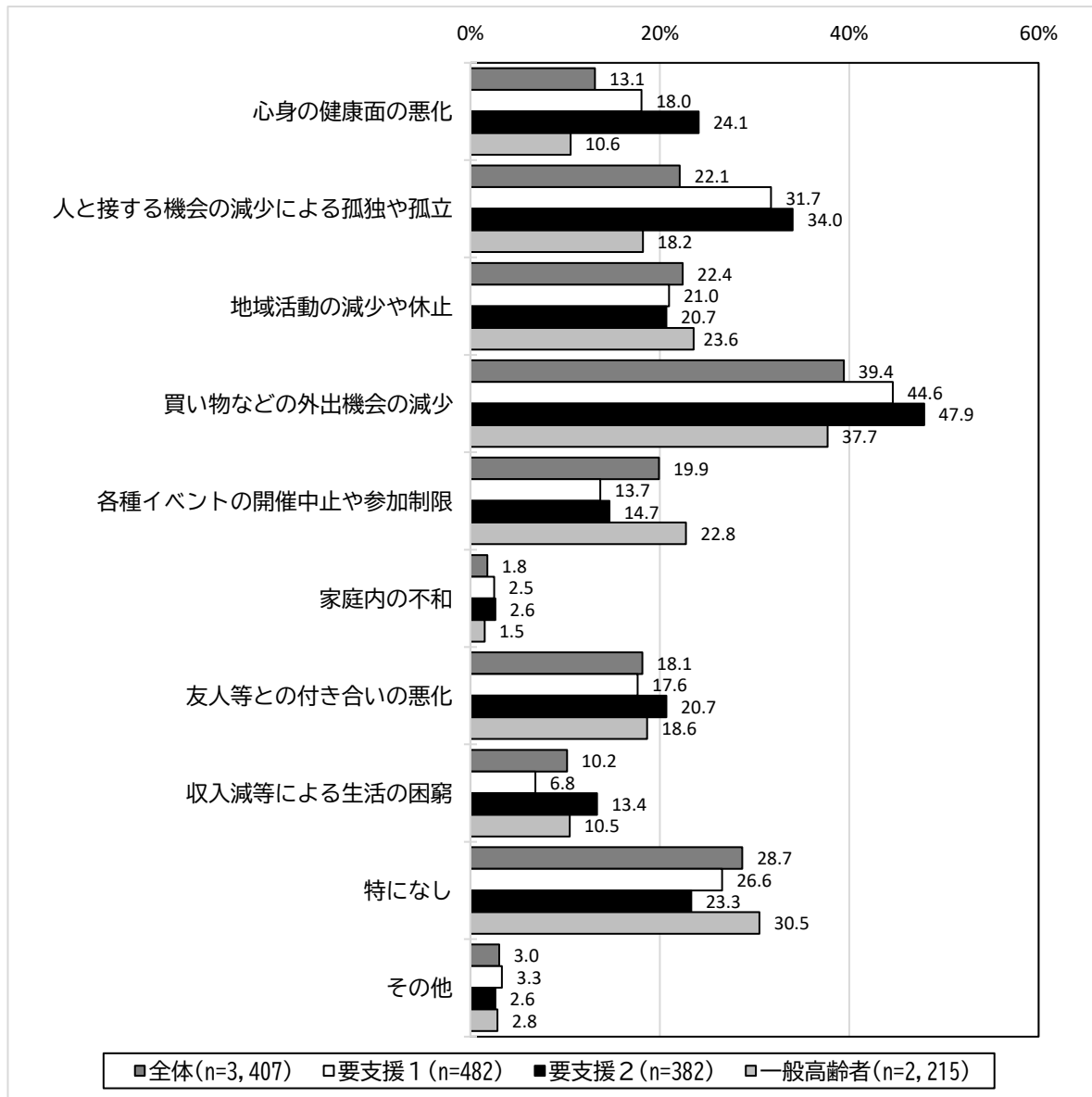


(19) コロナ禍の生活において、どのような影響が出ていますか (〇はいくつでも)

要支援1では、「買い物などの外出機会の減少」の割合が44.6%と最も高く、次いで「人と接する機会の減少による孤独や孤立」が31.7%、「特になし」の割合が26.6%となっています。

要支援2では、「買い物などの外出機会の減少」の割合が47.9%と最も高く、次いで「人と接する機会の減少による孤独や孤立」が34.0%、「心身の健康面の悪化」が24.1%となっています。

一般高齢者では、「買い物などの外出機会の減少」の割合が37.7%と最も高く、次いで「特になし」が30.5%、「地域活動の減少や休止」が23.6%となっています。

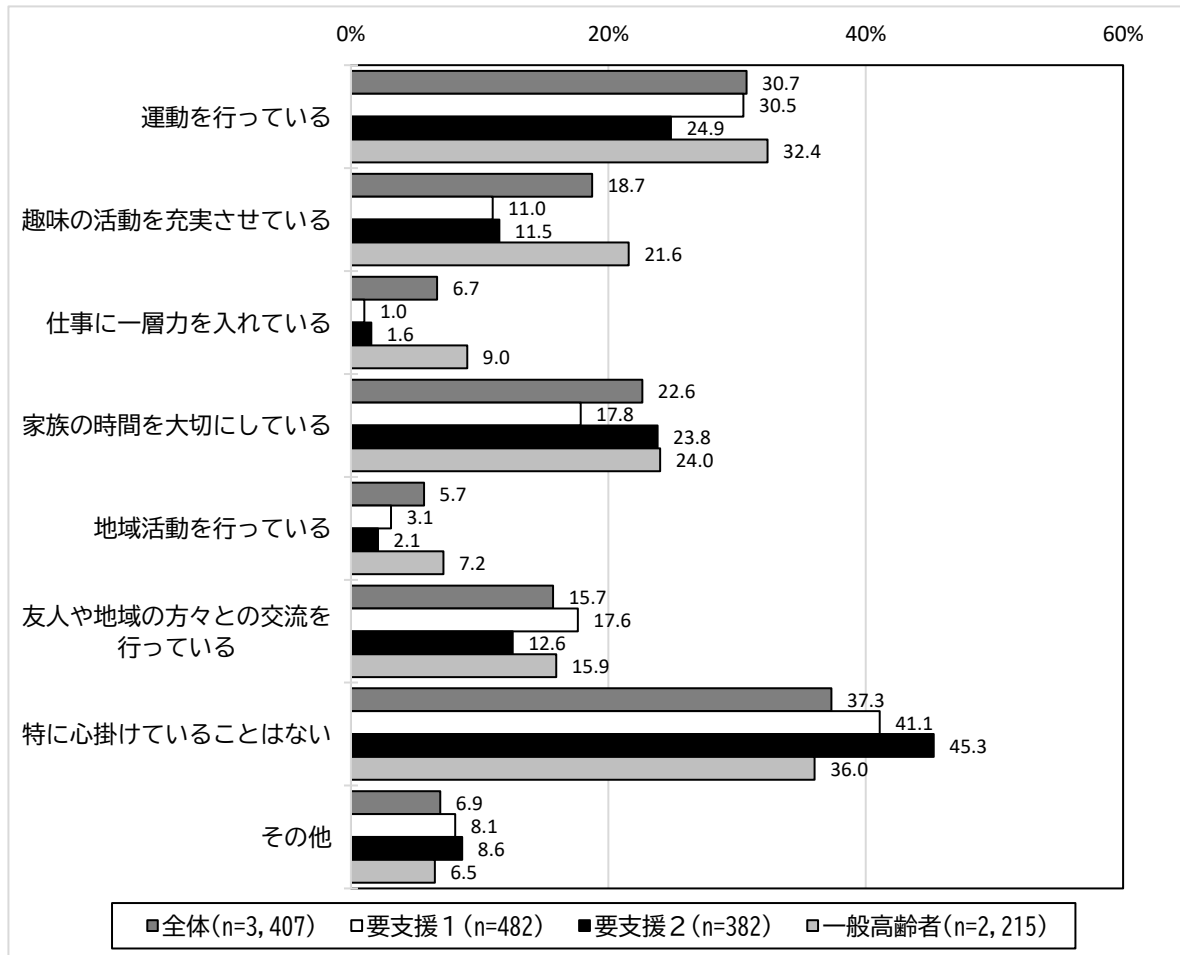


(20) コロナ禍における生活で心がけていることがありますか (〇はいくつでも)

要支援1では、「特に心掛けていることはない」の割合が41.1%と最も高く、次いで「運動を行っている」が30.5%、「家族の時間を大切にしている」の割合が17.8%となっています。

要支援2では、「特に心掛けていることはない」の割合が45.3%と最も高く、次いで「運動を行っている」が24.9%、「家族の時間を大切にしている」が23.8%となっています。

一般高齢者では、「特に心掛けていることはない」の割合が36.0%と最も高く、次いで「運動を行っている」が32.4%、「家族の時間を大切にしている」が24.0%となっています。

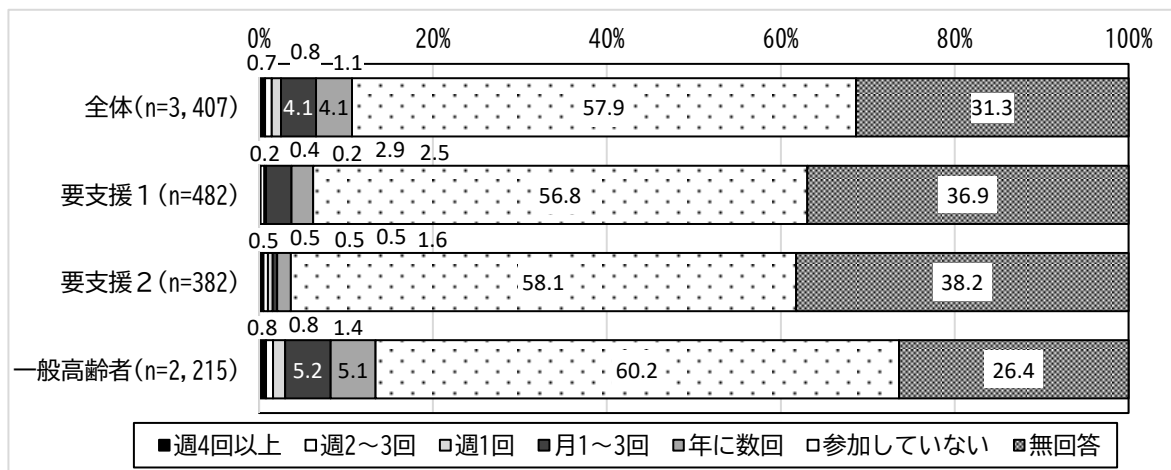


問6 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※① - ⑧それぞれに○は1つだけ回答してください

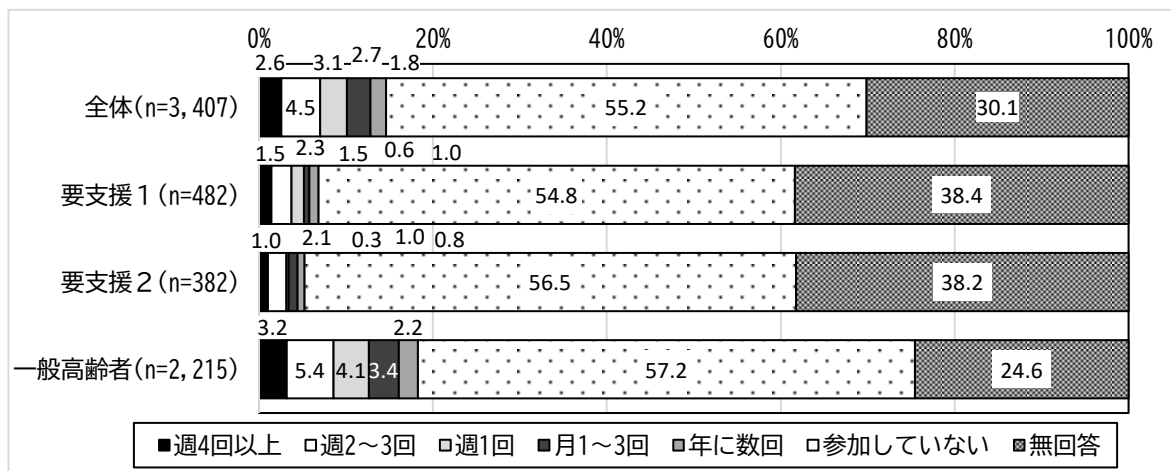
【① ボランティアのグループ】

「参加していない」の割合は、要支援1で56.8%、要支援2で58.1%、一般高齢者で60.2%となっています。



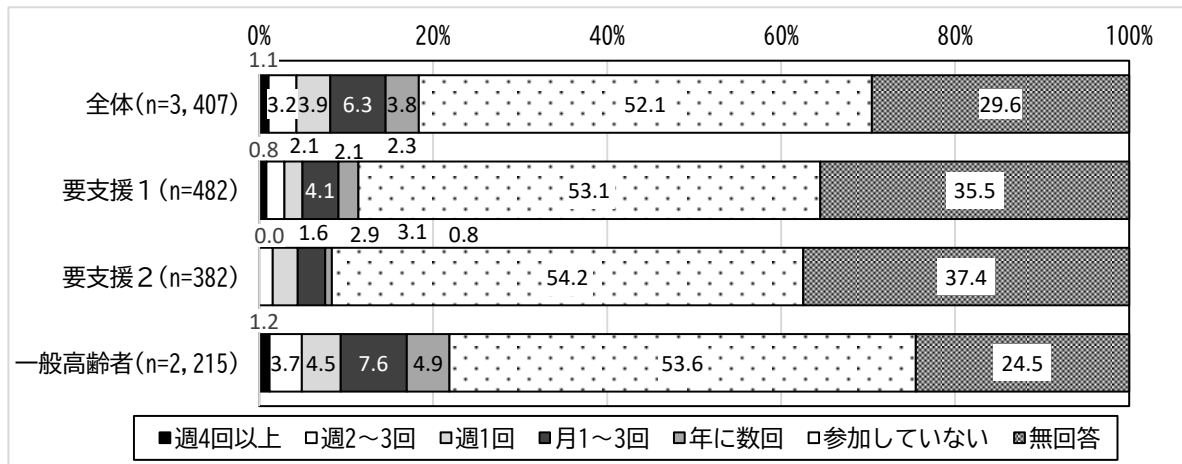
【② スポーツ関係のグループやクラブ】

「参加していない」の割合は、要支援1で54.8%、要支援2で56.5%、一般高齢者で57.2%となっています。



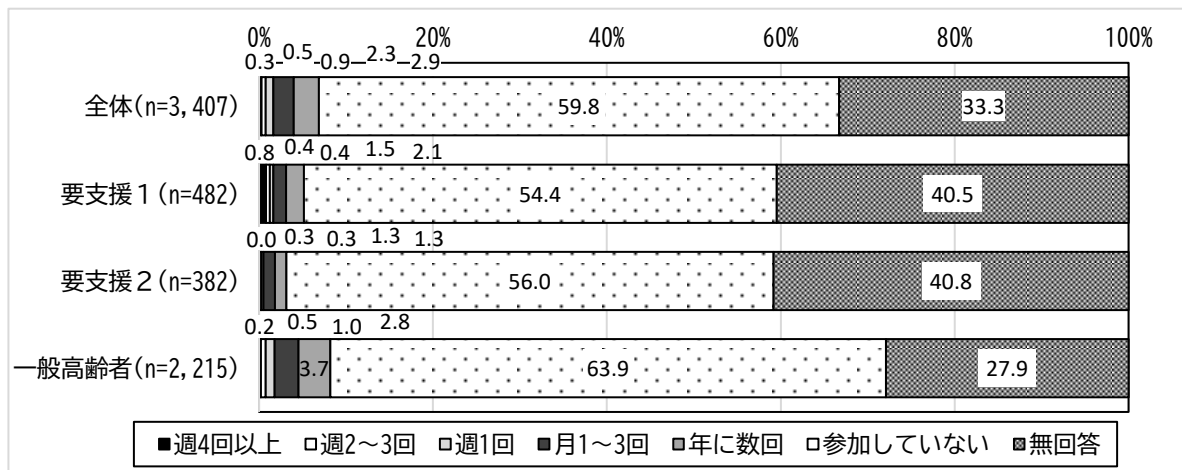
【③ 趣味関係のグループ】

「参加していない」の割合は、要支援1で53.1%、要支援2で54.2%、一般高齢者で53.6%となっています。



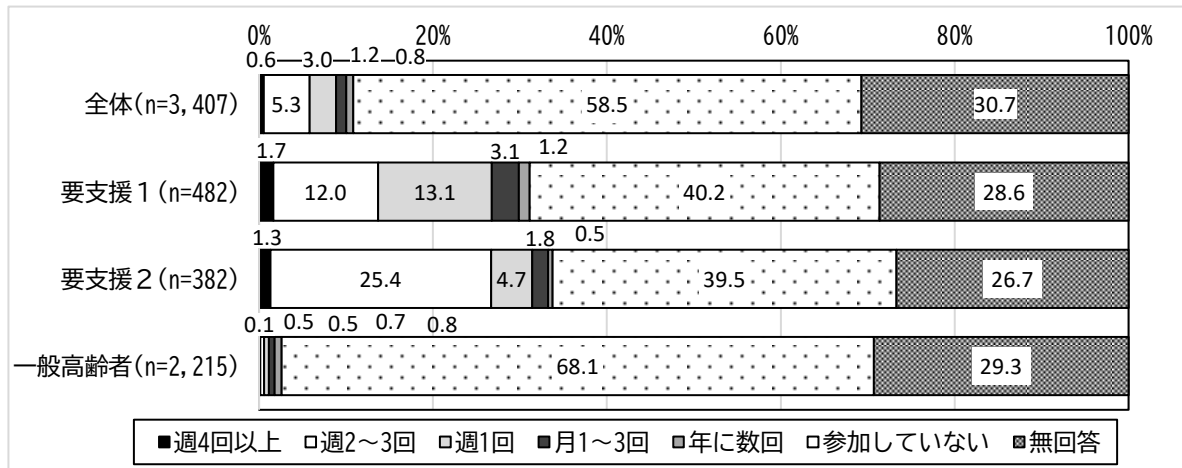
【④ 学習・教養サークル】

「参加していない」の割合は、要支援1で54.4%、要支援2で56.0%、一般高齢者で63.9%となっています。



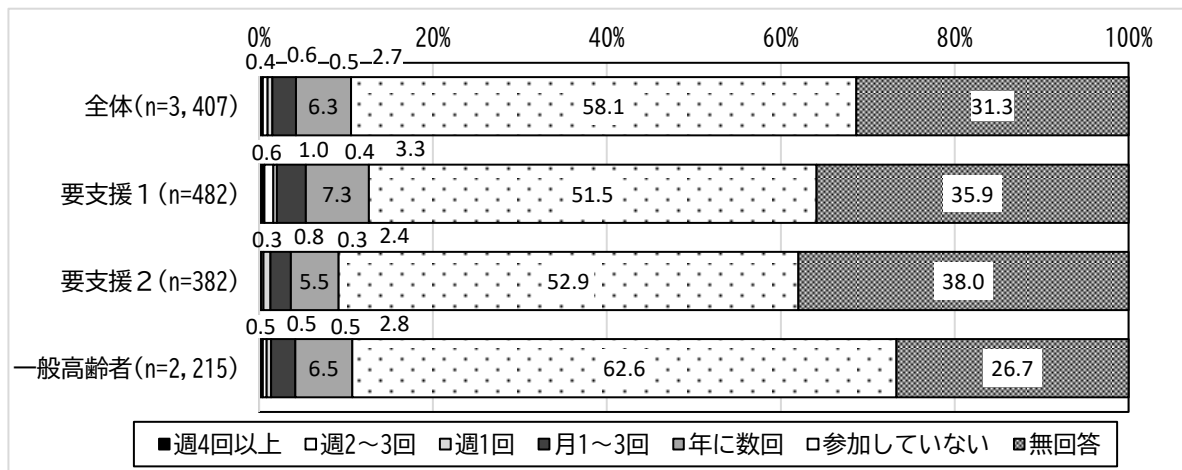
【⑤ 介護予防のための通いの場】

「参加していない」の割合は、要支援1で40.2%、要支援2で39.5%、一般高齢者で68.1%となっています。



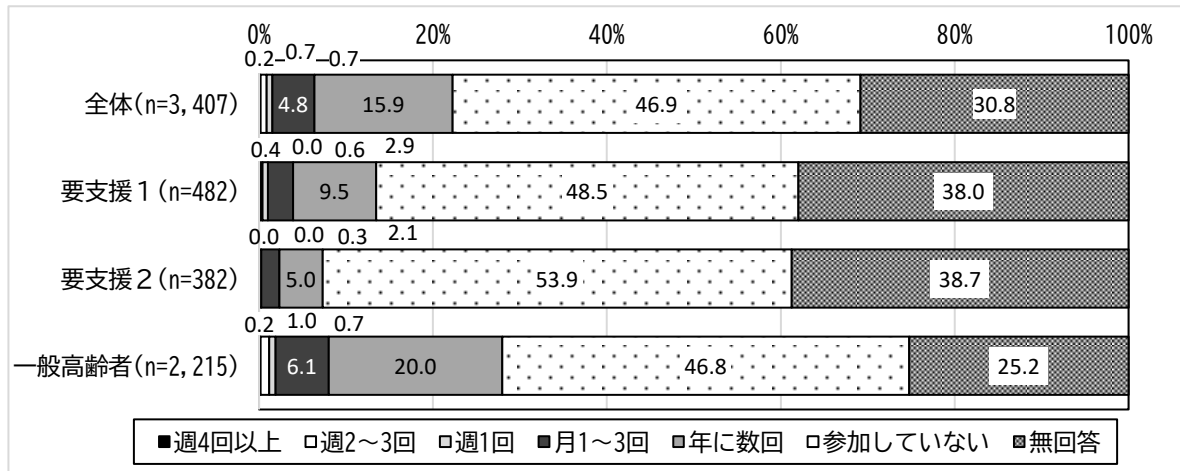
【⑥ 老人クラブ】

「参加していない」の割合は、要支援1で51.5%、要支援2で52.9%、一般高齢者で62.6%となっています。



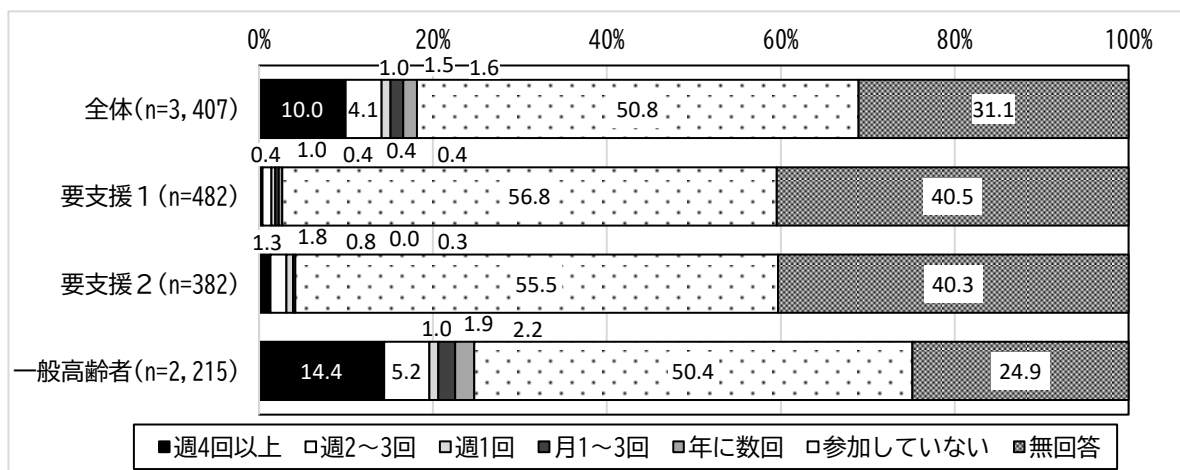
【⑦ 町内会・自治会】

「参加していない」の割合は、要支援1で48.5%、要支援2で53.9%、一般高齢者で46.8%となっています。要支援1と要支援2との差が5.4ポイントで、一般高齢者と要支援1との差に比べ大きくなっています。また、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



【⑧ 収入のある仕事】

「参加していない」の割合は、要支援1で56.8%、要支援2で55.5%、一般高齢者で50.4%となっています。

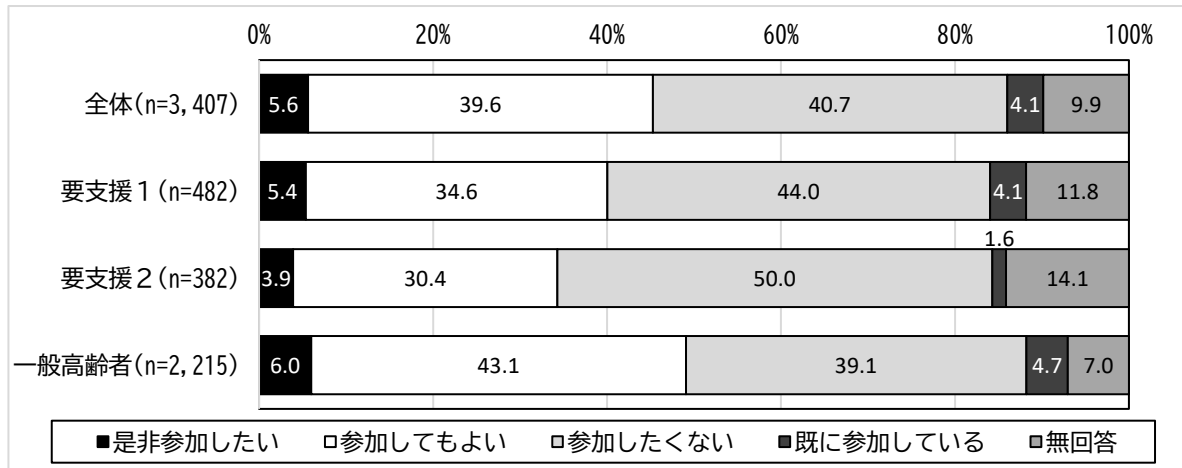


(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (〇は1つだけ)

要支援1では、「参加したくない」の割合が44.0%と最も高く、次いで「参加してもよい」が34.6%となっています。

要支援2では、「参加したくない」の割合が50.0%と最も高く、次いで「参加してもよい」が30.4%となっています。

一般高齢者では、「参加してもよい」の割合が43.1%と最も高く、次いで「参加したくない」が39.1%、「是非参加したい」が6.0%となっています。

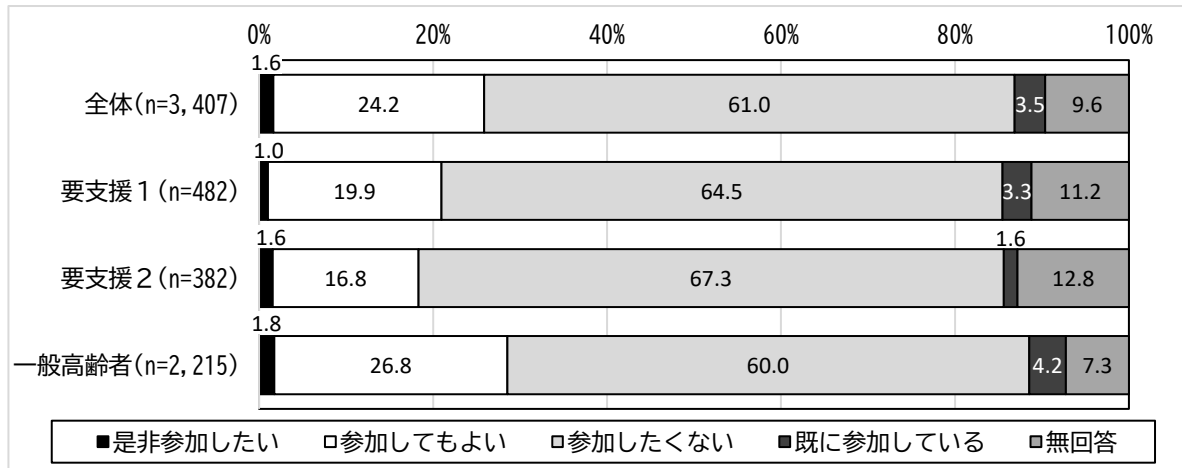


(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（〇は1つだけ）

要支援1では、「参加したくない」の割合が64.5%と最も高く、次いで「参加してもよい」が19.9%となっています。

要支援2では、「参加したくない」の割合が67.3%と最も高く、次いで「参加してもよい」が16.8%となっています。

一般高齢者では、「参加したくない」の割合が60.0%と最も高く、次いで「参加してもよい」が26.8%となっています。



問7 たすけあいについて

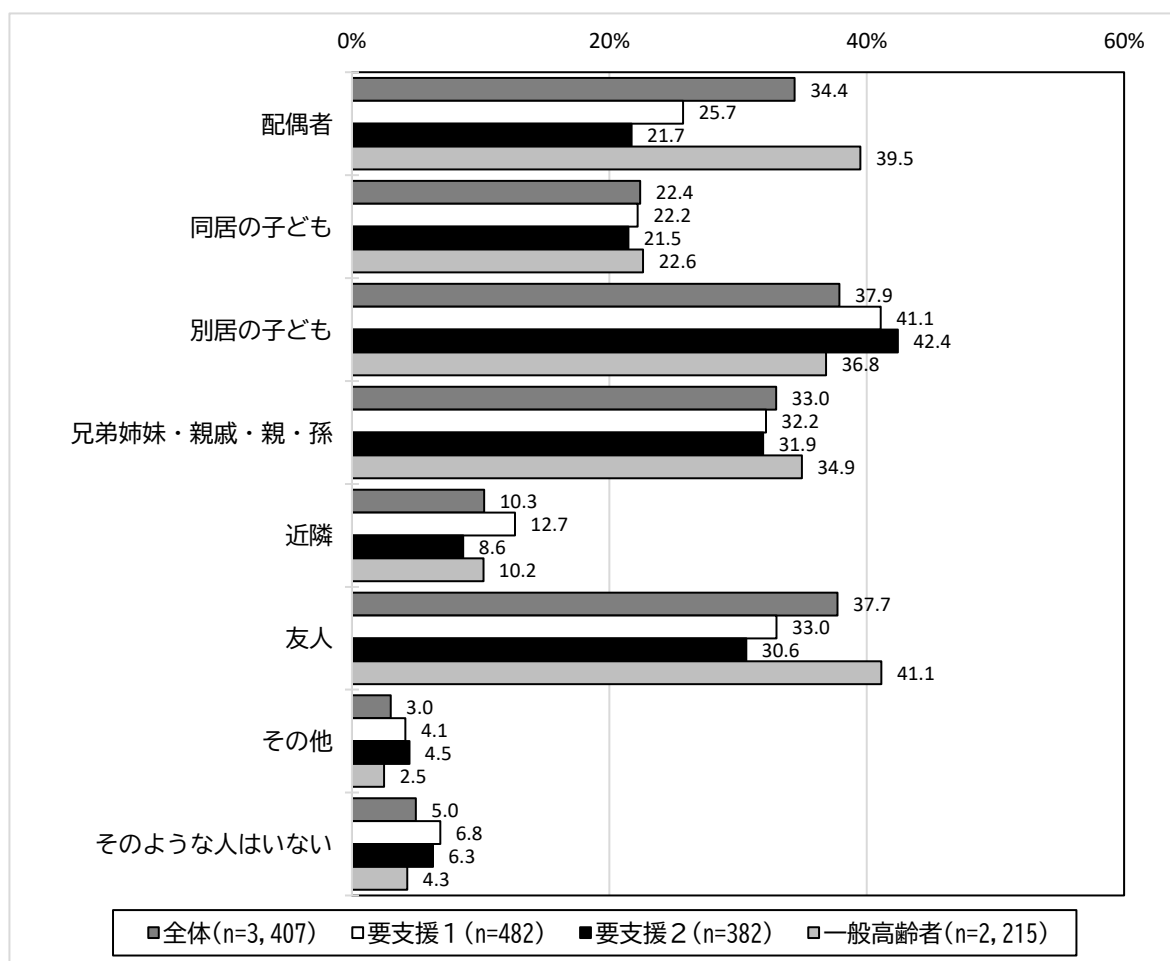
あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（〇はいくつでも）

要支援1では、「別居の子ども」の割合が41.1%と最も高く、次いで「友人」が33.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が32.2%となっています。

要支援2では、「別居の子ども」の割合が42.4%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が31.9%、「友人」が30.6%となっています。

一般高齢者では、「友人」の割合が41.1%と最も高く、次いで「配偶者」が39.5%、「別居の子ども」が36.8%となっています。

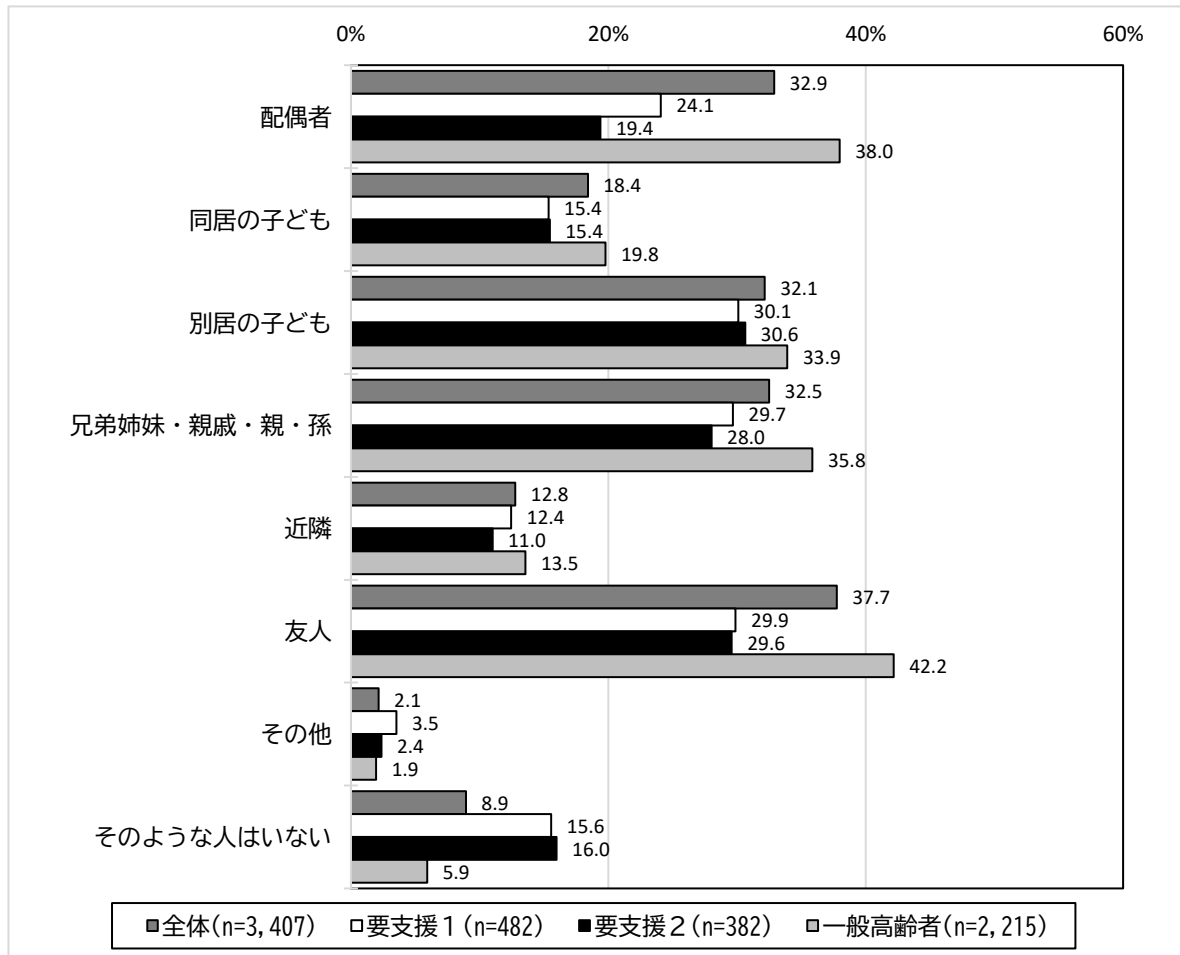


(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（〇はいくつでも）

要支援1では、「別居の子ども」の割合が30.1%と最も高く、次いで「友人」が29.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が29.7%となっています。

要支援2では、「別居の子ども」の割合が30.6%と最も高く、次いで「友人」が29.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が28.0%となっています。

一般高齢者では、「友人」の割合が42.2%と最も高く、次いで「配偶者」が38.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が35.8%となっています。

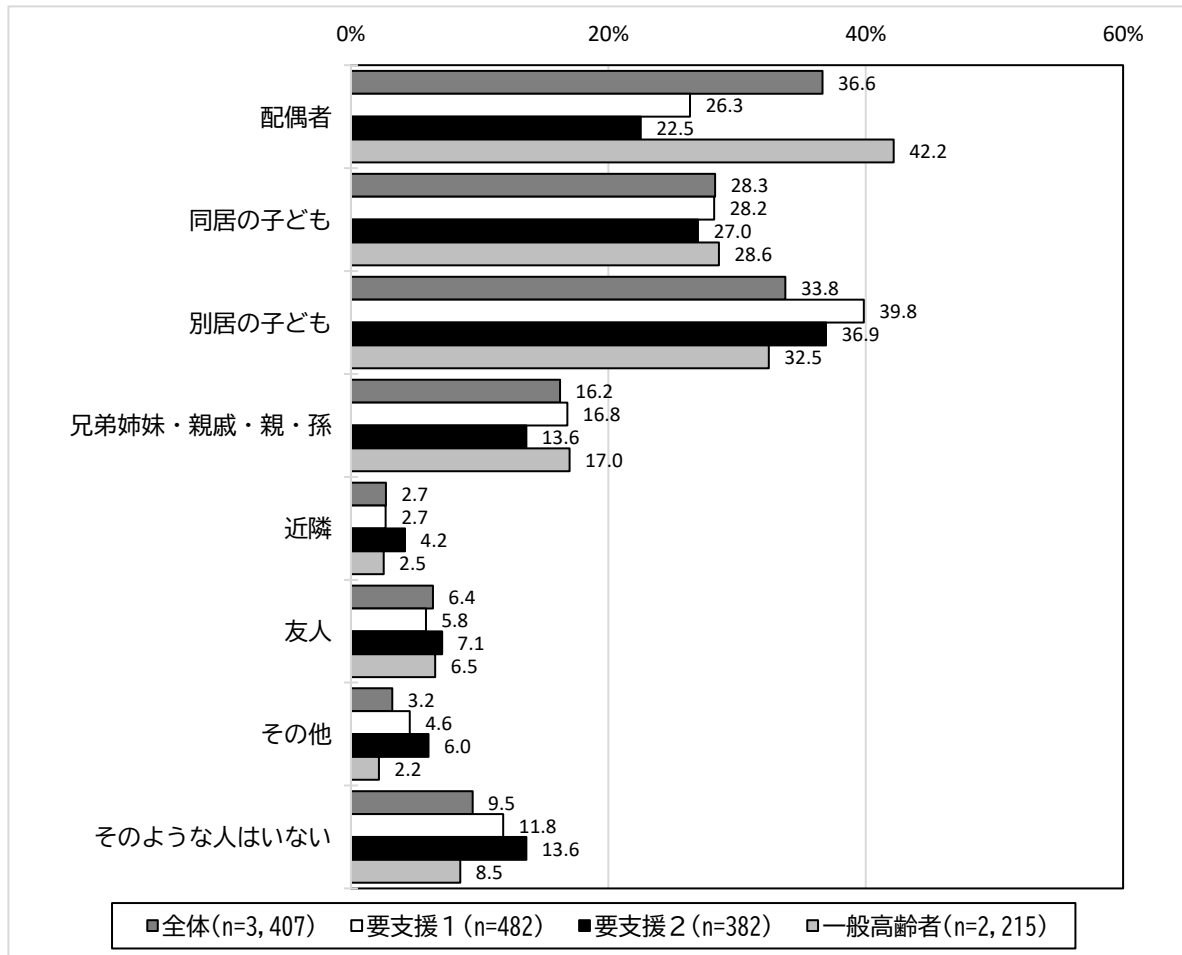


(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (〇はいくつでも)

要支援1では、「別居の子ども」の割合が39.8%と最も高く、次いで「同居の子ども」が28.2%、「配偶者」が26.3%となっています。

要支援2では、「別居の子ども」の割合が36.9%と最も高く、次いで「同居の子ども」が27.0%、「配偶者」が22.5%となっています。

一般高齢者では、「配偶者」の割合が42.2%と最も高く、次いで「別居の子ども」が32.5%、「同居の子ども」が28.6%となっています。

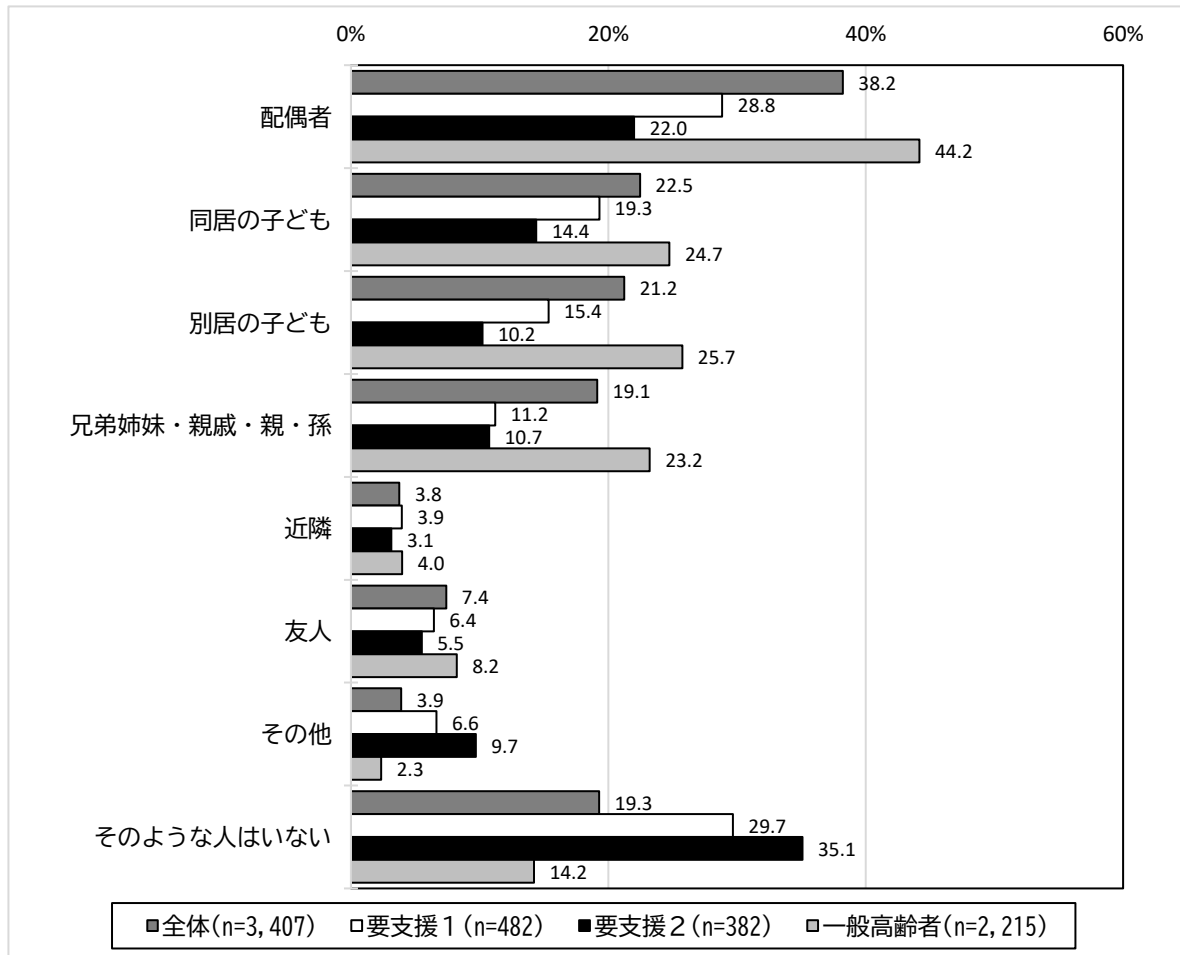


(4) 反対に、看病や世話をしあける人 (〇はいくつでも)

要支援1では、「そのような人はいない」の割合が29.7%と最も高く、次いで「配偶者」が28.8%、「同居の子ども」が19.3%となっています。

要支援2では、「そのような人はいない」の割合が35.1%と最も高く、次いで「配偶者」が22.0%、「同居の子ども」が14.4%となっています。

一般高齢者では、「配偶者」の割合が44.2%と最も高く、次いで「別居の子ども」が25.7%、「同居の子ども」が24.7%となっています。

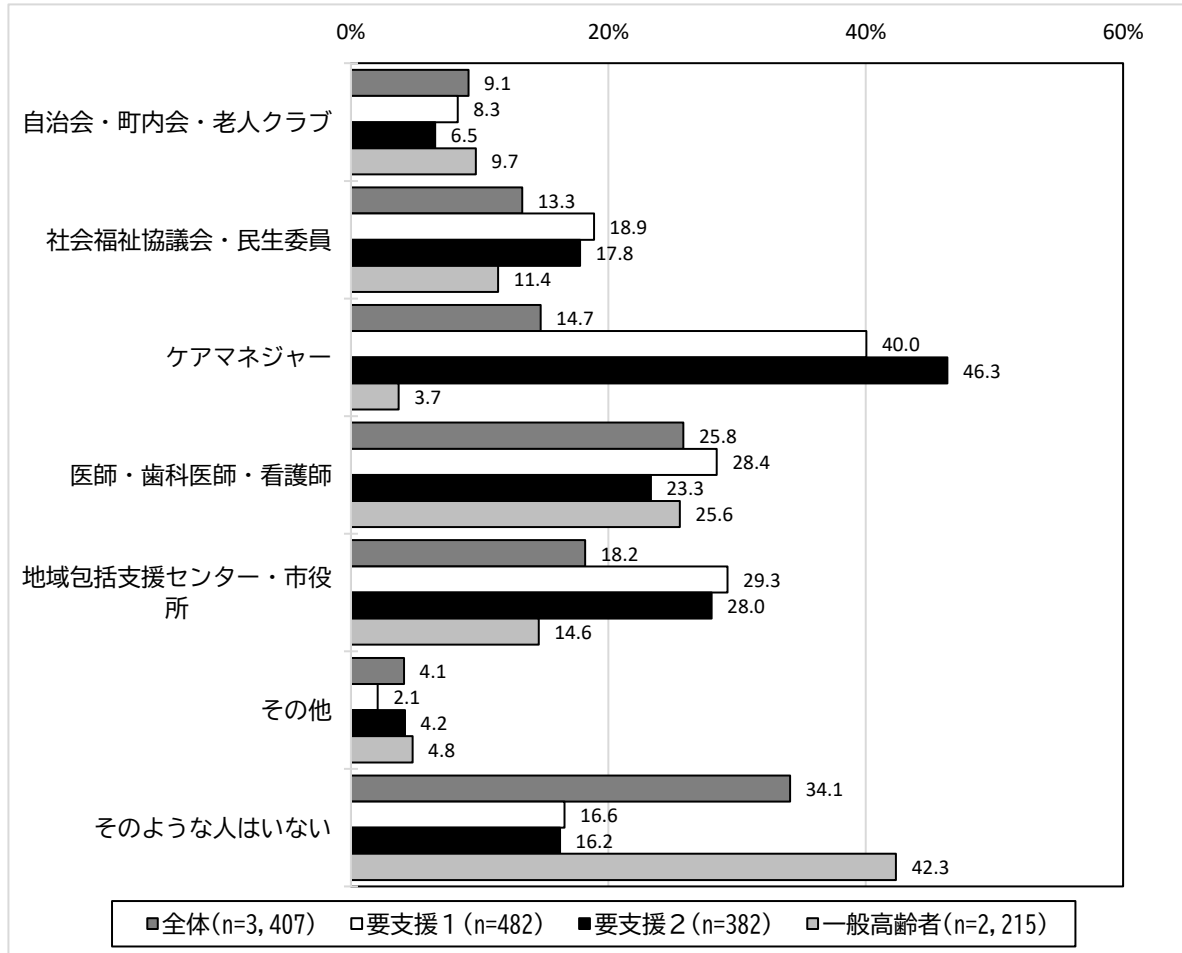


(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (〇はいくつでも)

要支援1では、「ケアマネジャー」の割合が40.0%と最も高く、次いで「地域包括支援センター・市役所」が29.3%、「医師・歯科医師・看護師」が28.4%となっています。

要支援2では、「ケアマネジャー」の割合が46.3%と最も高く、次いで「地域包括支援センター・市役所」が28.0%、「医師・歯科医師・看護師」が23.3%となっています。

一般高齢者では、「そのような人はいない」の割合が42.3%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が25.6%、「地域包括支援センター・市役所」が14.6%となっています。

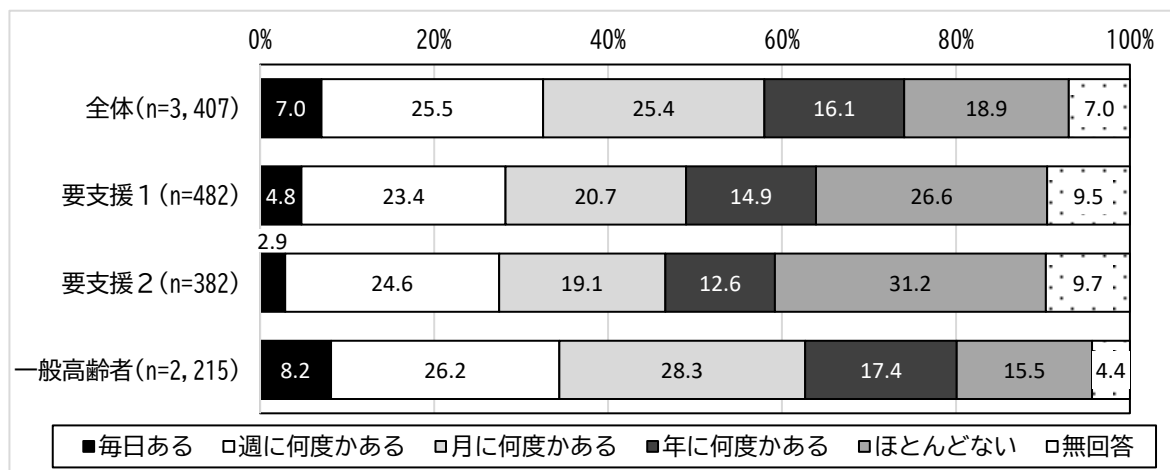


(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (○は1つだけ)

要支援1では、「ほとんどない」の割合が26.6%と最も高く、次いで「週に何度かある」が23.4%、「月に何度かある」が20.7%となっています。

要支援2では、「ほとんどない」の割合が31.2%と最も高く、次いで「週に何度かある」が24.6%、「月に何度かある」が19.1%となっています。

一般高齢者では、「月に何度かある」の割合が28.3%と最も高く、次いで「週に何度かある」が26.2%、「年に何度かある」が17.4%となっています。



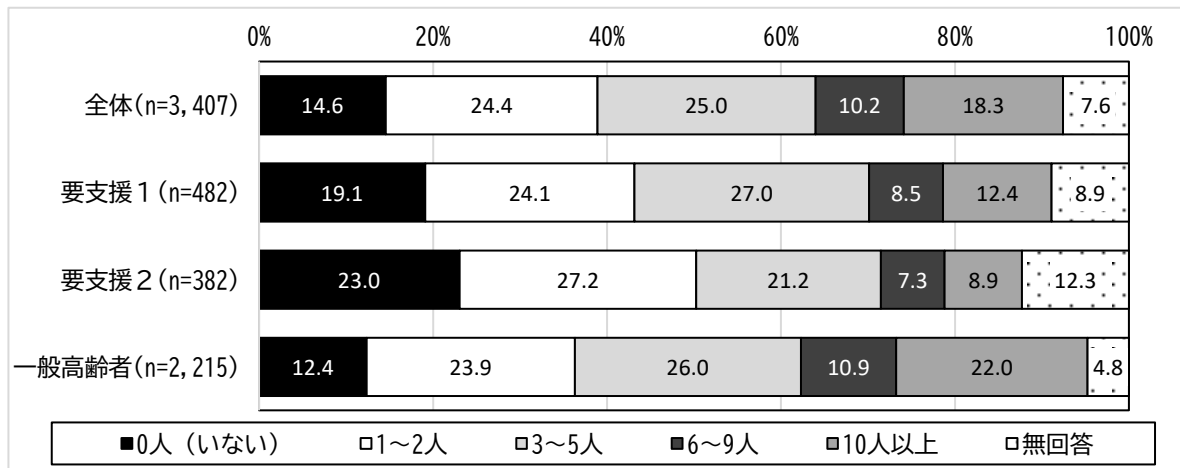
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか

同じ人には何度会っても1人と数えることとします(〇は1つだけ)

要支援1では、「3～5人」の割合が27.0%と最も高く、次いで「1～2人」が24.1%、「0人(いない)」が19.1%となっています。

要支援2では、「1～2人」の割合が27.2%と最も高く、次いで「0人(いない)」が23.0%、「3～5人」が21.2%となっています。

一般高齢者では、「3～5人」の割合が26.0%と最も高く、次いで「1～2人」が23.9%、「10人以上」が22.0%となっています。

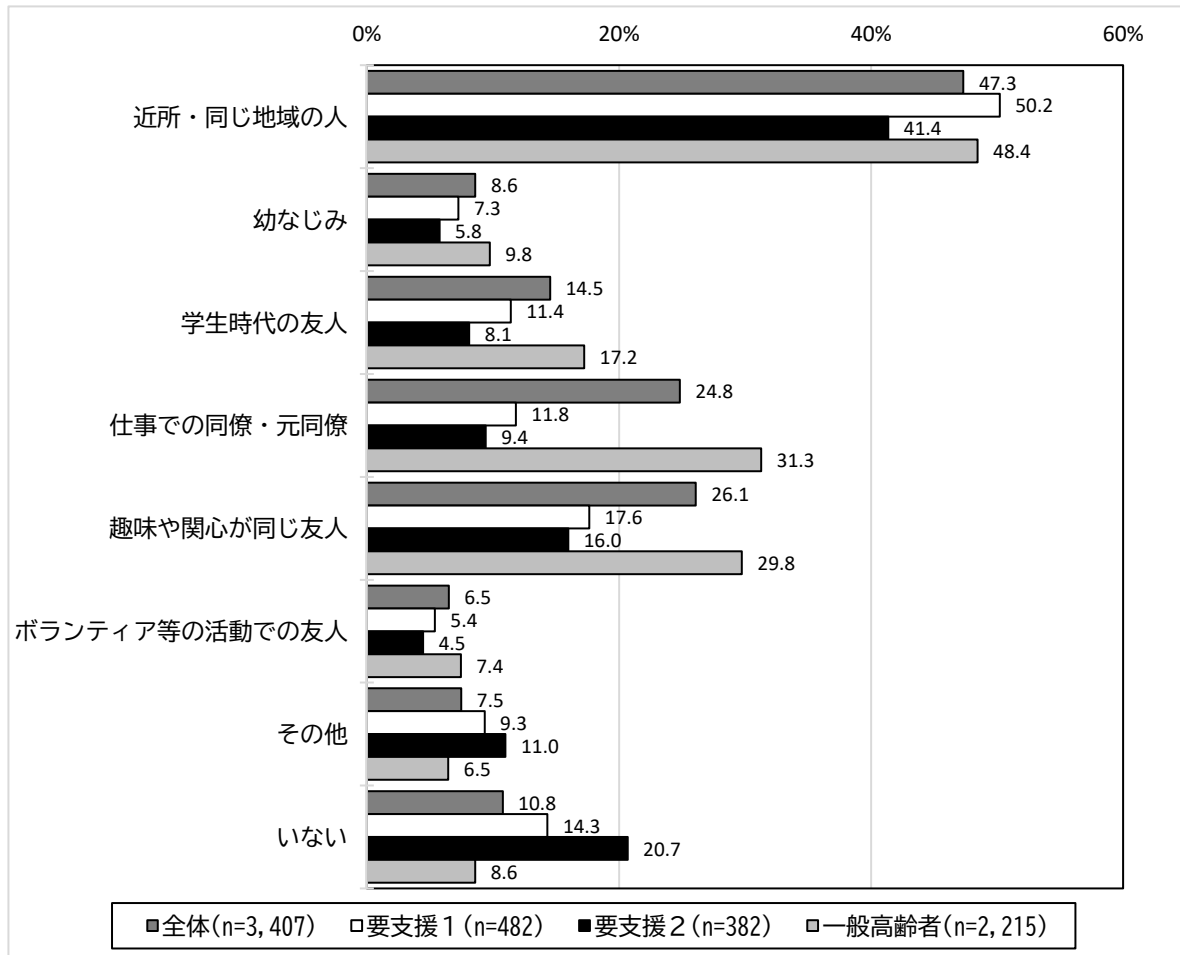


(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (〇はいくつでも)

要支援1では、「近所・同じ地域の人」の割合が50.2%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が17.6%、「いない」が14.3%となっています。

要支援2では、「近所・同じ地域の人」の割合が41.4%と最も高く、次いで「いない」が20.7%、「趣味や関心が同じ友人」が16.0%となっています。

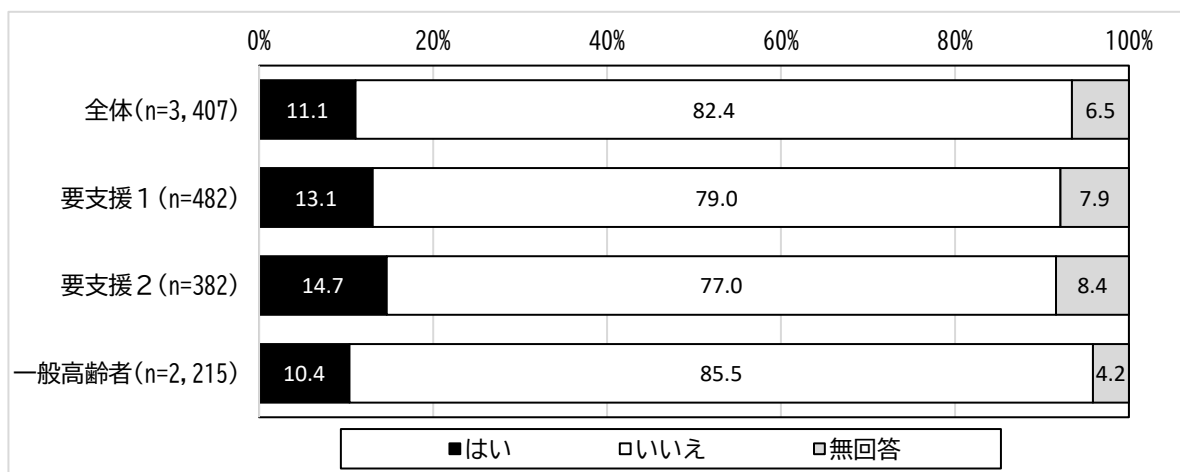
一般高齢者では、「近所・同じ地域の人」の割合が48.4%と最も高く、次いで「仕事での同僚・元同僚」が31.3%、「趣味や関心が同じ友人」が29.8%となっています。



問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

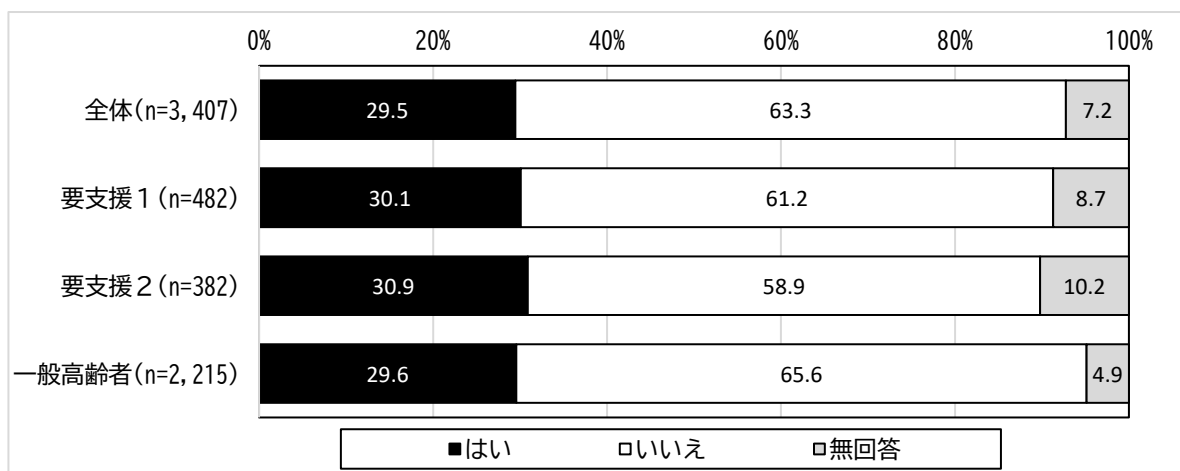
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (〇は1つだけ)

「はい」の割合は、要支援1で13.1%、要支援2で14.7%、一般高齢者で10.4%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。



(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (〇は1つだけ)

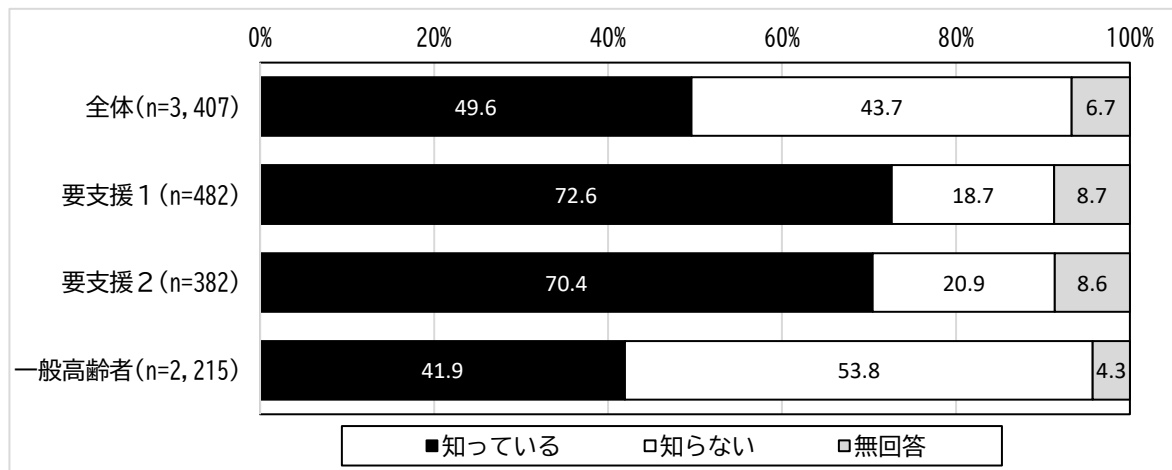
「はい」の割合は、要支援1で30.1%、要支援2で30.9%、一般高齢者で29.6%となっています。



問9 地域包括支援センターについて

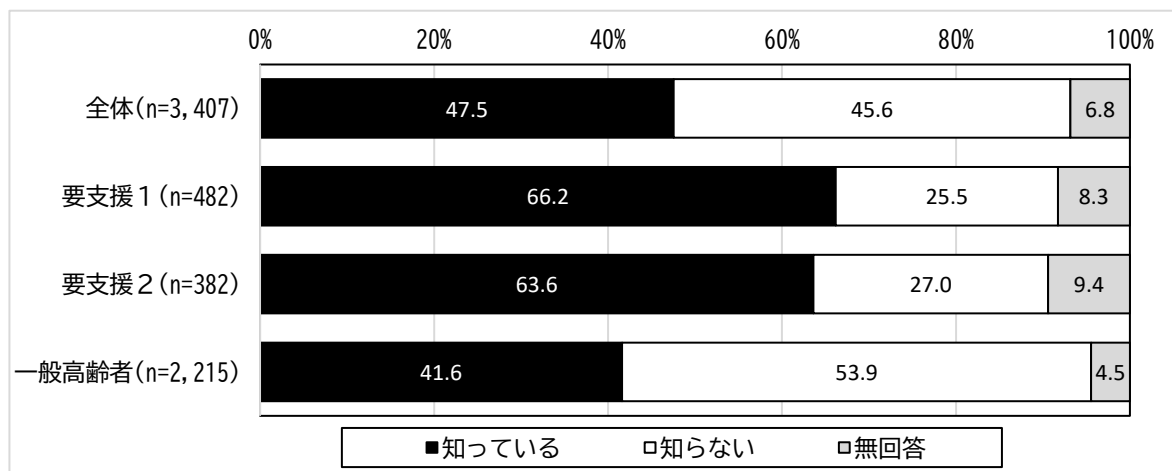
(1) お住まいの地区を担当する地域包括支援センターの場所や連絡先をご存知ですか
(○は1つだけ)

要支援1では、「知っている」の割合が72.6%、要支援2では70.4%、一般高齢者では41.9%となっており、要支援者での認知度が高く、一般高齢者ではこれに比べ、認知度が低くなっています。



(2) 地域包括支援センターが高齢者の総合相談窓口であることをご存知ですか (○は1つだけ)

要支援1では、「知っている」の割合が66.2%、要支援2では63.6%、一般高齢者では41.6%となっており、要支援者での認知が高くなっています。



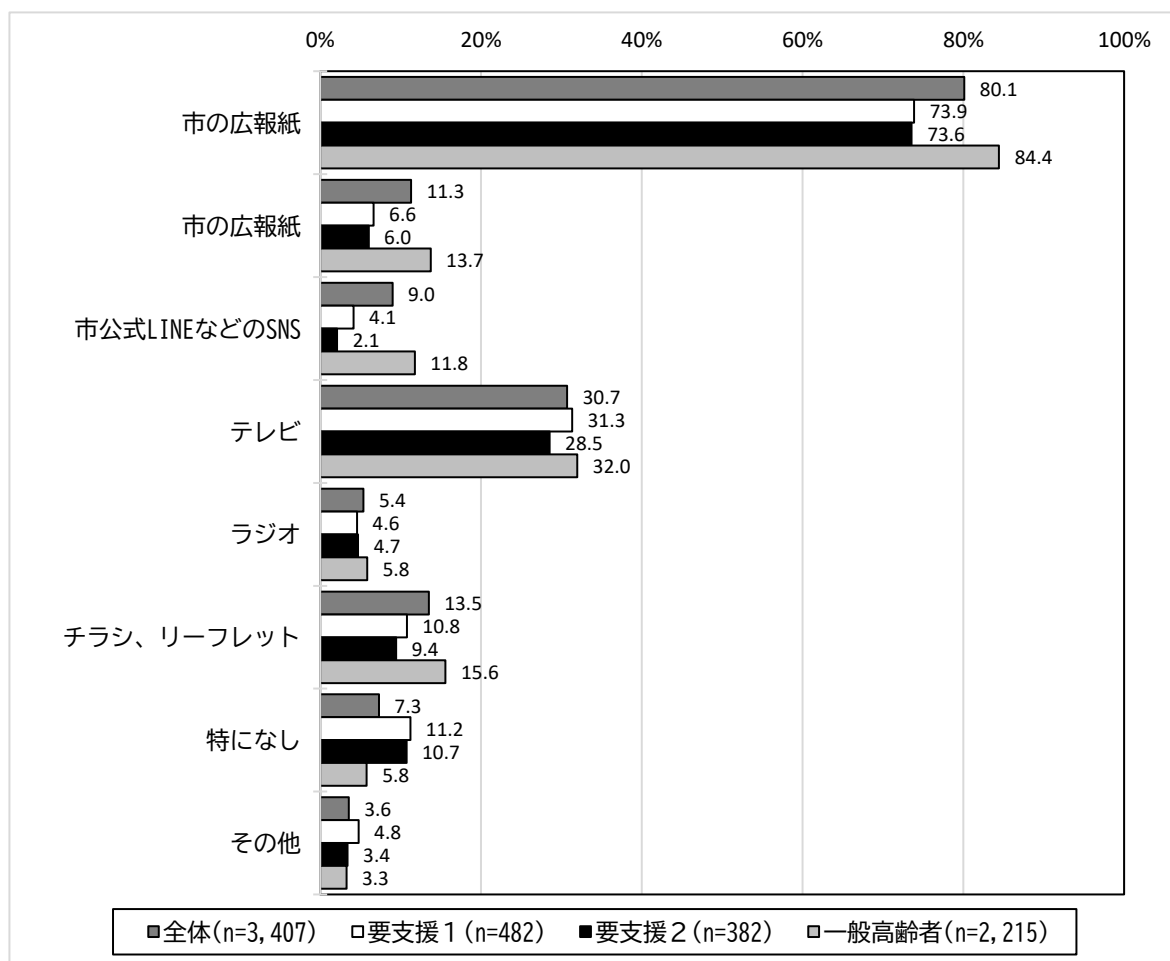
問 10 行政からのお知らせ等の入手について

(1) 行政からのお知らせをどのようにして入手していますか (〇はいくつでも)

要支援1では、「市の広報紙」の割合が73.9%と最も高く、次いで「テレビ」が31.3%、「特になし」が11.2%となっています。

要支援2では、「市の広報紙」の割合が73.6%と最も高く、次いで「テレビ」が28.5%、「特になし」が10.7%となっています。

一般高齢者では、「市の広報紙」の割合が84.4%と最も高く、次いで「テレビ」が32.0%、「チラシ、リーフレット」が15.6%となっています。

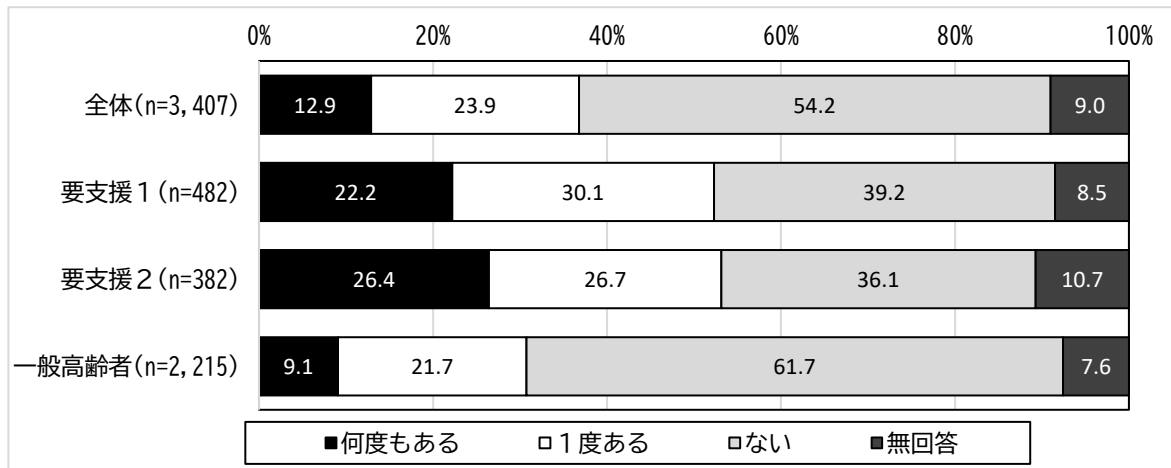


問 11 セーフコミュニティの取り組みについて

問 11-1 転倒予防について

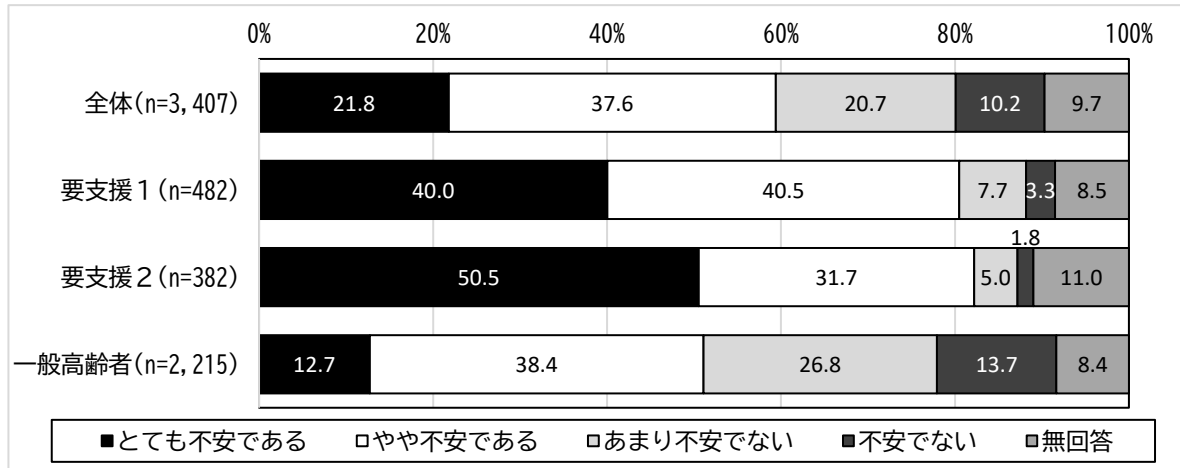
(1) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つだけ)

「何度もある」と「1度ある」を合わせた『過去1年間に転んだ経験がある人』の割合は、要支援1で52.3%、要支援2で53.1%、一般高齢者で30.8%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が21.5ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



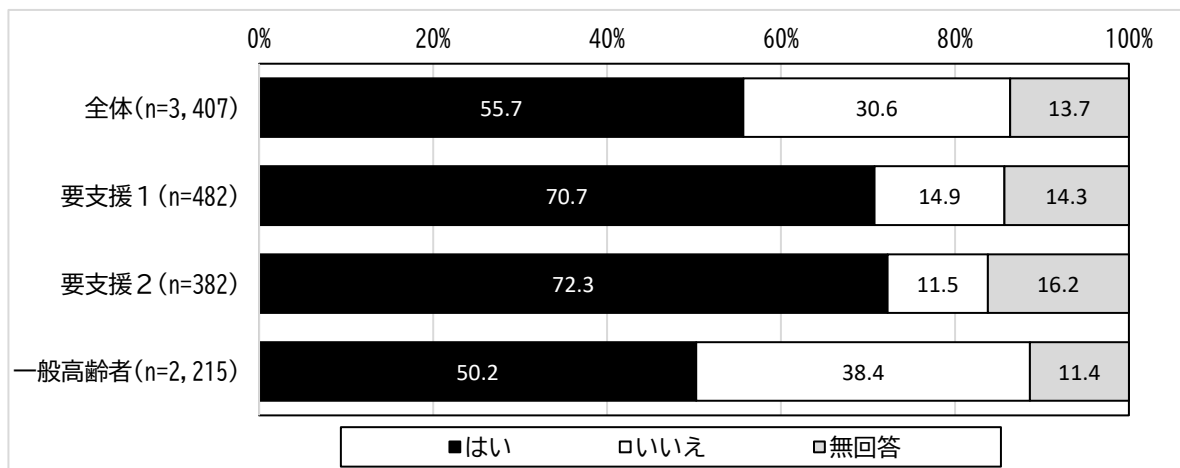
(2) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つだけ)

「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『転倒に対して不安な人』の割合は、要支援1で80.5%、要支援2で82.2%、一般高齢者で51.1%となっており、身体状態が悪化するにつれ割合が高くなっています。特に、要支援1と一般高齢者の差が29.4ポイントで、要支援1と要支援2との差に比べ大きくなっています。



(3) 転倒を防止するために何か心がけていることはありますか (○は1つだけ)

要支援1では、「はい」の割合が70.7%、「いいえ」の割合が14.9%となっています。
 要支援2では、「はい」の割合が72.3%、「いいえ」の割合が11.5%となっています。
 一般高齢者では、「はい」の割合が50.2%、「いいえ」の割合が38.4%となっています。

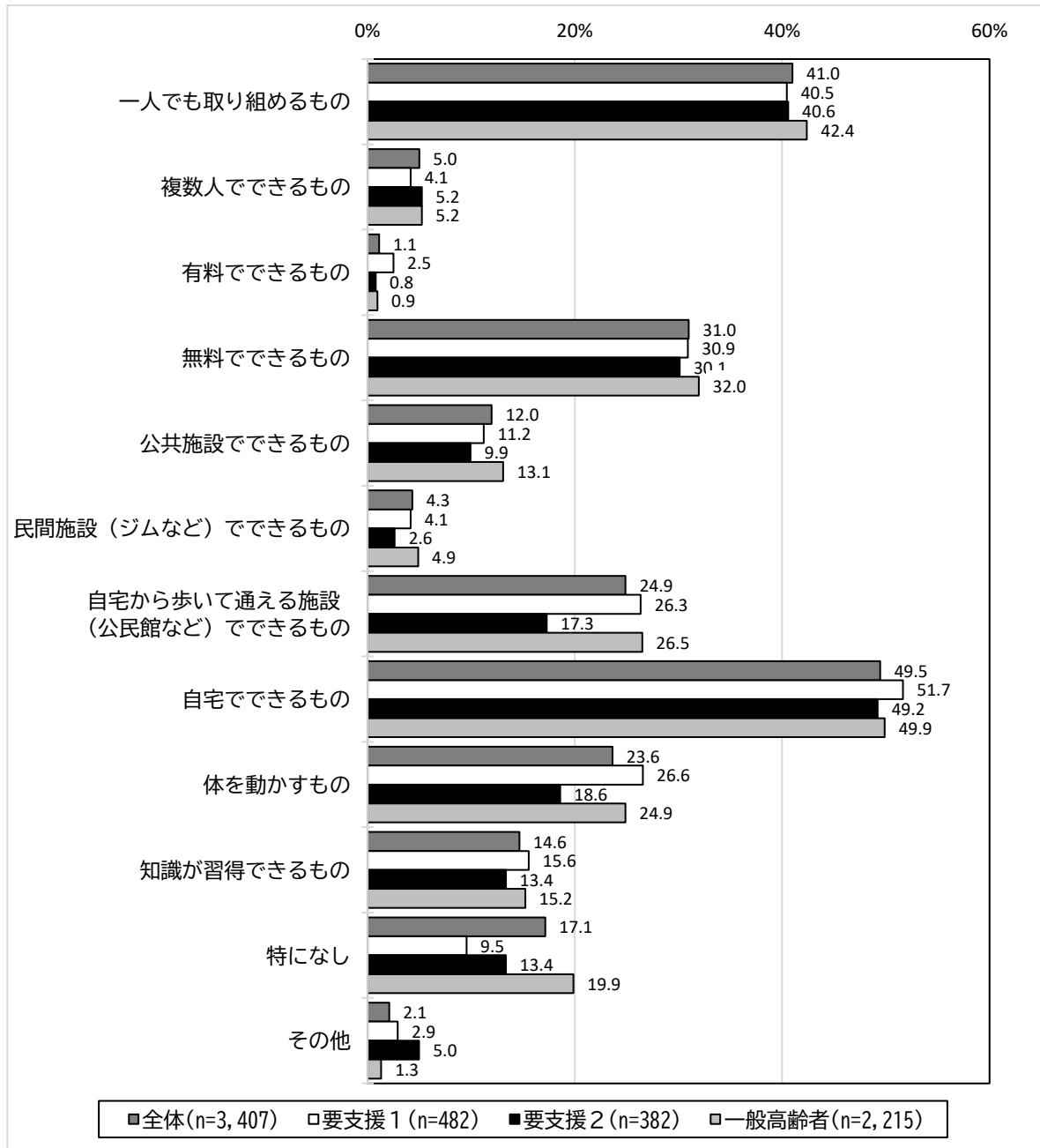


(4) 久留米市では、転倒を防止するために介護予防の取り組みを行っています。どのような取り組みであれば参加したいと思いますか (〇はいくつでも)

要支援1では、「自宅でできるもの」の割合が51.7%と最も高く、次いで「一人でも取り組めるもの」が40.5%、「無料でできるもの」が30.9%となっています。

要支援2では、「自宅でできるもの」の割合が49.2%と最も高く、次いで「一人でも取り組めるもの」が40.6%、「無料でできるもの」が30.1%となっています。

一般高齢者では、「自宅でできるもの」の割合が49.9%と最も高く、次いで「一人でも取り組めるもの」が42.4%、「無料でできるもの」が32.0%となっています。



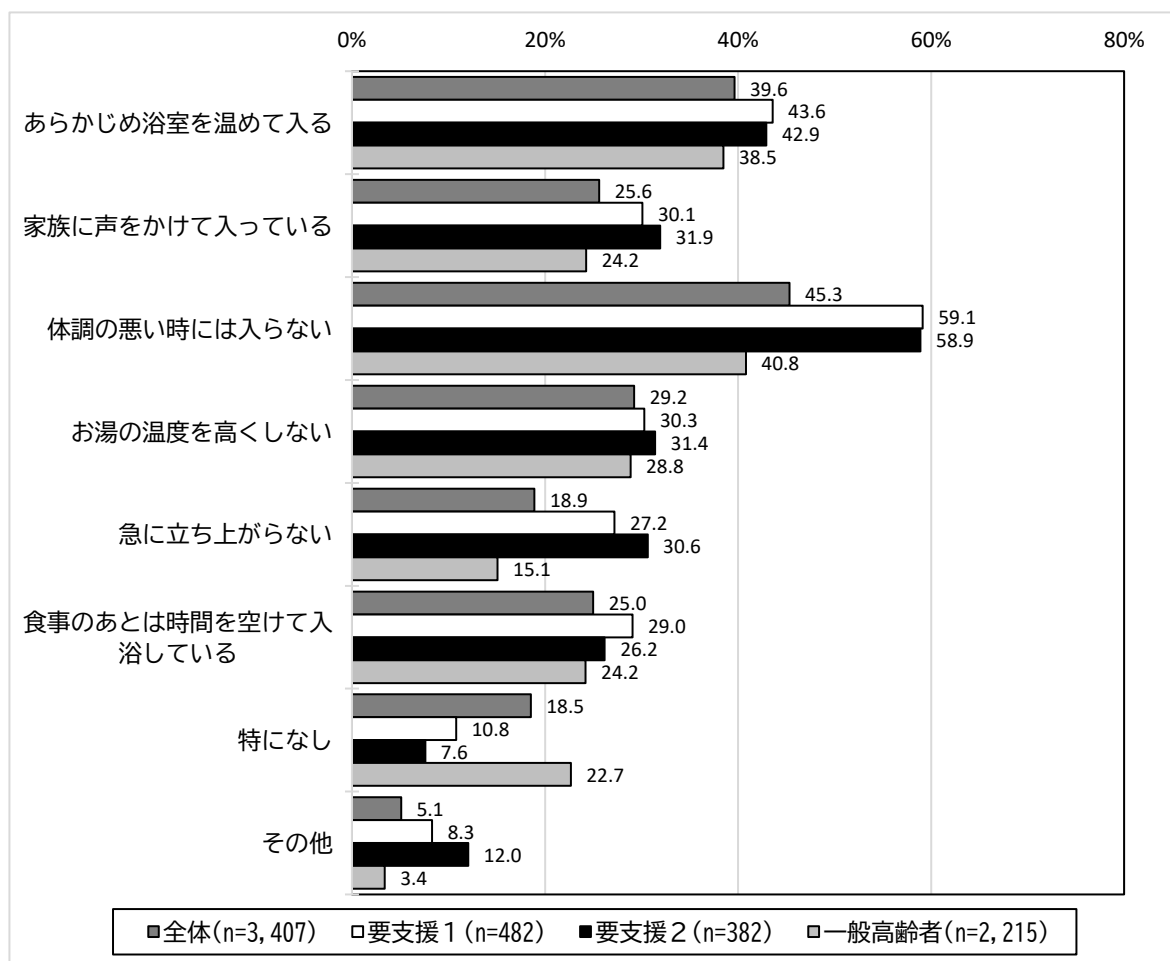
問 11-2 入浴の注意について

(1) 入浴の際に、心掛けていることはありますか (〇はいくつでも)

要支援1では、「体調の悪い時には入らない」の割合が59.1%と最も高く、次いで「あらかじめ浴室を温めて入る」が43.6%、「お湯の温度を高くしない」が30.3%となっています。

要支援2では、「体調の悪い時には入らない」の割合が58.9%と最も高く、次いで「あらかじめ浴室を温めて入る」が42.9%、「家族に声をかけて入っている」が31.9%となっています。

一般高齢者では、「体調の悪い時には入らない」の割合が40.8%と最も高く、次いで「あらかじめ浴室を温めて入る」が38.5%、「お湯の温度を高くしない」が28.8%となっています。



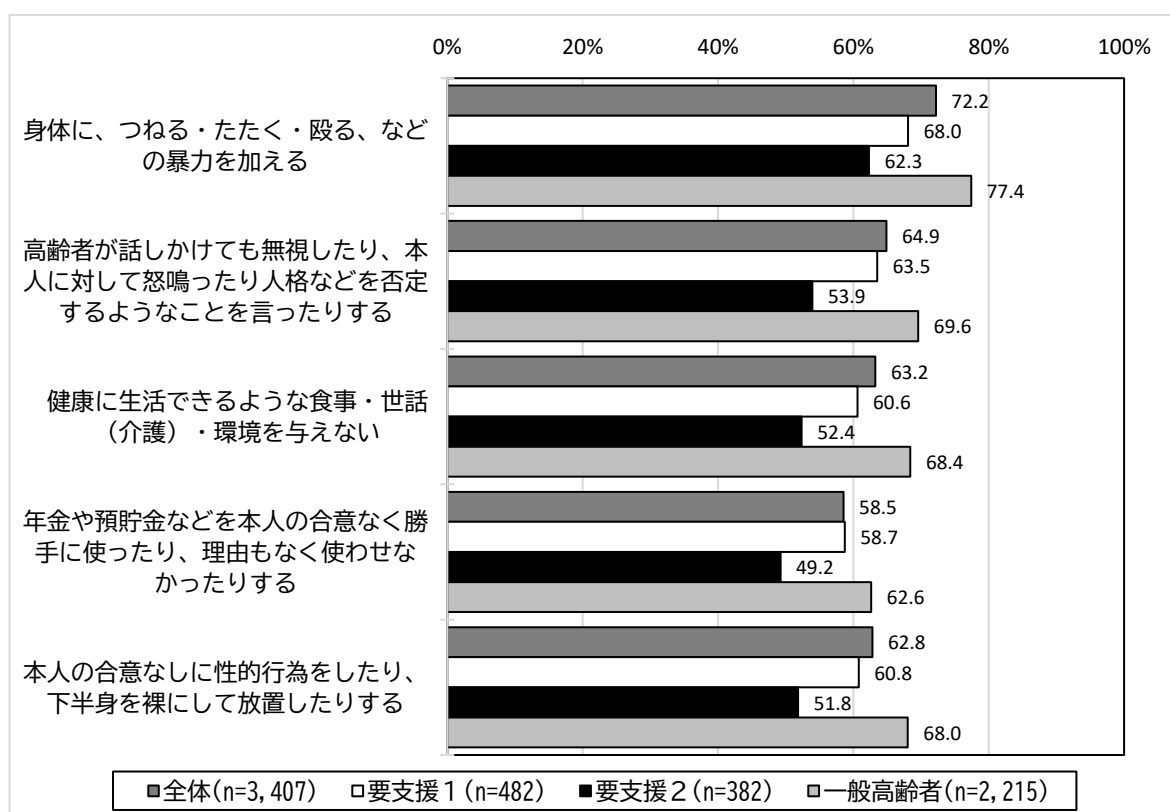
問 11-3 高齢者の虐待防止について

(1) あなたは、次のようなことが虐待にあたると思いますか（〇はいくつでも）

要支援1では、「身体に、つねる・たたく・殴る、などの暴力を加える」の割合が68.0%と最も高く、次いで「高齢者が話しかけても無視したり、本人に対して怒鳴ったり人格などを否定するようなことを言ったりする」が63.5%、「本人の合意なしに性的行為をしたり、下半身を裸にして放置したりする」が60.8%となっています。

要支援2では、「身体に、つねる・たたく・殴る、などの暴力を加える」の割合が62.3%と最も高く、次いで「高齢者が話しかけても無視したり、本人に対して怒鳴ったり人格などを否定するようなことを言ったりする」が53.9%、「健康に生活できるような食事・世話（介護）・環境を与えない」が52.4%となっています。

一般高齢者では、「身体に、つねる・たたく・殴る、などの暴力を加える」の割合が77.4%と最も高く、次いで「高齢者が話しかけても無視したり、本人に対して怒鳴ったり人格などを否定するようなことを言ったりする」が69.6%、「健康に生活できるような食事・世話（介護）・環境を与えない」が68.4%となっています。

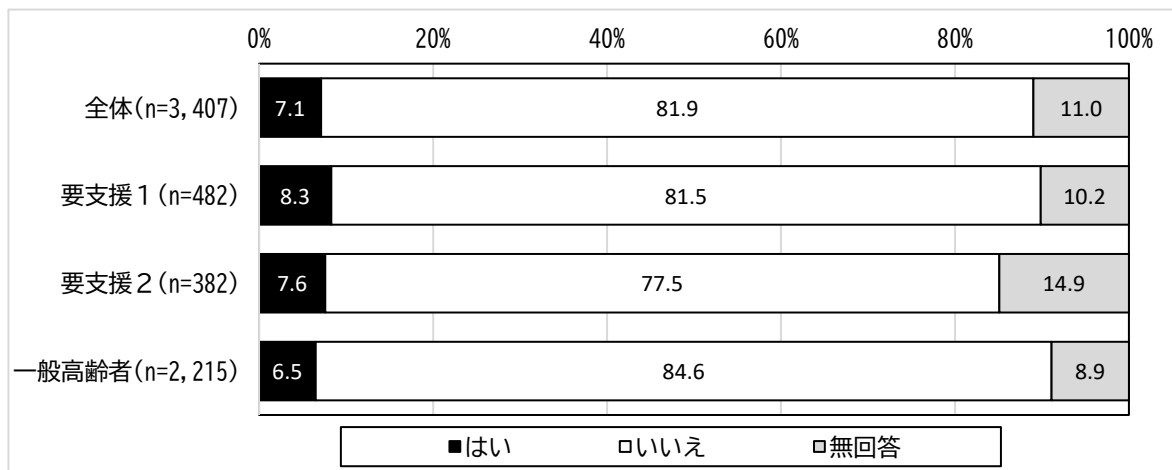


(2) あなたの身近で、上記のような高齢者虐待があるという話や実態を見聞きしたことがありますか (○は1つだけ)

要支援1では、「はい」の割合が8.3%、「いいえ」の割合が81.5%となっています。

要支援2では、「はい」の割合が7.6%、「いいえ」の割合が77.5%となっています。

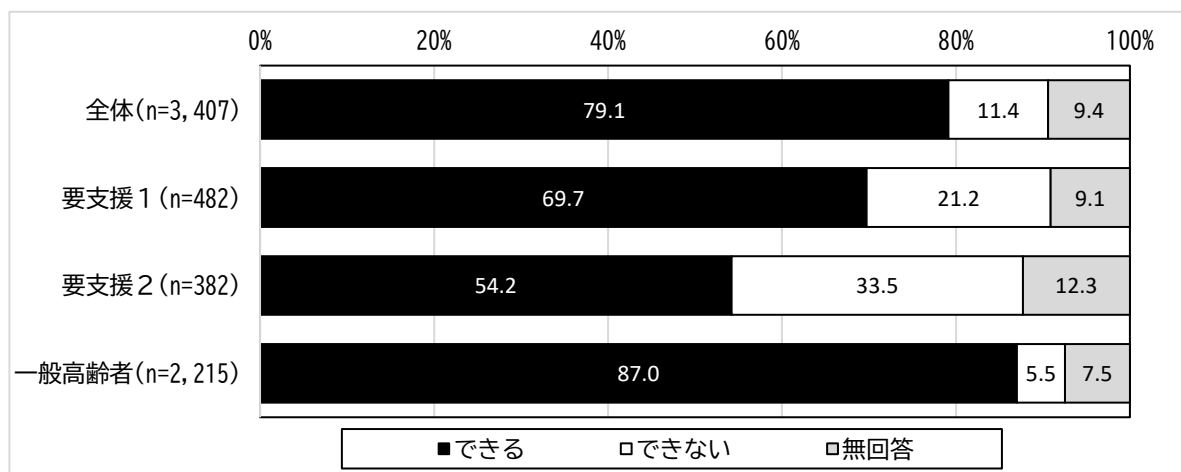
一般高齢者では、「はい」の割合が6.5%、「いいえ」の割合が84.6%となっています。



問 11-4 防災について

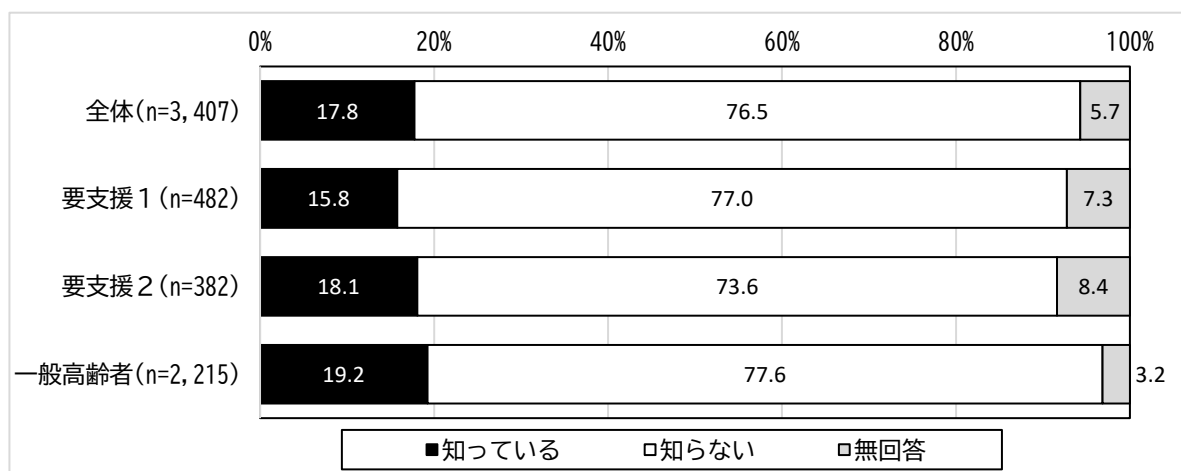
(1) あなたは、災害が起きた時に自力又は家族の協力による避難ができますか (○は1つだけ)

要支援1では、「できる」の割合が 69.7%、要支援2では 54.2%、一般高齢者では 87.0%となっており、身体状況が悪化するとともに割合が低くなっています。



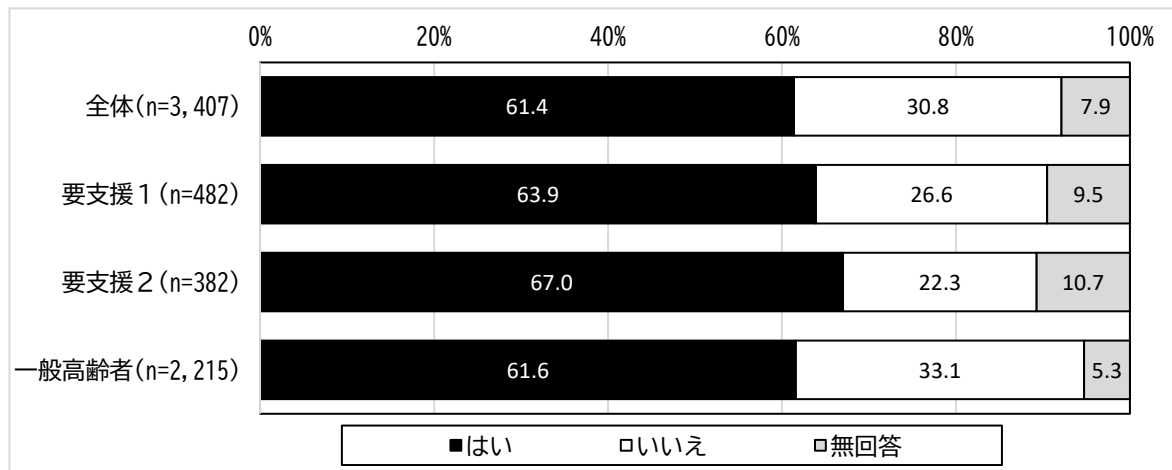
(2) あなたは、「避難行動要支援者名簿」をご存知ですか (○は1つだけ)

要支援1では、「知っている」の割合が 15.8%、要支援2では 18.1%、一般高齢者では 19.2%となっており、認知度について特に大きな差は見られない。



(3) 今後、自力または家族の協力による避難が困難になった場合「避難行動要支援者名簿」に登録したいと思いますか (○は1つだけ)

要支援1では、「はい」の割合が63.9%、要支援2では67.0%、一般高齢者では61.6%となっており、特に大きな差はみられませんが「いいえ」の割合では、一般高齢者で33.1%と他に比べ高くなっています。



久留米市介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
調査報告書（資料編）

令和5年3月

発行：久留米市健康福祉部長寿支援課

〒830-8520

福岡県久留米市城南町15番地3

TEL：0942-30-9184

FAX：0942-36-6845